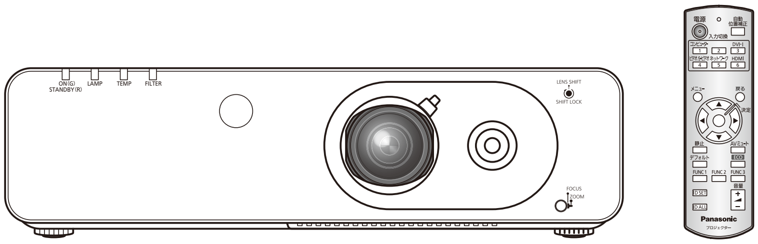
Panasonic

# 取扱説明書
## 本体操作編

液晶プロジェクター　業務用

品番　PT-FW430
PT-FX400



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ご使用の前に**『安全上のご注意』（☞６～９ページ）を必ずお読みください。**
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
ネットワークを用いての使い方については「取扱説明書 ネットワーク操作編」をご覧ください。

保証書別添付

**製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。**

JAPANESE

W0411KT0 -PS
TQBH0251

**商標について**

• HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
• その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では®や TM マークは明記していません。

**本書内のイラストについて**

• プロジェクター本体、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

**参照ページについて**

• 本書では、参照ページを（☞00 ページ）のように示しています。

**用語について**

• 本書では付属品の「ワイヤレスリモコン」を「リモコン」と記載しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、
この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

# 本機の特長

## 自由度の高い設置性

▶ 2 倍ズームレンズ、レンズシフトの搭載により、自由度の高い設置性を実現しました。

## 色再現性 / 精細感の向上

▶ ランプのブースト制御、独自方式映像エンハンサーの導入により、色再現性、精細感が向上しました。

## 接続性の向上

▶ HDMI 端子搭載により、高品質の映像や HDMI の音声に対応。

▶ オプションのワイヤレスモジュールを装着することで、無線 LAN 接続にも対応可能です。

# 投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(☞ 19 ページ)

2. 本機と外部機器を接続する
(☞ 25 ページ)

3. 電源コードを接続する
(☞ 26 ページ)

4. 電源を入れる
(☞ 27 ページ)

5. 初期設定をする *1
(☞ 14 ページ)

6. 投写する映像を選択する
(☞ 29 ページ)

7. 映像の映り具合を調整する
(☞ 29 ページ)

*1 本機をご購入後、初めて電源を入れてご使用になる場合に行う手順です。

# もくじ

『安全上のご注意』を必ずお読みください。（☞6 ～ 9 ページ）



安全上のご注意 / はじめに / 準備 / 基本的な使い方 / 調整と設定 / 点検と部品交換 / その他

## 点検と部品交換



## その他

# 安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

**■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠ 注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

**■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

| | |
|---|---|
| （禁止の図記号） | してはいけない内容です。 |
| （指示の図記号） | 実行しなければならない内容です。 |

## ⚠ 警告

### 電源について

（異常・故障時には直ちに使用を中止する）

電源プラグを抜く

**■ 異常があったときは、電源プラグを抜く**
**［内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音が発生したとき］**
（そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。）
⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。
⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。

**■ 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込む**
（差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。）
⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

**■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる**
（プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。）
⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。

**■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない**
**［傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど］**
（傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。）
⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

**■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない**
（たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。）

**■ 付属の電源コード以外は使用しない**
（付属の電源コードを使わないと感電の原因になります。）

ぬれ手禁止

**■ ぬれた手で電源プラグや電源コネクターに触れない**
（感電の原因になります。）

接触禁止

**■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない**
（感電の原因になります。）

# 警告（つづき）

| ご使用・設置について | |
|---|---|
| | ■ **放熱を妨げない**<br>［**布や紙などの上に置かない（吸気口に吸着する場合があります）、風通しが悪く狭い所に押し込まない**］<br>（内部が高温になり、火災の原因になることがあります。）<br>⇒ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから 50 cm 以上離して設置してください。 |
| | ■ **排気口には手やものを近づけない**<br>**[手や顔を近づけない、指を入れない、熱に弱いものを近くに置かない]**<br>（排気口からは熱風がでているため、やけどやけが、変形の原因になります。） |
| | ■ **カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない**<br>（内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。） |
| | ■ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない**<br>（火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。） |
| | ■ **荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない**<br>（落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。） |
| | ■ **使用中は投写レンズをのぞかない**<br>（投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。）<br>⇒ 使用中に本機から離れる場合は主電源を切ってください。<br>⇒ 特にお子様にはご注意ください。 |
| | ■ **内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**<br>（ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。）<br>⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。<br>⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。<br>⇒ 特にお子様にはご注意ください。 |
| | ■ **レンズカバーを取り付けたまま投写しない**<br>（火災の原因になることがあります。） |
| 分解禁止 | ■ **分解や改造をしない**<br>（内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。）<br>⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。<br><br>警告<br>高圧注意<br>サービスマン以外の方は<br>ケースをあけないでください。<br>内部には高電圧部分が数多く<br>あり、万一さわると危険です。<br>「本体に表示した事項」 |
| | ■ **天井取り付け（天つり）などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する**<br>（工事の不備により、落下事故の原因となります。） |
| | ■ **当社で指定した天つり金具を使用する**<br>（天つり金具の不備により、落下事故の原因となります。）<br>⇒ 天つり金具に付属のワイヤーで落下防止の処置を行ってください。 |

# 警告（つづき）

| 付属品・消耗品について | |
|---|---|
| 禁止 | ■ **ランプユニットを分解しない**<br>（ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。） |
| | ■ **電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない**<br>**[液が目に入ったら目をこすらない]**<br>（失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。）<br>⇒ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 |
| | ■ **電池は誤った使い方をしない**<br>● **指定された電池以外は使用しない**<br>● **乾電池は充電しない**<br>● **加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない**<br>● **＋と－を針金などで接続しない**<br>● **＋と－を逆に入れない**<br>● **ネックレスやヘアピンなど金属が使用されているものと一緒に保管しない**<br>● **新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない**<br>● **アルカリ乾電池またはマンガン乾電池以外は使用しない**<br>● **被覆のはがれた電池は使わない（電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください）**<br>（液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。） |
| | ■ **付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない**<br>（付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。） |
| 指示 | ■ **ランプユニットの交換は、電源を切り、ランプが冷えてから（1 時間以上待ってから）行う**<br>（カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。） |
| | ■ **使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す**<br>（そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。） |

# 注意

## 電源について

| 電源プラグを抜く | |
|---|---|
| 電源プラグを抜く | ■ **長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**<br>（電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。） |
| | ■ **お手入れ、部品交換の際は、電源プラグをコンセントから抜く**<br>（感電の原因になることがあります。） |
| ! | ■ **電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ、電源コネクターを持って抜く**<br>（コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。） |

## ご使用・設置について

| | |
|---|---|
| 禁止 | ■ **本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない**<br>（バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。） |
| | ■ **異常に温度が高くなる所に置かない**<br>（外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。）<br>⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。 |
| ! | ■ **移動させる場合は、必ず接続線を外す**<br>（コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。） |

## 付属品・消耗品について

| | |
|---|---|
| 禁止 | ■ **ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない**<br>（散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。）<br>⇒ 直ちに換気を行ってください。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。<br>⇒ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。<br>⇒ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。 |
| | ■ **古いランプユニットは使用しない**<br>**［使用時間を超えたランプユニットは使用しない］**<br>（そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。）<br>⇒ ランプユニットは消耗部品です。 |
| ! | ■ **長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す**<br>（電池の液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。） |

## お手入れについて

| | |
|---|---|
| 禁止 | ■ **エアフィルターユニットは、ぬれたまま本体に取り付けない**<br>（感電や故障の原因になります。）<br>⇒ エアフィルターユニットを洗浄した後は、十分に乾燥させてから取り付けてください。 |
| ! | ■ **1 年に 1 度は、内部の清掃を販売店に依頼する**<br>（本機の内部にほこりがたまったままで使用を続けると、火災の原因になることがあります。）<br>⇒ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。<br>⇒ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。 |

# ご使用になる前に

## 本機の運搬について

- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

## 本機の設置について

はじめに

### ■屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

### ■以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（『使用環境条件』☞84 ページ）：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

### ■本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者、または販売店にご依頼ください

別売品の天つり金具が必要です。
品番：ET-PKF110H（高天井用）、ET-PKF110S（低天井用）

- PT-F300/PT-FW300 用の天つり金具　ET-PKF100H（高天井用）、ET-PKF100S（低天井用）を使用する場合は販売店にご相談ください。

### ■海抜 1400 m 以上～ 2700 m 未満でご使用の際は、「高地モード」を必ず「オン」に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

### ■海抜 1400 m 未満でご使用の際は、「高地モード」を必ず「オフ」に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

### ■海抜 2700 m 以上の場所に設置しないでください

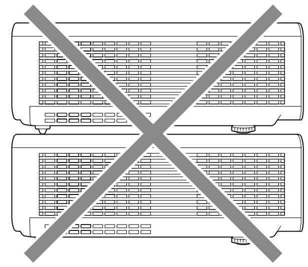
部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

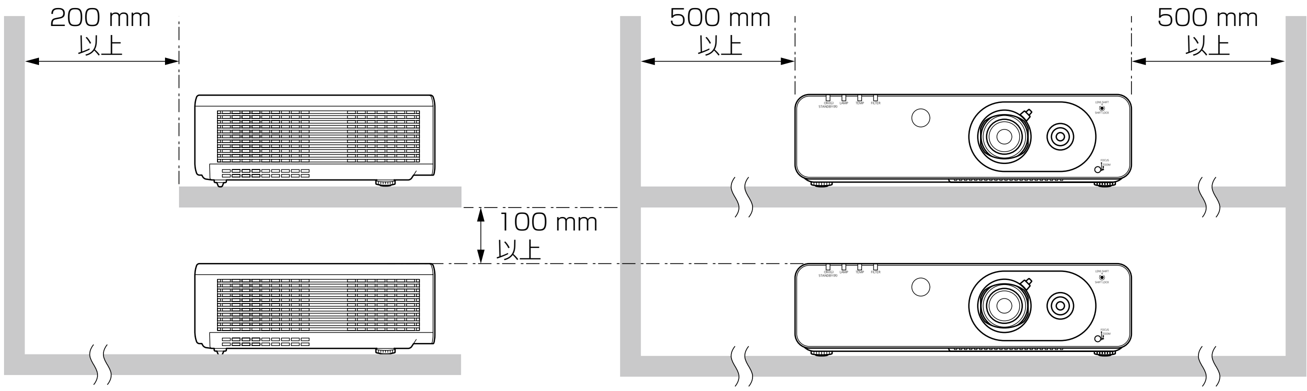
### ■本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください（☞19 ページ）

上下方向に± 30 度を超えて傾けた状態で使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。

## ■設置上のご注意

- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気口・排気口に直接当たらないように設置をしてください。






- 本機を囲われた空間に設置しないでください。
  囲われた空間に設置が必要な場合は、別途空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。

## セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。（☞62 ページ）

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

## 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。
ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

## 本機の取り扱いについて

### ■美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入らないよう、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの環境を整えていただくと、より高いコントラストで美しい映像をご覧いただけます。
- 使用環境によっては排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風･冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。
  本体の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

### ■投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。

### ■液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
また、静止画を長時間投写すると、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますので、その場合はテストパターン（☞61 ページ）の中にある全白画面を 1 時間以上投写してください。なお、残像が完全に消えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### ■光学部品について

ご使用になる環境温度が高い場合や、ほこり、タバコなどの煙が多い環境下では、1 年未満のご使用でも、液晶パネルや偏向板などの光学部品の交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

### ■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
高圧水銀ランプには下記の特性があります。

- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃や傷、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなばらつきがあります。特に 12 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「切」/「入」の繰り返しは、ランプの劣化を早め、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。交換時期がきたらランプユニットを交換してください。（『ランプユニットの交換時期』☞70 ページ）
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

**注意**

コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

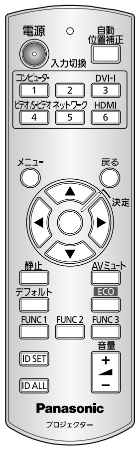
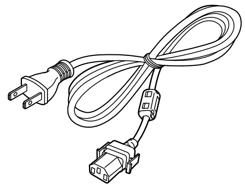
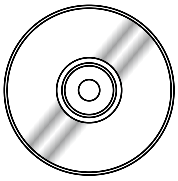
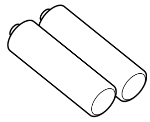
<当製品に関するソフトウエア情報>



この製品には、（1）パナソニック株式会社の独自開発ソフトウエア、（2）GNU GENERAL PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウエア並びに（3）GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウエアを搭載しております。
（2）と（3）のソフトウエアに関するライセンス条件に関しては、CD-ROM 内のソフトウェアライセンス文（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE 並びに GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE）の規定をご参照ください。（なお、かかる規定は第三者による規定であるため、原文（英文）で記載しております。）
これらのソフトウエアに関するご質問は、E メール（sav.pj.gpl.pavc@ml.jp.panasonic.com）でお問い合わせください。

## 付属品

以下の付属品が入っていることを確認してください。〈 〉は個数です。

| ワイヤレスリモコン〈1〉（N2QAYB000668） | 電源コード〈1〉（TXFSX01VKP7） | CD-ROM〈1〉（TXFQB02VKP7） | 単 3 乾電池〈2〉 |
|---|---|---|---|
|  |  |  | （リモコン用） |

**お 願 い**

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

### ■CD-ROM の内容について

付属品の CD-ROM には、以下の内容が収録されています。［●：説明書 / 一覧表（PDF）、○：ソフトウェア］

**●取扱説明書 本体操作編**
**●取扱説明書 ネットワーク操作説明編**

**○複数台プロジェクター 監視制御ソフトウェア（Windows）**
・LAN 接続された複数台のプロジェクターを監視・制御するソフトウェアです。

**●複数台プロジェクター 監視制御ソフトウェア 操作説明書**

**○ロゴ転送ソフトウェア（Windows）**
・スタート時に投影する会社ロゴマークなどユーザー独自の画像をプロジェクターに転送するソフトウェアです。

**●ロゴ転送ソフトウェア 操作説明書**

**○ワイヤレスマネージャー ME5.5（Windows/Macintosh）**
・コンピューターの画面をワイヤレス / 有線 LAN 送信するためのソフトウェアです。

**●ワイヤレスマネージャー ME5.5 操作説明書**

**●対応プロジェクター機種一覧表**
・○印のソフトウェアに対応するプロジェクターの機種、および制約事項の一覧です。

**●ソフトウェアライセンス文**
（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE、GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE）

## 別売品

| 別売品（品名） | 品番 |
|---|---|
| 天つり金具 | ET-PKF110H*1（高天井用）、ET-PKF110S*1（低天井用） |
| 交換用ランプユニット | ET-LAF100A |
| 交換用フィルターユニット | ET-EMF100 |
| ワイヤレスモジュール | ET-WM200 |

*1 PT-F300/PT-FW300 用の天つり金具　ET-PKF100H（高天井用）、ET-PKF100S（低天井用）を使用する場合は販売店にご相談ください。

# はじめにお読みください



本機をご購入後はじめて電源を入れたとき、および「全設定初期化」（☞61 ページ）を実行した場合、初期設定（INITIAL SETTING）のメニュー画面が表示されます。ご使用になる場合や状況に応じて設定してください。

それ以外の場合でも、メニュー操作で設定を変更できます。

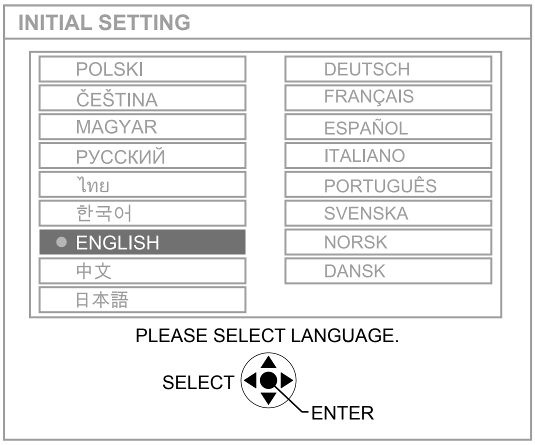
**お知らせ**

- 初回使用の際は、メニュー画面をはっきり表示させるため、本体前面の「ズームレバー」、「フォーカスレバー」（☞29 ページ）での調整が必要になる場合があります。
  詳しくは『映像の映り具合を調整する』をご覧ください。（☞29 ページ）

## ■初期設定（表示言語）

オンスクリーンに表示させる言語を選択してください。（☞46 ページ）

### 1）▲▼◀▶ボタンで表示言語を選ぶ



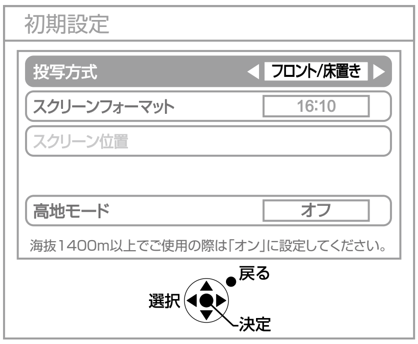

### 2）〈決定〉ボタンを押し、次の初期設定を行う

## ■初期設定（本体設定）

「投写方式」、「スクリーンフォーマット」、「スクリーン位置」、「高地モード」で項目内の選択をしてください。

### 1）▲▼ボタンで項目を選ぶ

### 2）◀▶ボタンで設定を切り換える




（PT-FW430 の画面です）

- 投写方式（☞55 ページ）

| | |
|---|---|
| **フロント / 床置き** | スクリーン前方にある机の上などに設置する場合 |
| **フロント / 天つり** | スクリーン前方にある天つり金具（別売品）を使用して設置する場合 |
| **リア / 床置き** | スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合 |
| **リア / 天つり** | スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に天つり金具（別売品）を使用して設置する場合 |

- スクリーンフォーマット（☞49 ページ）
**[PT-FW430 のみ]**

| | |
|---|---|
| **16：10** | 16:10 あるいは 4:3 のスクリーンを使用して設置する場合 |
| **16：9** | 16:9 のスクリーンを使用して設置する場合 |

- スクリーン位置（☞49 ページ）
**[PT-FW430 のみ]**
※「スクリーンフォーマット」を「16：9」に設定したときのみ選択が可能です。

| | |
|---|---|
| **下** | 投写画面の下部に表示 |
| **中央** | 投写画面の中央部に表示 |
| **上** | 投写画面の上部に表示 |

- 高地モード（☞55 ページ）

| | |
|---|---|
| **オフ** | 通常の環境（海抜 1400 m 未満）で使用する場合 |
| **オン** | 高地（海抜 1400 m 以上～2700 m 未満）で使用する場合 |

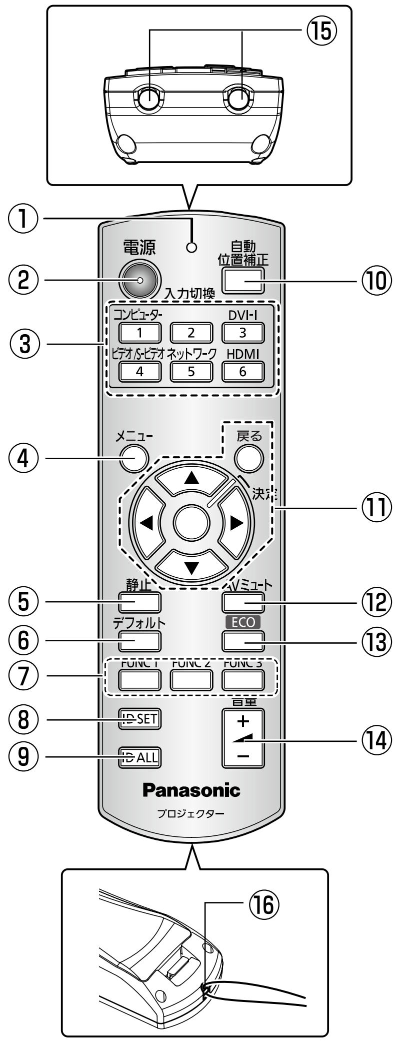
### 3）〈決定〉ボタンを押すと設定が終了する

**お知らせ**

- 初期設定メニュー（本体設定）の画面で〈戻る〉ボタンを押すと、初期設定メニュー（表示言語）の画面に戻ることができます。

# 各部の名称とはたらき

## リモコン




①**リモコン操作表示ランプ**
リモコンボタンを押すと点滅します

②**〈電源〉ボタン**
本体後面の主電源スイッチが「入」のとき、電源を「切」/「入」します

③**入力切換（〈コンピューター〉、〈DVI-I〉、〈ビデオ / S ビデオ〉、〈ネットワーク〉、〈HDMI〉）ボタン**
投写する入力信号を切り換えます（☞30 ページ）
リモコンの ID を設定する場合にも使用します（☞18 ページ）

④**〈メニュー〉ボタン**
メニュー画面を表示します（☞33 ページ）

⑤**〈静止ボタン〉**
映像と音声を一時的に静止したい場合に使用します（☞30 ページ）

⑥**〈デフォルト〉ボタン**
サブメニューの設定内容を工場出荷状態に戻します（☞31 ページ）

⑦**〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタン**
よく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用します（☞58 ページ）

⑧**〈ID SET〉ボタン**
本体を複数台使用するシステム時、リモコンの ID を設定する場合に使用します（☞18 ページ）

⑨**〈ID ALL〉ボタン**
本体を複数台使用するシステム時、1 つのリモコンで同時制御する場合に使用します（☞18ページ）

⑩**〈自動位置補正〉ボタン**
映像を投写中に、画面表示位置を自動調整します
自動調整中は画面に「自動位置補正」と表示します
（☞31 ページ）

⑪**▲▼◀▶ボタン、〈戻る〉ボタン、〈決定〉ボタン**
メニュー画面の操作に使用します
また、「セキュリティ」のパスワード入力や文字の入力にも使用します

⑫**〈AV ミュート〉ボタン**
映像と音声を一時的に消したい場合に使用します（☞30 ページ）

⑬**〈ECO〉ボタン**
「ECO マネージメント」メニューを表示します（☞31 ページ）

⑭**〈音量〉ボタン（＋ / －）**
音声出力の音量を調整します（☞32 ページ）

⑮**リモコン発信部**

⑯**ストラップ穴**
使用状況に合わせてストラップを取り付けることができます

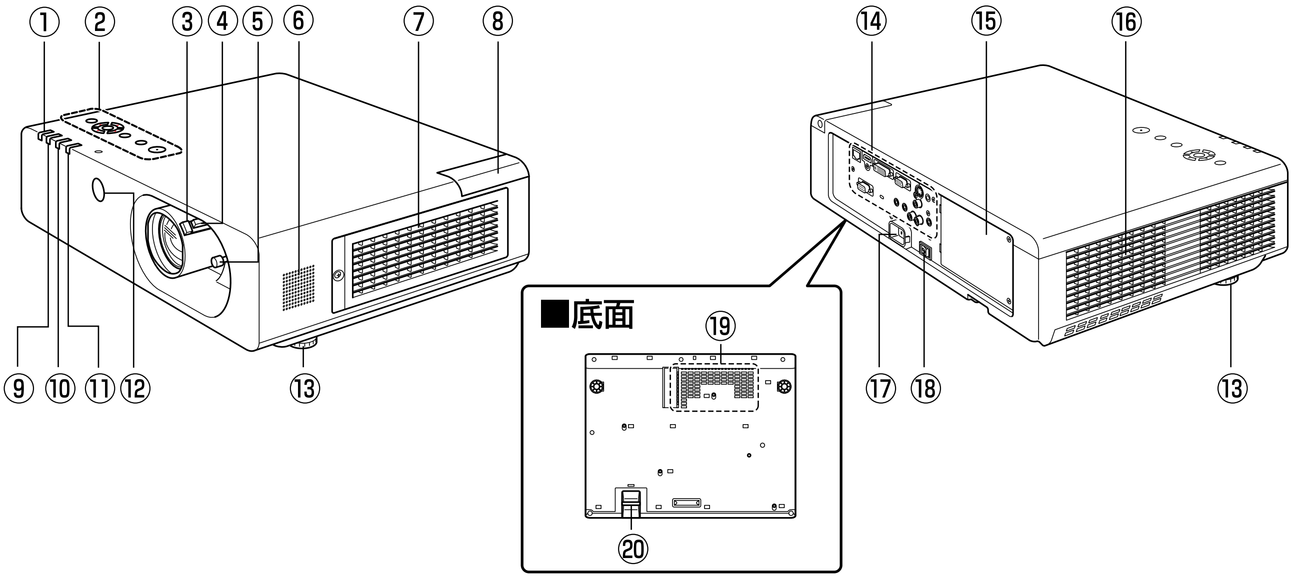
**お 願 い**

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコンにストラップを取り付けた場合、ストラップを持って振り回さないでください。

**お知らせ**

- リモコンを直接本機のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 15 m 以内で操作してください。また、上下に± 15 度と左右に± 30 度まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- リモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

## 本体




①**電源モニター（STANDBY（赤）/ ON（緑））**
電源の状態を表示します

②**本体操作部（☞ 17 ページ）**

③**フォーカスレバー**
フォーカスを調整します

④**ズームレバー**
ズームを調整します

⑤**シフトレバー**
投写位置を調整します

⑥**スピーカー**

⑦**吸気口 / エアフィルターカバー**
内部にエアフィルターユニットがあります（☞68 ページ）

⑧**ワイヤレスモジュールカバー**
内部にワイヤレスモジュール接続端子があります（☞72 ページ）

⑨**ランプモニター（LAMP）**
ランプユニットの状態を表示します

⑩**温度モニター（TEMP）**
内部温度の状態を表示します

⑪**フィルターモニター**
エアフィルターユニットの状態を表示します

⑫**リモコン受信部（前面）**

⑬**アジャスター脚**
投写角度を調整します

⑭**接続端子部（☞ 17 ページ）**

⑮**ランプカバー**
内部にランプユニットがあります（☞71 ページ）

⑯**排気口**

⑰ **AC 入力端子**
付属の電源コードを接続します（☞26 ページ）

⑱**主電源スイッチ**
主電源を「切」/「入」します

⑲**吸気口**

⑳**セキュリティーバー**
盗難防止用にワイヤーなどを取り付けることができます

### ⚠ 警告

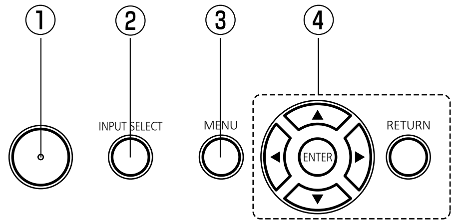
**■ 排気口には手やものを近づけない**

禁止

- 手や顔を近づけない。
- 指を入れない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。

排気口からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。

## 本体操作部




**①電源〈⏻/|〉ボタン**
本体後面の主電源スイッチが「入」のとき、電源を「切」/「入」します

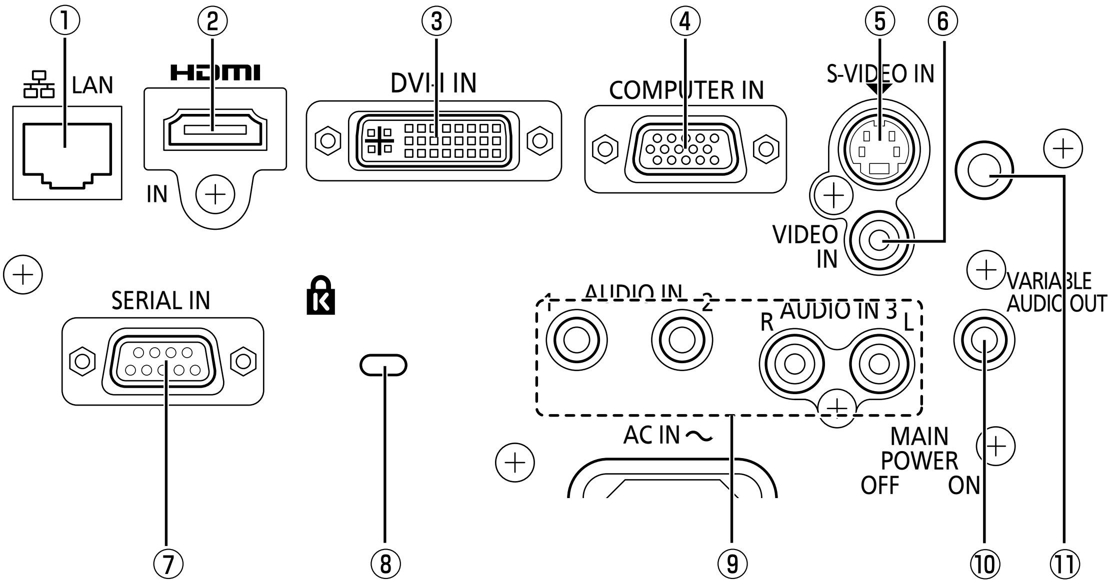
**②入力切換〈INPUT SELECT〉ボタン**
投写する入力信号を切り換えます（☞30 ページ）

**③メニュー〈MENU〉ボタン**
メニュー画面を表示します（☞33 ページ）

**④▲▼◀▶ボタン、戻る〈RETURN〉ボタン、決定〈ENTER〉ボタン**
メニュー画面の操作に使用します

はじめに

## 接続端子部




**① LAN 端子**
ネットワーク接続する端子です

**② HDMI 入力端子**
HDMI 信号を入力する端子です

**③ DVI-I 入力端子**
DVI-D 信号、DVI-A 信号（RGB 信号または $YP_BP_R$ 信号）を入力する端子です

**④コンピューター入力端子**
RGB 信号または $YP_BP_R$ 信号を入力する端子です

**⑤ S-VIDEO 入力端子**
S ビデオ信号を入力する端子です

**⑥ VIDEO 入力端子**
ビデオ信号を入力する端子です

**⑦シリアル入力端子**
コンピューターを接続して本機を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です

**⑧セキュリティースロット**
このセキュリティースロットは、Kensington 社製セキュリティーケーブル *1 に対応しています。

**⑨音声 1 ～ 3 入力端子**
音声を入力する端子です
音声 3 入力端子は、左入力と右入力（L と R）があります

**⑩音声出力端子**
本機に入力された音声信号を出力します

**⑪リモコン受信部（後面）**

お 願 い

- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線を行ってください。

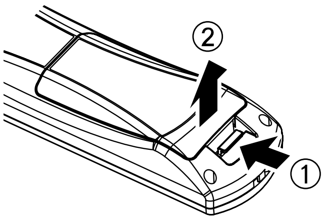
---

*1 Kensington 社製セキュリティーケーブルについてのお問い合わせ先は、下記の通りです。
七陽商事株式会社　情報機器事業部
〒 103-0007　東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル　Tel：03-3663-7740　Fax：03-3669-2367
http://www.nanayojapan.co.jp/
※連絡先は変更になる場合があります。ご了承ください。

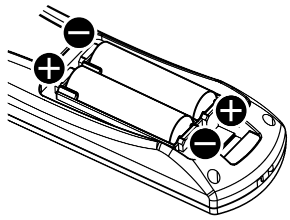
# リモコンの使い方

## 電池を入れる、取り出す

**1）ふたを開ける**




**2）電池を入れ、ふたを閉じる**
（⊖側から先に入れます。）



- 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。



## リモコンの ID ナンバーを指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々の ID ナンバーを設定することにより、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。
本体の ID ナンバーを設定したあと、同じ ID ナンバーをリモコンに指定してください。
なお、**本機の ID ナンバーは工場出荷時は「オール」に設定されていますので 1 台だけでご使用の場合は、リモコンは〈ID ALL〉ボタンをご使用ください。本体の ID が判らない場合は、リモコンの〈ID ALL〉ボタンを押して「ALL」に設定してください。**

### ■設定方法

**〈ID SET〉ボタンを押したあと、5 秒以内に、本体側で設定されている 1 けたの ID ナンバーを数字（〈1〉〜〈6〉）ボタンで設定する。**
ただし、〈ID ALL〉ボタンを押した場合は、本体の ID ナンバー設定に関係なく制御できます。（同時制御モード）

お願い

- リモコンの ID ナンバー指定は本体がなくても可能なため、〈ID SET〉ボタンは不用意に押さないでください。〈ID SET〉ボタンを押した場合は、5 秒以内に数字（〈1〉〜〈6〉）ボタンを押さないと〈ID SET〉ボタンを押す以前の ID ナンバーに戻ります。
- リモコンに入力された ID ナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池を交換した場合や、リモコンの電池が消耗したまま放置していた場合は、設定した ID ナンバーは消去されます。電池を交換した場合は、同じ ID ナンバーを再度設定してください。

お知らせ

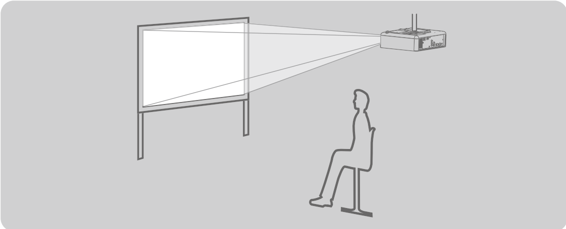
- 本体の ID 設定は、『「プロジェクター設定」について』の『プロジェクター ID』（☞54 ページ）をご覧ください。

# 設置する

## 投写方式

本機は、4 通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

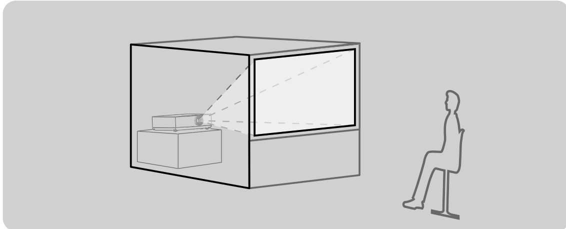
### ■天つり設置で前方に投写する場合



| メニュー項目 *1 | 設定値 |
|---|---|
| **投写方式** | フロント / 天つり |

### ■床置き設置で後方から投写する場合

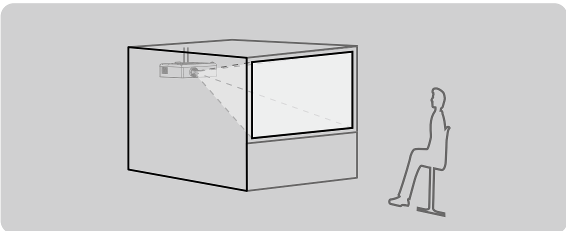
（透過式スクリーン使用）



| メニュー項目 *1 | 設定値 |
|---|---|
| **投写方式** | リア / 床置き |

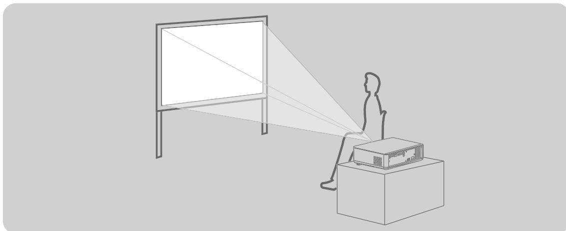
### ■天つり設置で後方から投写する場合

（透過式スクリーン使用）



| メニュー項目 *1 | 設定値 |
|---|---|
| **投写方式** | リア / 天つり |

### ■床置き設置で前方に投写する場合

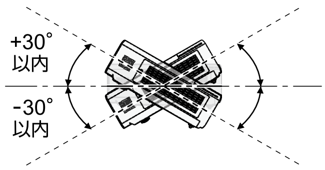


| メニュー項目 *1 | 設定値 |
|---|---|
| **投写方式** | フロント / 床置き |

*1　メニュー項目の詳細については、『「プロジェクター設定」について』の『投写方式』（☞55 ページ）をご覧ください。

**お 願 い**

- 美しい映像をご覧いただくために、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。
- 本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機を傾けて設置する場合は、上下方向に± 30 度以内にしてください。
- 本機を上下方向に± 30 度を超えて傾けた状態で使用されると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。




## 設置オプションについて（別売品）

別売品のプロジェクター用天つり金具（品番 : ET-PKF110H（高天井用）、ET-PKF110S（低天井用））を取り付けて設置することができます。

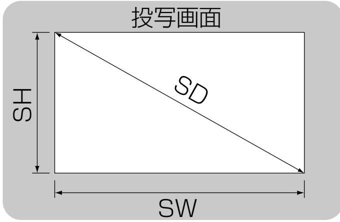
- 必ず、本機専用の天つり金具をご使用ください。
- 本機の取り付けおよび設置については、プロジェクター用天つり金具の工事説明書をご覧ください。
- PT-F300/PT-FW300 用の天つり金具　ET-PKF100H（高天井用）、ET-PKF100S（低天井用）を使用する場合は販売店にご相談ください。

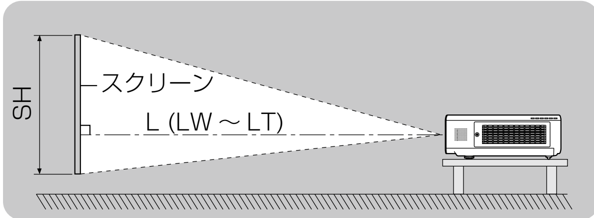
**お 願 い**

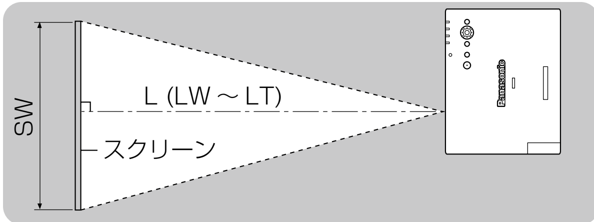
- プロジェクター用天つり金具の取り付け工事は、性能、安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。

## 投写関係

本機の設置は、右図や投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーンサイズ、スクリーン位置に応じて画面サイズ、画面位置を調整することができます。




| | |
|---|---|
| L（LW ～ LT）*1 | 投写距離（m） |
| SH | 画面高さ（m） |
| SW | 画面幅（m） |
| SD | 画面対角サイズ（型） |

*1　LW：最短投写距離
　　LT：最長投写距離

お 願 い

● 設置をする前に『ご使用になる前に』（☞ 10 ～ 13 ページ）をお読みください。



### ■投写距離（PT-FW430 の場合）

（下記の表の寸法は若干の誤差があります）

| 投写画面サイズ | アスペクト 4：3 の場合 | | アスペクト 16：9 の場合 | | アスペクト 16：10 の場合 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 対角（SD） | 最短投写距離（LW） | 最長投写距離（LT） | 最短投写距離（LW） | 最長投写距離（LT） | 最短投写距離（LW） | 最長投写距離（LT） |
| 33 型（0.84 m） | — | 2.1 m | — | 1.9 m | — | 1.8 m |
| 40 型（1.02 m） | 1.3 m | 2.6 m | 1.2 m | 2.3 m | 1.1 m | 2.3 m |
| 50 型（1.27 m） | 1.6 m | 3.2 m | 1.5 m | 2.9 m | 1.4 m | 2.8 m |
| 60 型（1.52 m） | 1.9 m | 3.9 m | 1.7 m | 3.5 m | 1.7 m | 3.4 m |
| 70 型（1.78 m） | 2.3 m | 4.5 m | 2.0 m | 4.1 m | 2.0 m | 4.0 m |
| 80 型（2.03 m） | 2.6 m | 5.2 m | 2.3 m | 4.7 m | 2.3 m | 4.6 m |
| 90 型（2.29 m） | 2.9 m | 5.8 m | 2.6 m | 5.3 m | 2.6 m | 5.1 m |
| 100 型（2.54 m） | 3.2 m | 6.5 m | 2.9 m | 5.9 m | 2.9 m | 5.7 m |
| 120 型（3.05 m） | 3.9 m | 7.8 m | 3.5 m | 7.1 m | 3.4 m | 6.9 m |
| 150 型（3.81 m） | 4.9 m | 9.8 m | 4.4 m | 8.8 m | 4.3 m | 8.6 m |
| 200 型（5.08 m） | 6.5 m | 13.0 m | 5.9 m | 11.8 m | 5.7 m | 11.5 m |
| 250 型（6.35 m） | 8.2 m | 16.3 m | 7.4 m | 14.7 m | 7.2 m | 14.3 m |
| 300 型（7.62 m） | 9.8 m | 19.5 m | 8.9 m | 17.7 m | 8.6 m | 17.2 m |

上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD（型）から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。）

投写画面サイズを SD とすると、

| | アスペクト 4：3 の場合 | アスペクト 16：9 の場合 | アスペクト 16：10 の場合 |
|---|---|---|---|
| 投写画面サイズ　高さ（SH） | = SD × 0.0152 | = SD × 0.0125 | = SD × 0.0135 |
| 投写画面サイズ　幅（SW） | = SD × 0.0203 | = SD × 0.0221 | = SD × 0.0215 |
| 最短投写距離（LW） | = 0.0339 × SD − 0.052 | = 0.0297 × SD − 0.045 | = 0.0289 × SD − 0.046 |
| 最長投写距離（LT） | = 0.0653 × SD − 0.052 | = 0.0592 × SD − 0.061 | = 0.0576 × SD − 0.061 |

## ■投写距離（PT-FX400 の場合）

（下記の表の寸法は若干の誤差があります）

| 投写画面サイズ | アスペクト 4：3 の場合 | | アスペクト 16：9 の場合 | |
|---|---|---|---|---|
| 対角（SD） | 最短投写距離（LW） | 最長投写距離（LT） | 最短投写距離（LW） | 最長投写距離（LT） |
| 33 型（0.84 m） | — | 1.9 m | — | 2.1 m |
| 40 型（1.02 m） | 1.2 m | 2.4 m | 1.3 m | 2.5 m |
| 50 型（1.27 m） | 1.5 m | 3.0 m | 1.7 m | 3.2 m |
| 60 型（1.52 m） | 1.8 m | 3.6 m | 2.0 m | 3.8 m |
| 70 型（1.78 m） | 2.1 m | 4.2 m | 2.3 m | 4.5 m |
| 80 型（2.03 m） | 2.4 m | 4.8 m | 2.7 m | 5.2 m |
| 90 型（2.29 m） | 2.7 m | 5.4 m | 3.0 m | 5.8 m |
| 100 型（2.54 m） | 3.0 m | 6.0 m | 3.3 m | 6.5 m |
| 120 型（3.05 m） | 3.6 m | 7.2 m | 4.0 m | 7.8 m |
| 150 型（3.81 m） | 4.5 m | 9.0 m | 5.0 m | 9.8 m |
| 200 型（5.08 m） | 6.1 m | 12.0 m | 6.6 m | 13.1 m |
| 250 型（6.35 m） | 7.6 m | 15.1 m | 8.3 m | 16.4 m |
| 300 型（7.62 m） | 9.1 m | 18.1 m | 10.0 m | 19.7 m |

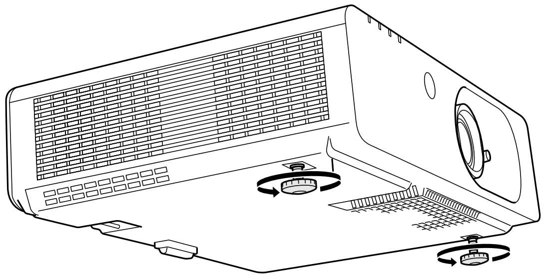
上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD（型）から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。）

投写画面サイズを SD とすると、

| | アスペクト 4：3 の場合 | アスペクト 16：9 の場合 |
|---|---|---|
| 投写画面サイズ　高さ（SH） | ＝ SD × 0.0152 | ＝ SD × 0.0125 |
| 投写画面サイズ　幅（SW） | ＝ SD × 0.0203 | ＝ SD × 0.0221 |
| 最短投写距離（LW） | ＝ 0.0305 × SD − 0.049 | ＝ 0.0332 × SD − 0.053 |
| 最長投写距離（LT） | ＝ 0.0604 × SD − 0.05 | ＝ 0.0596 × SD − 0.055 |

## アジャスター脚の調整

図のように、アジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと元に戻すことができます。
（上下に投写角度を調整することができます。）



**調整可能量**
アジャスター脚：19 mm

お 願 い

- 投写画面にランプ点灯中は排気口から熱風がでています。アジャスター脚を調整するときは、排気口に直接手を触れないでください。
- 投写画面に台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「台形補正」を行ってください。（☞40 ページ）

お知らせ

- アジャスター脚を締めつけ方向に回して“カチッ”と音がしたら、脚の締めつけは完了です。

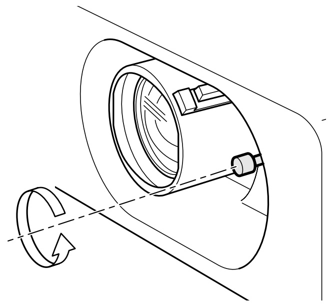


## レンズシフト機能による設置位置調整

本機をスクリーン正面に設置できない場合は、レンズシフト機能を使い、投写画面がスクリーン位置に合うように調整してください。

### ■レンズシフトの調整方法

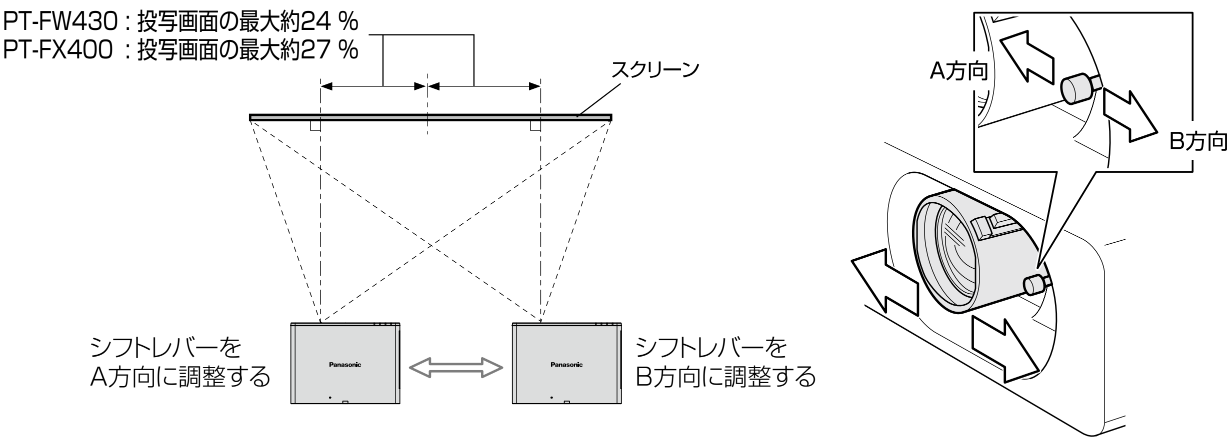
**1) シフトレバーを図の方向（反時計回り）に回し、固定を解除する**



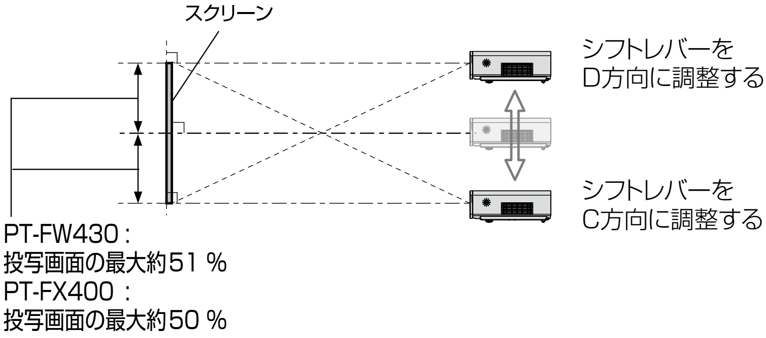
**2) シフトレバーを動かし調整する**

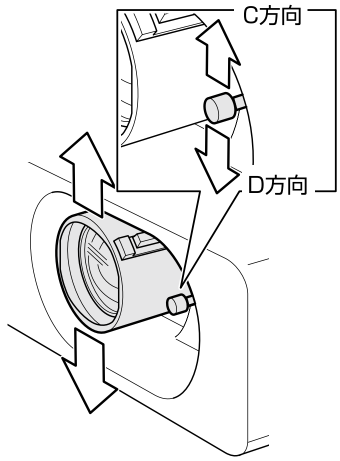
レバーを使って投写位置を調整します。
（下図は床置きで前方に投写している場合の例）

- 水平位置を変更する
  スクリーンと本機の設置位置に合わせて、シフトレバーを左右に調整してください。

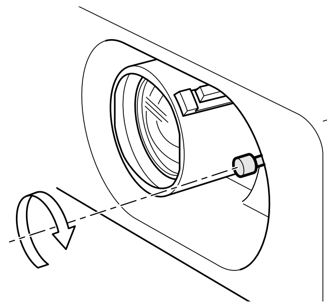


● 垂直位置を変更する
スクリーンと本機の設置位置に合わせて、シフトレバーを上下に調整してください。




3）シフトレバーを図の方向（時計回り）に回し、固定する

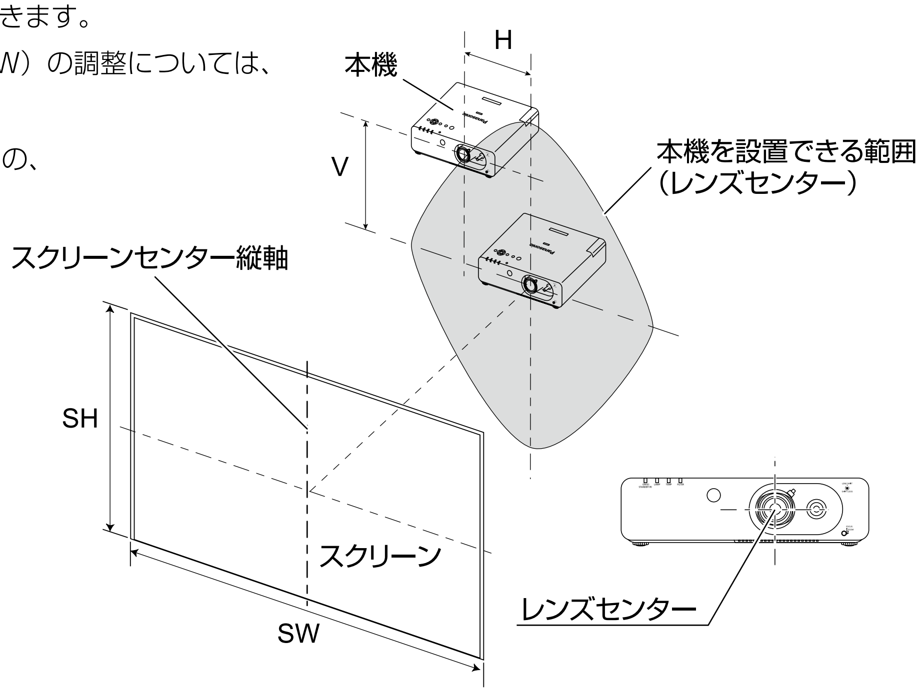


## ■レンズシフト機能による調整範囲

下記の範囲で設置位置を調整できます。

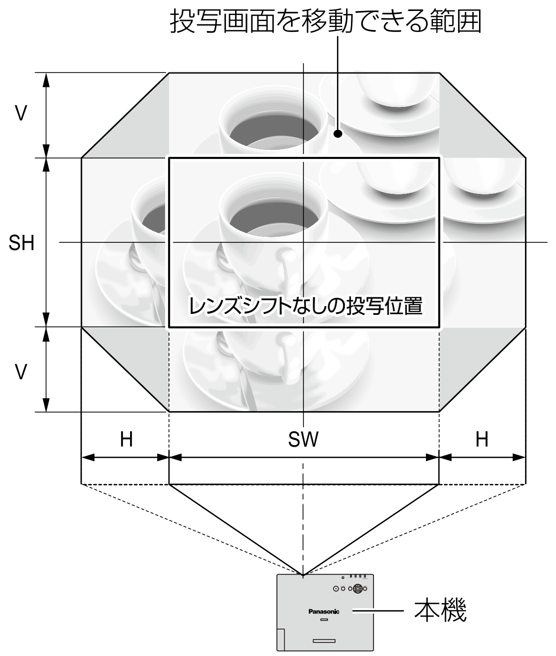
投写画面の高さ（SH）、幅（SW）の調整については、「投写関係」をご覧ください。
（☞20 ページ）

- スクリーンを基準としたときの、本機を設置できる範囲



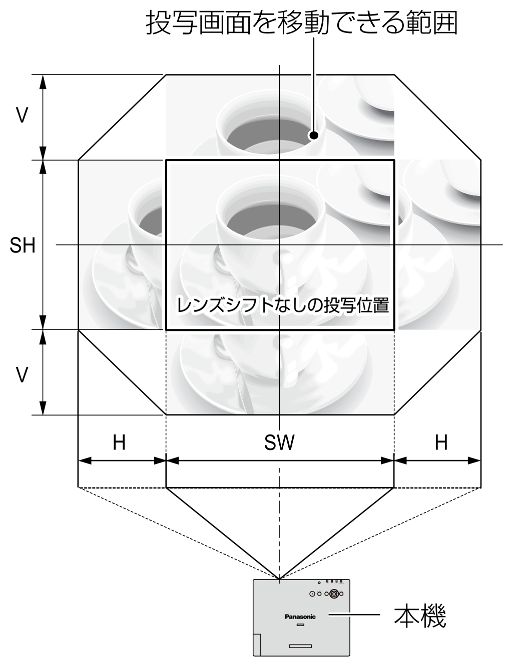

- 本体を基準としたときの、投写画面を移動できる範囲

● PT-FW430（16:10 の場合）




| シフト方向 | 調整できる最大範囲 |
|---|---|
| 水平方向（H） | 投写画面幅（SW）の 左右 約 24 % |
| 垂直方向（V） | 投写画面高さ（SH）の上下 約 51 % |

● PT-FX400




| シフト方向 | 調整できる最大範囲 |
|---|---|
| 水平方向（H） | 投写画面幅（SW）の 左右 約 27 % |
| 垂直方向（V） | 投写画面高さ（SH）の上下 約 50 % |

**お知らせ**

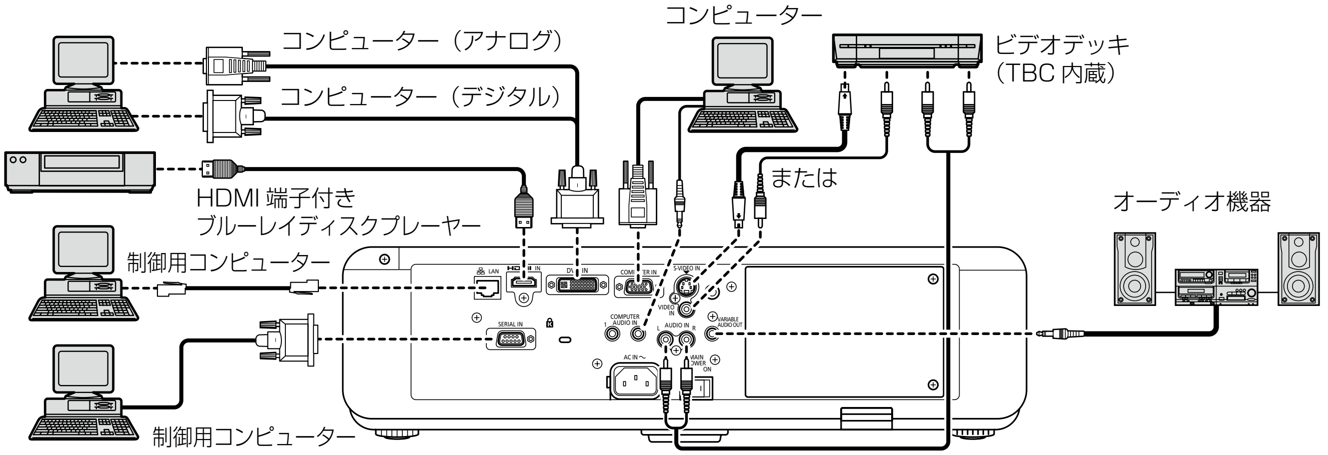
- 本機をスクリーン正面に設置し、シフトレバーを中央部に調整すると、最良の画面が得られます。
- 右または左へ最大にレンズシフトしたときは、上下には最大までレンズシフトできません。
  同様に、上または下へ最大にレンズシフトしたときは、左右には最大までレンズシフトできません。
- 本機を前または後ろに傾け、台形補正を使用して設置するときは、レンズセンターとスクリーンセンター縦軸を合わせてください。

# 接続する

## 接続の前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、S ビデオ信号、アナログ RGB 信号（同期信号は TTL レベル）、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を長いケーブルを使用して接続する場合はケーブル補償器などを使用しないと正常に出画できないことがあります。
- 本機が対応する映像信号については、『対応信号リスト』をご覧ください。（☞81 ページ）

## 接続例




**お 願 い**

- ビデオデッキを接続するときは、必ずタイムベースコレクター（TBC）内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター（TBC）を使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると､映像が乱れる場合があります｡その場合は本機との間にタイムベースコレクター（TBC）を接続してください。

**お知らせ**

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- HDMI 入力端子は、HDMI/DVI 変換ケーブルを使用することで DVI 端子がある外部機器とも接続することができますが、一部の機器では映像が表示されないなど、正常に動作しない場合があります。（☞48 ページ）
- DVI-I 入力端子は HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができますが、一部の機器では映像が表示されないなど、正常に動作しない場合があります。（☞48 ページ）
- 「音声入力選択」の設定を間違えると､音声がでないなど､正常に動作しない場合があります。（☞59 ページ）
- 本機はビエラリンク（HDMI）に対応していません。
- $YP_BP_R$ 信号入力時はコンピューター入力端子 / DVI-I 入力端子をお使いください。
- DVI-I 入力端子（デジタル入力時）はシングルリンクのみ対応しています。
- 本機が投写できるコンピューターからの RGB 信号は、『対応信号リスト』（☞81 ページ）を参照してください。
- レジューム機能（ラストメモリー）を持つコンピューターを使用される場合は、その機能をリセットしないと動作しない場合があります。
- SYNC ON GREEN 信号入力時には SYNC/HD、VD 端子へ同期信号を入力しないでください。
- DVI-I 入力端子（デジタル入力時）は、接続する機器によって EDID 設定が必要になる場合があります。（☞48 ページ）
- 本機とコンピューターとの有線 LAN、ワイヤレス通信については、付属 CD-ROM の『取扱説明書　ネットワーク操作編』をご覧ください。

準備

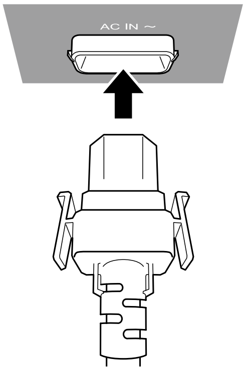
# 電源を入れる / 切る

## 電源コードを接続する

**電源コードの抜けを防止するため、付属の電源コードを使用して、本体に根元まで確実に差し込んで固定してください。**
主電源〈MAIN POWER〉スイッチが“○”側（オフ）になっていることを確認してから、電源コードを接続してください。

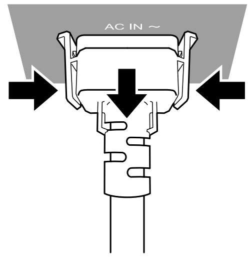
### ■取り付け方

**左右のつめが“カチッ”と音がするまで、しっかりと差し込む**




### ■取り外し方

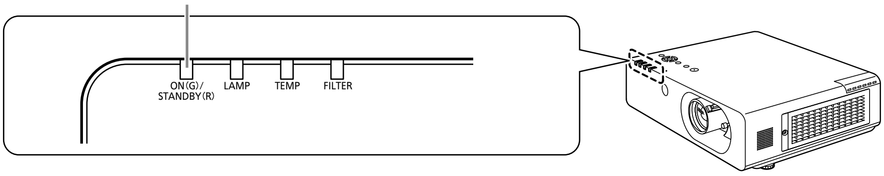
**横のつまみを押しながら引き抜く**




## 電源モニターについて

電源の状態を表示します。〈電源モニター〉の状態をよく確認し、操作してください。

電源モニター

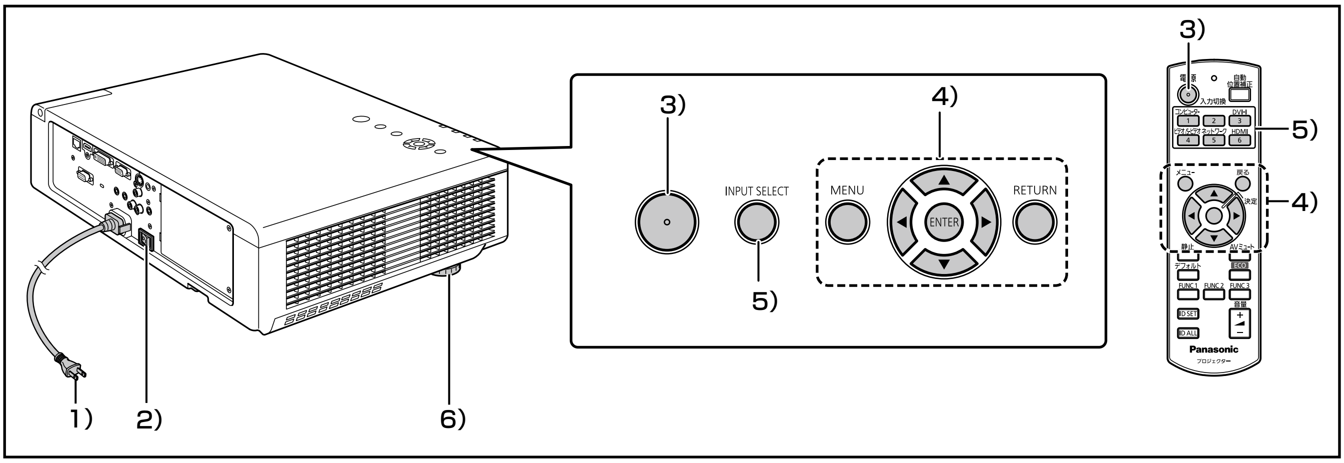



| 点灯状況 | | 本機の状態 |
|---|---|---|
| 消灯 | | 主電源オフ状態 |
| 赤色 | 点灯 | 電源オフ状態（「スタンバイモード」設定が「ECO」の場合）<br>〈電源（⏻/|）〉ボタンを押すと投写を開始します<br>※〈ランプ、温度モニター〉点滅時は動作しません（☞66 ページ） |
| | 点滅 | 電源オフ状態（「スタンバイモード」設定が「ノーマル」の場合）<br>〈電源（⏻/|）〉ボタンを押すと投写を開始します<br>※〈ランプ、温度モニター〉点滅時は動作しません（☞66 ページ） |
| 緑色 | 点滅 | 投写準備状態<br>しばらくすると映像を投写します |
| | 点灯 | 投写状態（ON） |
| オレンジ色 | 点灯 | 電源オフ準備状態<br>しばらくすると電源オフ状態（スタンバイ状態）になります |
| | 点滅 | 電源オフ準備状態中に〈電源（⏻/|）〉ボタンを押した状態<br>しばらくすると映像を投写します |

お知らせ

- 電源オフ準備状態時（〈電源モニター〉がオレンジ色に点灯）は、内部ファンが回転し、本機を冷却しています。
- 電源オフ準備状態時に、〈電源（⏻/|）〉ボタンを押したときは、投写状態になるまで時間がかかる場合があります。
- 電源オフ状態（〈電源モニター〉が赤色に点灯）でも、電力を消費しています。

## 電源を入れる




電源を入れる前に、あらかじめレンズカバーを外してください。

### 1) 電源プラグをコンセントに接続する

（AC100 V 50 Hz/60 Hz）

### 2) 主電源〈MAIN POWER〉スイッチの「ON」側を押して電源を入れる

しばらくすると〈電源モニター〉が赤色に点灯または点滅してスタンバイ状態になります。

### 3)〈電源（⏻/|）〉ボタンを押す

〈電源モニター〉が緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

お知らせ

- 「セキュリティ」メニューで、「操作設定」の「本体操作部」(本体で操作する場合)または「リモコン」(リモコンで操作する場合）が「有効」になっていることを確認してください。(☞64 ページ)
  「セキュリティ」メニューを設定する場合はパスワードの入力が必要です。(☞62 ページ)
- ランプ点灯時に“チリチリ”という音がしますが、これは故障ではありません。
- 映像投写中は、冷却ファンが回転し、動作音がします。また、外気温によっては動作音が変わることがあり、ランプ点灯時には、動作音が大きくなります。
- ランプ消灯直後に再び点灯を行った場合、ランプの特性上投写開始後少しの間、映像がちらつく場合がありますが、これは故障ではありません。
- 「プロジェクター設定」–「ECO マネージメント」メニューの「スタンバイモード」(☞57 ページ）で「ECO」に設定している場合は「ノーマル」に設定しているときと比べて、出画までにかかる時間が約 10 秒遅くなることがあります。
- 「プロジェクター設定」メニューの「起動方法」が「ラストメモリ」に設定されていると、前回使用時にダイレクトパワーオフ機能を使用して、投写中に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にして終了した場合は、電源プラグをコンセントに接続した状態で主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「入」にすると、しばらくして〈電源モニター〉が緑色に点灯し、映像が投写されます。

## 調整・選択をする

フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。

### 4)「初期設定」を設定する（☞ 14 ページ）

本機をご購入後、初めて電源を入れたとき、および「プロジェクター設定」–「全設定初期化」(☞61 ページ）を実行した場合、表示言語を設定する画面と、その他の初期設定を行う「初期設定」のメニュー画面が表示されます。

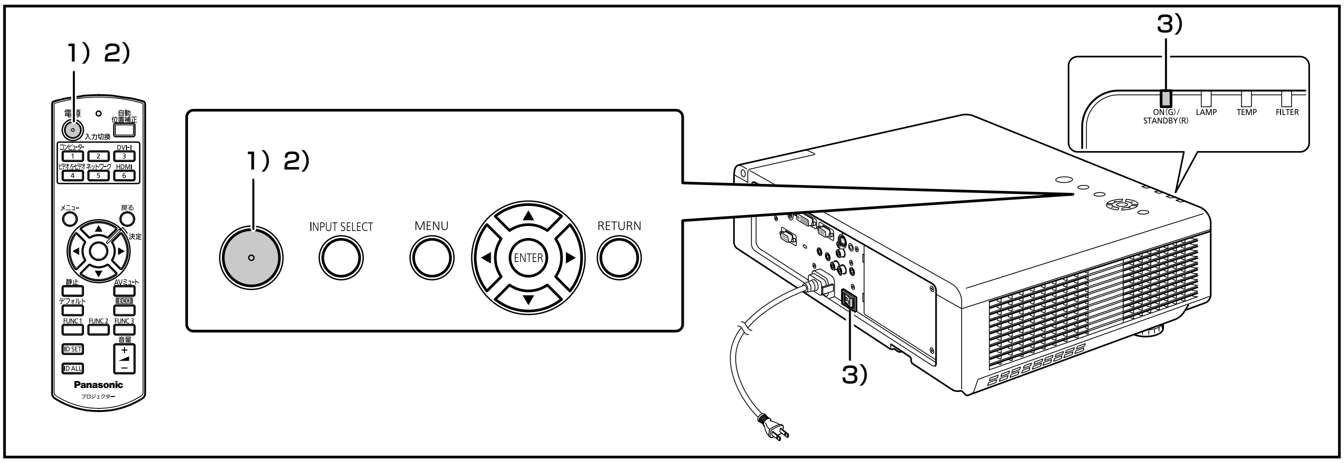
### 5) 入力切換（〈コンピューター〉、〈DVI-I〉、〈ビデオ /S ビデオ〉、〈ネットワーク〉、〈HDMI〉）ボタン、または〈INPUT SELECT〉ボタンを押して入力端子を選択する

### 6) 投写角度を調整する（☞ 22 ページ）

アジャスター脚を伸ばし、上方向に投写角度を調整できます。

基本的な使い方

## 電源を切る




### 1)〈電源（⏻/|）〉ボタンを押す

画面に「電源オフ」確認画面が表示されます。

- 〈電源（⏻/|）〉ボタン以外のボタンを押すか、約 10 秒たつと「電源オフ」確認画面が消えます。

### 2) もう一度、〈電源（⏻/|）〉ボタンを押す

ランプが消え、操作音（ビープ音）がなり、映像の投写が停止します。

- 冷却ファンは回転したまま〈電源モニター〉がオレンジ色に点灯します。〈電源モニター〉が赤色に点灯するまでお待ちください。
- スタンバイモードが「ノーマル」に設定されている場合は、〈電源モニター〉は赤色に点滅します。
- 〈電源（⏻/|）〉ボタン操作時の操作音（ビープ音）は、「プロジェクター設定」メニューの「音声設定」で「オン」「オフ」の設定が可能です。（☞59 ページ）

### 3)〈電源モニター〉が赤色に点灯したら、主電源〈MAIN POWER〉スイッチの「OFF」側を押して電源を切る

お知らせ

- **電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。**
  電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しないことがあります。この場合は〈電源モニター〉が赤色に点灯してから、電源を入れ直してください。ランプの温度が高い状態で電源を入れるとランプの寿命を早めるおそれがあります。
- 本体の主電源「入」状態で、リモコンで電源「切」にした場合、電力を消費しています。消費電力については、『仕様』の『消費電力』をご覧ください。（☞83 ページ）
- 「セキュリティ」メニューで、「操作設定」の「本体操作部」（本体で操作する場合）または「リモコン」（リモコンで操作する場合）が「有効」になっていることを確認してください。（☞64 ページ）

## ダイレクトパワーオフ機能

投写中や光源ランプ消灯直後に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にしても、内部に蓄えられた電力により冷却ファンが動作し、光源ランプの冷却を行います。天つり設置など、プロジェクターの主電源〈MAIN POWER〉スイッチを容易に「切」にできない環境でも、直接電源ブレーカーで電源を落とすことができます。また、万一停電になった場合や電源を切った直後に電源コードを抜いてしまった場合でも安心です。

お知らせ

- 前回使用時に、投写中に直接電源ブレーカーで電源を落として終了した場合は、電源ブレーカーを「入」にするとしばらくして〈電源モニター〉が緑色に点灯し、映像投写へと移行します。（起動方法をラストメモリおよびオンスタートに設定している場合のみ（☞54 ページ））
- ダイレクトパワーオフで冷却した場合、次回の電源「入」時に投写状態になるまで通常よりも時間がかかる場合があります。
- 運搬・保管のために梱包を行う場合、冷却ファンが停止していることを確認してください。

# 投写する

外部機器の接続（☞25 ページ）と電源コードの接続（☞26 ページ）を確認し、電源を入れる（☞27 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

## 投写する映像を選択する

映像の入力を切り換えます。
入力切換（〈コンピューター〉、〈DVI-I〉、〈ビデオ /S ビデオ〉、〈ネットワーク〉、〈HDMI〉）ボタンで選択した映像が投写されます。（☞30 ページ）

**お 願 い**

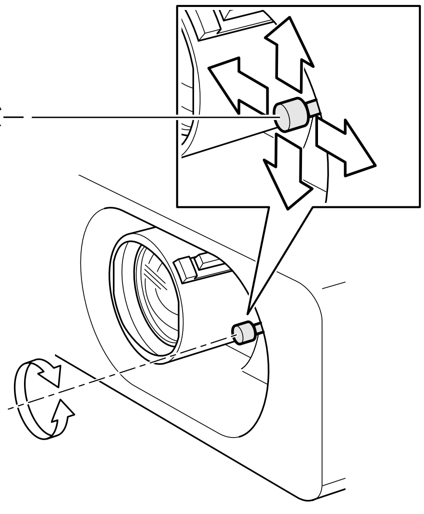
- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、正常に映像が映らない場合があります。「映像調整」メニューの「TV システム」、「RGB/ $YP_BP_R$」（☞39 ページ）で入力信号に合ったシステム方式に設定してください。
- 投写するスクリーンと映像の縦横比を確認し、「位置調整」メニューの「アスペクト」（☞42 ページ）で最適な縦横比に切り換えてください。

## 映像の映り具合を調整する

**1)「シフトレバー」を反時計回りに回して「シフトレバー」の固定を解除する**

**2) レンズシフトを調整する**

「シフトレバー」で投写位置を調整します。




- 調整範囲については、『レンズシフト機能による調整範囲』をご覧ください。（☞22 ページ）

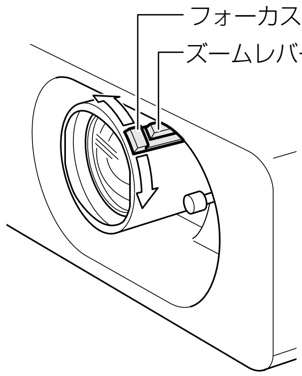
**3)「シフトレバー」を時計回りに回して「シフトレバー」を固定する**

**4) 投写角度を調整する**

- 詳しくは、『アジャスター脚の調整』をご覧ください。（☞22 ページ）

**5) ズームとフォーカスを調整する**

「ズームレバー」と「フォーカスレバー」を回して調整します。

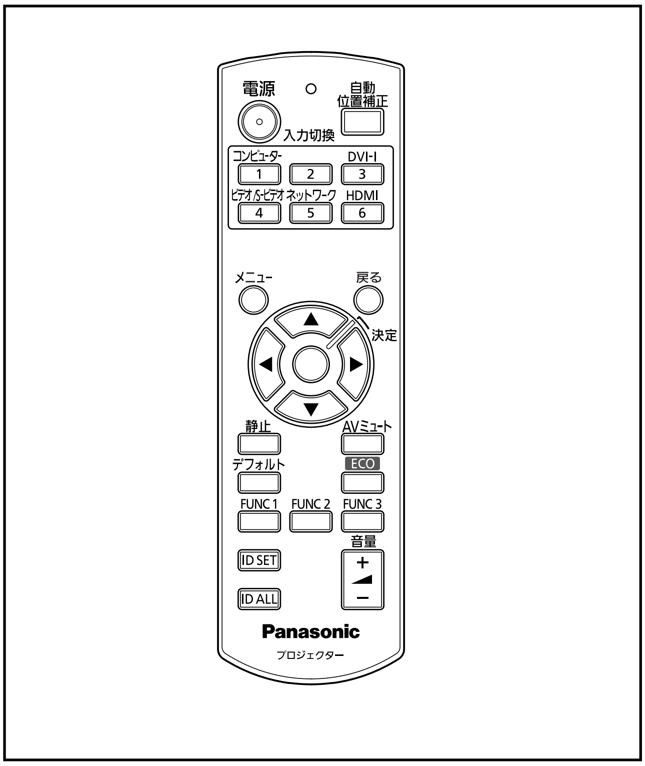



**お知らせ**

- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- 「フォーカスレバー」を回すと投写サイズが変わるため「ズームレバー」を回して、再度投写サイズを微調整してください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「台形補正」を行ってください。（☞40 ページ）

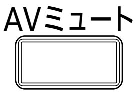
基本的な使い方

# リモコンで操作する




## AV ミュート機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消すことができます。



ボタン

**1) リモコンの〈AV ミュート〉ボタンを押す**
- 映像と音声が消えます。

**2) 再度〈AV ミュート〉ボタンを押す**
- 映像と音声がでます。

## 静止機能を使う

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止し、音声を消すことができます。



ボタン

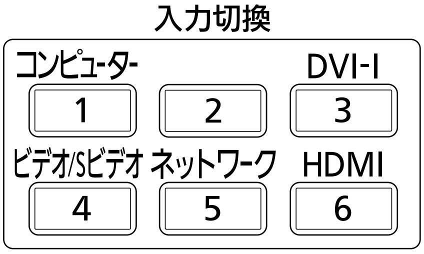
**1) リモコンの〈静止〉ボタンを押す**
- 映像が静止し、音声が消えます。

**2) 再度〈静止〉ボタンを押す**
- 映像の静止が解除され、音声がでます。

お知らせ
- 静止中は画面に「静止」と表示されます。

## 入力信号を切り換える

投写する入力信号を切り換えることができます。

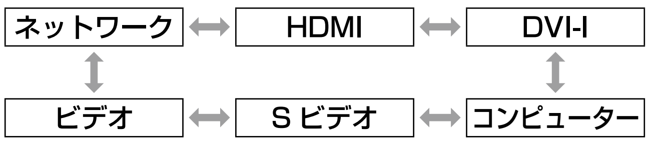


ボタン

**リモコンの入力切換（〈コンピューター〉、〈DVI-I〉、〈ビデオ /S ビデオ〉、〈ネットワーク〉、〈HDMI〉）ボタンを押す**

| | |
|---|---|
| コンピューター | 入力をコンピューターに切り換えます。 |
| DVI-I | 入力を DVI-I に切り換えます。 |
| ビデオ /S ビデオ | 入力をビデオまたは S ビデオに切り換えます。 |
| ネットワーク | 入力をネットワークに切り換えます。 |
| HDMI | 入力を HDMI に切り換えます。 |

お知らせ
- 本体操作部で〈INPUT SELECT〉ボタンを押すと下記の順に切り換わります。（☞ 17 ページ）



## 表示位置を自動補正する

コンピューター信号入力時は「シフト」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動補正することができます。




ボタン

**リモコンの〈自動位置補正〉ボタンを押す**

お知らせ

- DVI デジタル /HDMI 信号入力時は「シフト」のみ自動補正されます。
- 無信号時は入力検出が動作します。（「入力検出」を「オン」に設定時）（☞51 ページ）
- ドットクロック 162 MHz を超える信号入力時は、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」は自動設定されません。（☞41 ページ）
- 画面の端がわからないような信号や、暗い画面を入力して「自動位置補正」を動作させると、自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画面に切り換えてから、もう一度〈自動位置補正〉ボタンを押してください。

## ファンクションボタンを使う

リモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンによく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用することができます。




ボタン

**リモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンを押す**

お知らせ

- 詳しくは、『「プロジェクター設定」について』の『ファンクションボタン』をご覧ください。（☞58 ページ）

## ECO ボタンを使う

「ECO マネージメント」メニューを表示することができます。




ボタン

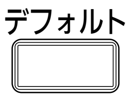
**リモコンの〈ECO〉ボタンを押す**

お知らせ

- 詳しくは、『「プロジェクター設定」について』の『ECO マネージメント』をご覧ください。（☞57 ページ）

## 出荷状態に戻す

サブメニューの設定、調整の値を工場出荷状態に戻します。




ボタン

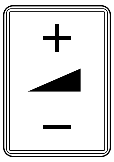
**リモコンの〈デフォルト〉ボタンを押す**

お知らせ

- 詳しくは、『オンスクリーンメニューについて』の『メニュー画面の操作方法』内の『調整値を工場出荷時の状態に戻す』をご覧ください。（☞33 ページ）

## 音量を調整する

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整できます。

音量  ボタン



**リモコンの〈音量〉（＋ / −）ボタンを押す**

| | |
|---|---|
| **＋ボタン** | 音量を大きくする |
| **−ボタン** | 音量を小さくする |

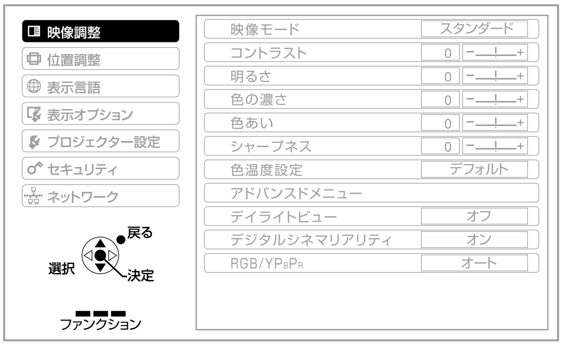
# オンスクリーンメニューについて

## メニュー画面の操作方法

### ■操作の手順

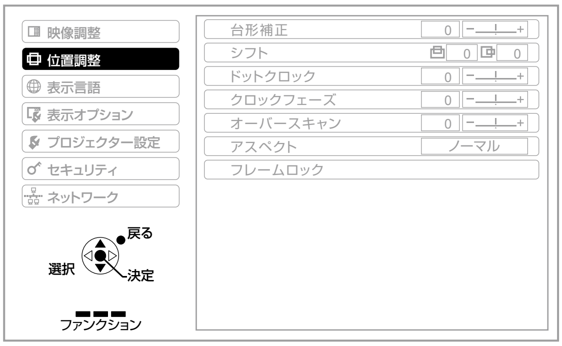
**1)〈メニュー〉ボタンを押す**

メインメニューが表示されます。



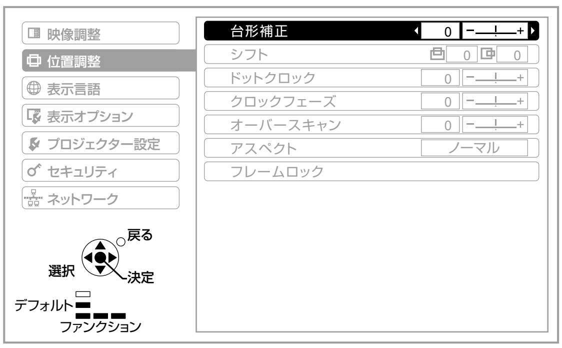

**2)▲▼ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ**

「映像調整」、「位置調整」、「表示言語」、「表示オプション」、「プロジェクター設定」、「セキュリティ」、「ネットワーク」の7つの項目から、調整したい項目を選んでください。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで表示され、選択した項目のサブメニューが右側に表示されます。




**3)〈決定〉ボタンを押す**

サブメニューが表示され、サブメニューの項目が選択できるようになります。




**4)▲▼ボタンを押して変更したいサブメニューの項目を選び、◀▶ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う**

設定を切り換える項目とバースケールのある項目では、メニュー画面が消え、下図のように選択中の項目（個別調整画面）のみが表示されます。




項目名のみの表示は、〈決定〉ボタンを押すと次の画面が表示され、詳細な設定ができます。

**お知らせ**

- メニュー画面を表示中、〈戻る〉ボタンまたは、〈メニュー〉ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- 約 5 秒間何も操作しないと、個別調整画面は自動で消えます。
- サブメニューの項目については 34、35 ページをご覧ください。

### ■調整値を工場出荷時の状態に戻す

リモコンの〈デフォルト〉ボタンを押すと、「メニュー」項目で調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。

デフォルト



**を押す**

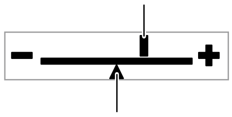
表示されている画面によって動作が異なります。

- サブメニュー画面表示時：
  表示されているサブメニューの項目が工場出荷時の状態に戻ります。
- 個別調整画面表示時：
  調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻ります。




**お知らせ**

- 全ての設定を一度に工場出荷時の状態には戻せません。
  「メニュー」項目で調整した値を、一度に工場出荷時の状態に戻すには、『プロジェクター設定』メニューの『全設定初期化』をご覧ください。(☞61 ページ)
- 〈デフォルト〉ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下の三角マークは、工場出荷時の値を示しています。
  また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。




調整と設定

## メインメニュー

メインメニューには以下の 7 項目があります。
メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

| | |
|---|---|
| | 映像調整 |
| | 位置調整 |
| | 表示言語 |
| | 表示オプション |
| | プロジェクター設定 |
| | セキュリティ |
| | ネットワーク |

## サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニュー項目が表示され、各項目の設定・調整ができます。

### ■映像調整 [ ]

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 | ページ |
|---|---|---|
| 映像モード | スタンダード *1 | 36 |
| コントラスト | 0 | 36 |
| 明るさ | 0 | 36 |
| 色の濃さ | 0 | 37 |
| 色あい | 0 | 37 |
| シャープネス | 0 | 37 |
| 色温度設定 | デフォルト | 37 |
| アドバンスドメニュー | — | 38 |
| デイライトビュー | オート | 38 |
| デジタルシネマリアリティ | オン | 38 |
| ノイズリダクション | オフ | 39 |
| TV システム | オート | 39 |
| RGB/$YP_BP_R$ | オート *1 | 39 |

*1 入力信号により異なります。

お知らせ

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なる場合があります。
- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

### ■位置調整 [ ]

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 | ページ |
|---|---|---|
| 台形補正 | 0 | 40 |
| シフト | 0 | 40 |
| シフト垂直 *1 | 0 | 40 |
| ドットクロック | 0 | 41 |
| クロックフェーズ | 0 | 41 |
| オーバースキャン | 0 | 41 |
| アスペクト | ノーマル *2 | 42 |
| フレームロック | オフ | 45 |

*1 PT-FW430 のみ。
ネットワーク入力時の「アスペクト」が「Hフィット」の場合のみ表示されます。
*2 入力信号により異なります。

お知らせ

- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、選択中の入力端子により表示が異なります。

## ■表示言語［ ］
項目の詳細（☞46 ページ）

## ■表示オプション［ ］

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 | ページ |
|---|---|---|
| オンスクリーン表示 | — | 47 |
| DVI-I IN | — | 48 |
| HDMI IN | — | 48 |
| クローズドキャプション設定 | オフ | 49 |
| スクリーン設定 | — | 49 |
| スタートアップロゴ | デフォルトロゴ | 50 |
| 自動位置調整 | オート | 50 |
| 入力検出 | オン | 51 |
| バックカラー | ブルー | 51 |
| ワイドモード | オート | 51 |
| SXGA モード | SXGA | 51 |
| その他の機能 | | 52 |

## ■プロジェクター設定［ ］

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 | ページ |
|---|---|---|
| ステータス | — | 54 |
| プロジェクター ID | オール | 54 |
| 起動方法 | ラストメモリ | 54 |
| 投写方式 | フロント / 床置き | 55 |
| 高地モード | オフ | 55 |
| ランプパワー | ノーマル | 55 |
| スケジュール | オフ | 56 |
| ECO マネージメント | — | 57 |
| エミュレート | デフォルト | 58 |
| ファンクションボタン | — | 58 |
| 音声設定 | — | 59 |
| 日付と時刻 | — | 60 |
| テストパターン | — | 61 |
| 全設定初期化 | — | 61 |

## ■セキュリティ［ ］

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 | ページ |
|---|---|---|
| パスワード設定 | オフ | 62 |
| パスワード変更 | — | 62 |
| 表示設定 | オフ | 63 |
| テキスト変更 | — | 63 |
| メニューロック | オフ | 63 |
| メニューロックパスワード | — | 63 |
| 操作設定 | — | 64 |

## ■ネットワーク［ ］
『取扱説明書 ネットワーク操作編』を参照してください。

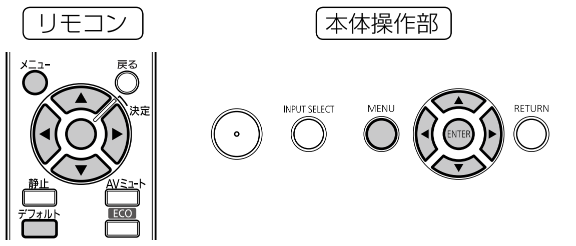
| サブメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| 有線 LAN | — |
| 無線 LAN | S-MAP *1 |
| プロジェクター名変更 | — |
| パスワード設定 | オフ |
| パスワード変更 | — |
| ネットワークコントロール | オン |
| ライブモード割り込み | オフ |
| コンピューター検索 | — |
| マルチライブ | — |
| ステータス | — |
| 初期化 | — |

*1 別売品のワイヤレスモジュールを装着している場合

# 「映像調整」について

**『メニュー画面の操作方法』（☞33 ページ）のメインメニューから「映像調整」を選び、サブメニューから項目を選んでください。**

● 項目を選んだら◀▶ボタンで調整してください。




## 映像モード

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像モードに設定します。

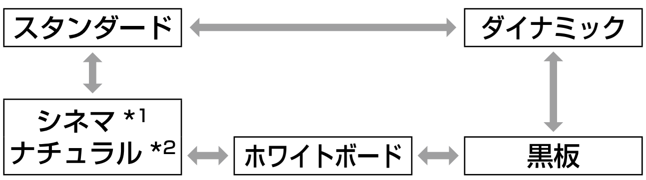
### 1）▲▼ボタンで「映像モード」を選択する

### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す

●「**映像モード**」画面が表示されます。

### 3）◀▶ボタンで「映像モード」を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。




*1 動画入力時
*2 静止画入力時

| | |
|---|---|
| **スタンダード** | 標準的な明るさでご覧になる場合 |
| **ダイナミック** | より明るく、くっきりした画質でご覧になる場合 |
| **黒板** | 黒板に投写する場合 |
| **ホワイトボード** | ホワイトボードに投写する場合 |
| **シネマ** | 映画ソースに適した画像になります |
| **ナチュラル** | 暗い部屋でご覧になる場合 |

**お知らせ**

● 工場出荷時の映像モードは、静止画入力時は「ダイナミック」、動画入力時は「スタンダード」です。
● 映像モードを切り換えた後、映像が安定するまで数秒かかる場合があります。

## コントラスト

色の明暗度を調整します。

### 1）▲▼ボタンで「コントラスト」を選択する

### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す

●「**コントラスト**」画面が表示されます。

### 3）◀▶ボタンでレベルを調整する

| 操作 | 変化内容 | 調整範囲 |
|---|---|---|
| ▶ボタンを押す | 画面が明るくなり、映像が濃くなります | 最大値＋ 32 |
| ◀ボタンを押す | 画面が暗くなり、映像が薄くなります | 最小値－ 32 |

**お 願 い**

● 明るさを調整する必要がある場合には、「明るさ」を先に調整してください。

## 明るさ

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

### 1）▲▼ボタンで「明るさ」を選択する

### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す

●「**明るさ**」画面が表示されます。

### 3）◀▶ボタンでレベルを調整する

| 操作 | 変化内容 | 調整範囲 |
|---|---|---|
| ▶ボタンを押す | 画面の暗い部分（黒色）が明るくなります | 最大値＋ 32 |
| ◀ボタンを押す | 画面の暗い部分（黒色）が暗くなります | 最小値－ 32 |

## 色の濃さ

色の濃さを調整します。

**1）▲▼ボタンで「色の濃さ」を選択する**

**2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す**
- 「**色の濃さ**」画面が表示されます。

**3）◀▶ボタンでレベルを調整する**

| 操作 | 変化内容 | 調整範囲 |
|---|---|---|
| ▶ボタンを押す | 色が濃くなります | 最大値＋ 32 |
| ◀ボタンを押す | 色が薄くなります | 最小値－ 32 |

## 色あい

肌色の部分を調整します。

**1）▲▼ボタンで「色あい」を選択する**

**2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す**
- 「**色あい**」画面が表示されます。

**3）◀▶ボタンでレベルを調整する**

| 操作 | 変化内容 | 調整範囲 |
|---|---|---|
| ▶ボタンを押す | 色あいが変化し肌色が緑色がかります | 最大値＋ 32 |
| ◀ボタンを押す | 色あいが変化し肌色が赤紫色がかります | 最小値－ 32 |

## シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

**1）▲▼ボタンで「シャープネス」を選択する**

**2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す**
- 「**シャープネス**」画面が表示されます。

**3）◀▶ボタンでレベルを調整する**

| 操作 | 変化内容 | 調整範囲 |
|---|---|---|
| ▶ボタンを押す | 輪郭がシャープになります | 入力信号により異なります。 |
| ◀ボタンを押す | 輪郭がやわらかくなります | |

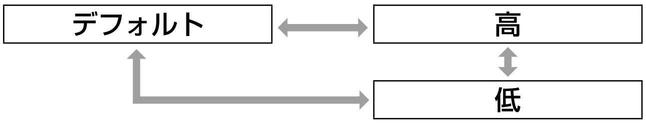
## 色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。

**1）▲▼ボタンで「色温度設定」を選択する**

**2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す**
- 「**色温度設定**」画面が表示されます。

**3）◀▶ボタンで「色温度設定」を切り換える**
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。




| | |
|---|---|
| **デフォルト** | 標準的な設定の場合 |
| **高** | 映像の白色部分を青みがからせたい場合 |
| **低** | 映像の白色部分を赤みがからせたい場合 |

## アドバンスドメニュー

**1) ▲▼ボタンで「アドバンスドメニュー」を選択する**

**2)〈決定〉ボタンを押す**
- 「アドバンスドメニュー」画面が表示されます。

**3) ▲▼ボタンで「コントラスト R」〜「ブライト B」を選択する**

**4) ◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す**

**5) ◀▶ボタンでレベルを調整する**
- 調整範囲は＋ 32（最大値）〜 － 32（最小値）です。

| 調整項目 | 操作 | 変化内容 |
|---|---|---|
| コントラスト R | ▶ボタンを押す | 明るい部分の赤色が強くなります |
| | ◀ボタンを押す | 明るい部分の赤色が弱くなります |
| コントラスト G | ▶ボタンを押す | 明るい部分の緑色が強くなります |
| | ◀ボタンを押す | 明るい部分の緑色が弱くなります |
| コントラスト B | ▶ボタンを押す | 明るい部分の青色が強くなります |
| | ◀ボタンを押す | 明るい部分の青色が弱くなります |
| ブライト R | ▶ボタンを押す | 暗い部分の赤色が強くなります |
| | ◀ボタンを押す | 暗い部分の赤色が弱くなります |
| ブライト G | ▶ボタンを押す | 暗い部分の緑色が強くなります |
| | ◀ボタンを押す | 暗い部分の緑色が弱くなります |
| ブライト B | ▶ボタンを押す | 暗い部分の青色が強くなります |
| | ◀ボタンを押す | 暗い部分の青色が弱くなります |

## デイライトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。

**1) ▲▼ボタンで「デイライトビュー」を選択する**

**2) ◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す**
- 「デイライトビュー」画面が表示されます。

**3) ◀▶ボタンで「デイライトビュー」を切り換える**
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オート ↔ オン ↔ オフ

| | |
|---|---|
| オート | 周囲の明るさにより自動的に調整します |
| オン | デイライトビューを有効にします |
| オフ | デイライトビューを無効にします |

**お知らせ**
- 「プロジェクター設定」の「投写方式」で、「リア / 床置き」または「リア / 天つり」を選択した場合、「オート」の設定はできません。
- プロジェクターの上面にものなどを置くと、「オート」モードが正常に動作しない場合があります。

## デジタルシネマリアリティ

2-2、2-3 プルダウン時に適用する機能で垂直解像度を向上させることができます。
一部の信号入力時のみ有効となります。
(525i(480i)、625i(576i)、1125(1080)/60i、1125(1080)/50i)

**1) ▲▼ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を選択する**

**2) ◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す**
- 「デジタルシネマリアリティ」画面が表示されます。

**3) ◀▶ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を切り換える**
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ↔ オン

| | |
|---|---|
| オフ | デジタルシネマリアリティを無効にします |
| オン | デジタルシネマリアリティを有効にします |

## ノイズリダクション

**[S ビデオ / ビデオ信号入力時のみ]**
入力された映像が劣化して、映像信号ノイズが発生している場合に切り換えます。

### 1）▲▼ボタンで「ノイズリダクション」を選択する

### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す
- 「ノイズリダクション」画面が表示されます。

### 3）◀▶ボタンで「ノイズリダクション」を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オン ⟷ オフ

| | |
|---|---|
| オン | ノイズリダクションを有効にします |
| オフ | ノイズリダクションを無効にします |

**お 願 い**
- ノイズが少ない入力信号に対して設定すると、映像本来のイメージと違って見える場合があります。その際は「オフ」に設定してください。

## TV システム

**[S ビデオ / ビデオ信号入力時のみ]**
入力信号に合ったカラー方式を設定します。

### 1）▲▼ボタンで「TV システム」を選択する

### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す
- 「TV システム」画面が表示されます。

### 3）◀▶ボタンでシステム方式を選択する
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オート ⟷ NTSC ⟷ NTSC4.43 ⟷ PAL ⟷ PAL-M ⟷ PAL-N ⟷ SECAM ⟷ オート

**お 願 い**
- 通常は「オート」に設定してください。
- それぞれのテレビの信号方式に設定を切り換えてください。日本国内では NTSC の信号方式が使われています。

**お知らせ**
- 「オート」は、NTSC、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM、PAL60 の中から自動的に判別します。

## RGB/YP$_B$P$_R$

**[RGB/YP$_B$P$_R$ 信号入力時のみ]**
通常は「オート」に設定してください。「オート」で正常に映らない場合は、入力する信号に合わせて「RGB」または「YP$_B$P$_R$」を設定してください。
一部の信号入力時のみ有効となります。（VGA60、525i(480i)、625i(576i)、525p(480p)、625p(576p)、1125(1080)/60i、1125(1080)/50i、1125(1080)/60p、1125(1080)/50p、1125(1080)/24p、750(720)/60p、750(720)/50p）
コンピュータ入力端子と DVI-I 入力端子、HDMI 端子に入力する信号を選択します。

### 1）▲▼ボタンで「RGB/YP$_B$P$_R$」を選択する

### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す
- 「RGB/YP$_B$P$_R$」画面が表示されます。

### 3）◀▶ボタンで設定を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オート ⟷ RGB ⟷ YP$_B$P$_R$ ⟷ オート

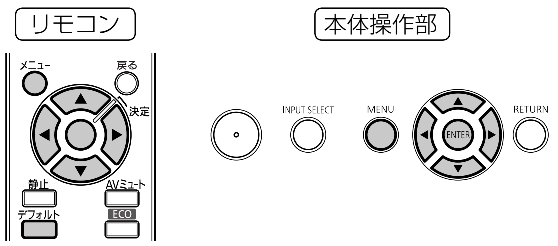
| | |
|---|---|
| オート | 同期信号により、RGB/YP$_B$P$_R$ 信号を自動的に選択します |
| RGB | RGB 信号を入力時に設定してください |
| YP$_B$P$_R$ | YP$_B$P$_R$ 信号を入力時に設定してください |

DVI（デジタル）信号入力時は、「オート」は選択できません。「RGB」、「YP$_B$P$_R$」のみ選択可能です。

# 「位置調整」について

**『メニュー画面の操作方法』（☞33 ページ）の**
**メインメニューから「位置調整」を選び、**
**サブメニューから項目を選んでください。**

- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで調整してください。




## 台形補正

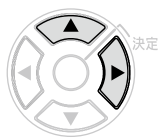
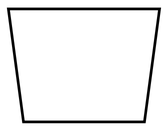
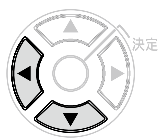
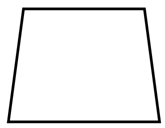
本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いている場合に発生する台形ひずみを補正します。

### 1）▲▼ボタンで「台形補正」を選択する

### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す

- 「**台形補正**」画面が表示されます。

### 3）▲▼◀▶ボタンで傾きを補正する

| 操作 | 画面の状態 |
|---|---|
|   |  |
|   |  |

**お知らせ**

- 台形ひずみは、縦方向の傾きに対して± 30 度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと、画面サイズも変化します。
- レンズシフトの位置によっては、台形ひずみが発生します。
  補正量、レンズズーム量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。

## シフト

本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合に、上下左右に映像位置を移動します。

### 1）▲▼ボタンで「シフト」を選択する

### 2）〈決定〉ボタンを押す

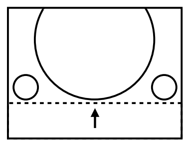
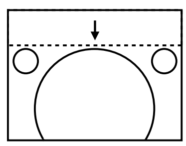
- 「**シフト**」画面が表示されます。

### 3）▲▼◀▶ボタンで位置調整する

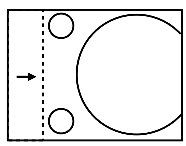
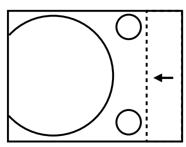
**お知らせ**

- ネットワーク信号入力時は調整できません
- 直接▲▼◀▶ボタンを押して、本機能を調整することもできます。

### ■垂直位置（上下）調整の場合

| 操作 | 変化内容 | |
|---|---|---|
| ▲ボタンを押す | 映像位置が上へ移動します |  |
| ▼ボタンを押す | 映像位置が下へ移動します |  |

### ■水平位置（左右）調整の場合

| 操作 | 変化内容 | |
|---|---|---|
| ▶ボタンを押す | 映像位置が右へ移動します |  |
| ◀ボタンを押す | 映像位置が左へ移動します |  |

## シフト垂直

**[PT-FW430 で、ネットワーク入力時の「アスペクト」が「H フィット」の場合のみ]**

### 1）▲▼ボタンで「シフト垂直」を選択する

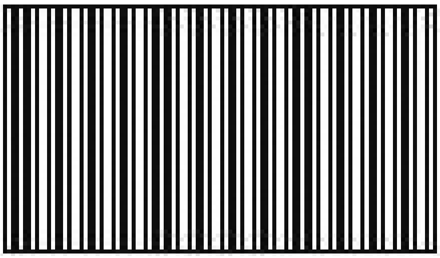
### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す

- 「**シフト垂直**」画面が表示されます。

### 3）◀▶ボタンで映像を上下に調整する

## ドットクロック

**[RGB( 静止画 ) 信号入力時のみ ]**
縦縞模様を投写したときに発生するノイズを軽減する際に調整します。
下記のような縞模様を投写したときに、周期的な縞模様（ノイズ）が発生することがあります。この場合にもっともノイズが少なくなるように調整してください。



### 1）▲▼ボタンで「ドットクロック」を選択する

### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す

- 「**ドットクロック**」画面が表示されます。

### 3）◀▶ボタンで調整する

- 調整値は、－ 32 ～＋ 32 です。

**お 願 い**

- 「クロックフェーズ」より先に調整してください。

## クロックフェーズ

画像のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

### 1）▲▼ボタンで「クロックフェーズ」を選択する

### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す

- 「**クロックフェーズ**」画面が表示されます。

### 3）◀▶ボタンで調整する

- 調整値は、－ 16 ～ ＋ 16 まで変化します。
  ノイズが少なくなるように調整してください。

**お知らせ**

- 信号によって調整できない場合があります。
- 入力しているコンピューターの出力が不安定であると最適値がない場合があります。
- 総ドット数がずれていると最適値がない場合があります。
- 「クロックフェーズ」を調整することができるのは、コンピューター、DVI-I 入力端子にアナログ信号を入力した場合のみです。
- デジタル信号入力時は調整することができません。

## オーバースキャン

**[S ビデオ / ビデオ /$YP_BP_R$/RGB( 動画 )/DVI( 動画 )/HDMI（動画）信号入力時のみ ]**
投写映像の周辺で文字や映像が欠ける場合に調整します。

### 1）▲▼ボタンで「オーバースキャン」を選択する

### 2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す

- 「**オーバースキャン**」画面が表示されます。

### 3）◀▶ボタンで調整する

- 調整値は、0 ～ ＋ 3 です。

**お知らせ**

- ネットワーク信号入力時は調整できません。

## アスペクト

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。

**1）▲▼ボタンで「アスペクト」を選択する**

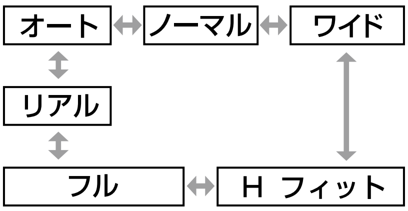
**2）◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す**
- 「アスペクト」画面が表示されます。

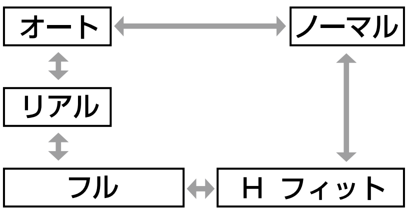
**3）◀▶ボタンで設定を切り換える**

### PT-FW430 の場合

入力する信号とスクリーンフォーマット設定（16：10 または 16：9）によって切り換わります。(☞49 ページ)

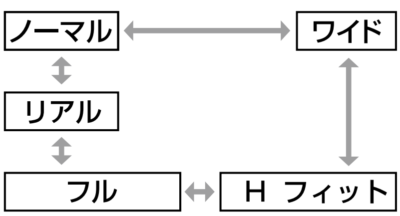
**[S ビデオ / ビデオ /YPBPR 入力時 ]**

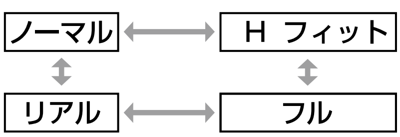
**[16:10 選択時]**



**[16:9 選択時]**



お知らせ
- 「オート」は NTSC 525i（480i）のみ表示されます。
- 「リアル」は一部の信号のみ表示されます。
- 16：9 信号の場合は、
  [16：10 選択時］ノーマル⇔ V フィット⇔フル⇔ S4：3 に切り換わります。
  [16：9 選択時］アスペクト比は、切り換わりません。

**[ コンピューター入力時 ]**

**[16:10 選択時]**



**[16:9 選択時]**



お知らせ
- 「リアル」は一部の信号のみ表示されます。
- WXGA768 の場合は、
  [16：10 選択時］ワイド⇔ V フィット⇔フル⇔ノーマルに切り換わります。
  [16:9 選択時］ノーマル⇔フルに切り換わります。
- WXGA768、WIDE720、1125(1080)/60p、1125（1080）/50p 以外のワイド信号 *2 の場合は、
  [16：10 選択時］ワイド⇔ノーマルに切り換わります。
  [16:9 選択時］ノーマル⇔フルに切り換わります。

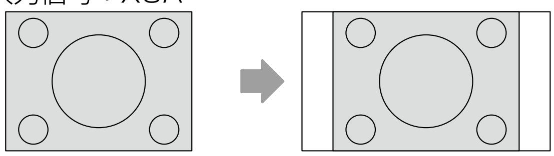
### ■オート

**[NTSC、525i（480i）入力時のみ]**
入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換え、投写します。

### ■ノーマル

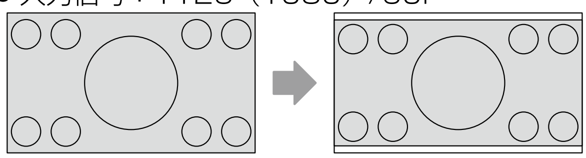
標準信号 *1 16：9 信号入力時は、入力アスペクト比のまま投写します。
15：9 信号、16：10 信号入力時は、4：3 のスクリーンに収まるように入力アスペクト比のまま縮小して投写します。

- 入力信号：XGA



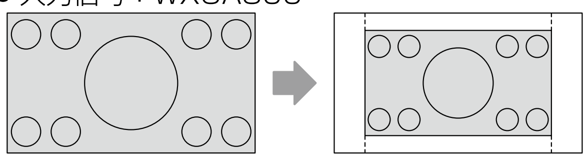
映像：　　パネル：

- 入力信号：1125（1080）/60i



映像：　　パネル：

- 入力信号：WXGA800



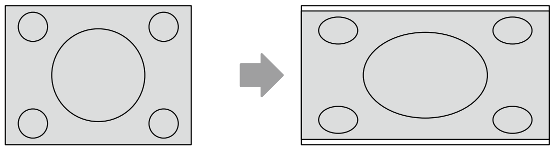
映像：　　パネル：　　スクリーン：

*1 標準信号とは、アスペクト比が 4：3、5：4 の信号入力時です。
*2 ワイド信号とは、アスペクト比が 16：10、16：9、15：9 の信号入力時です。

## ■ワイド

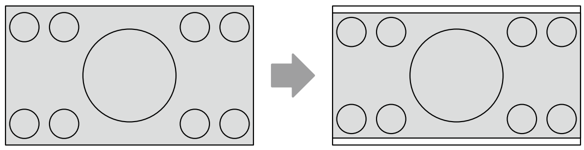
標準信号 *1 入力時は、アスペクト比を 16：9 にして投写します。
15：9 信号、16：9 信号、16:10 信号入力時は、入力アスペクト比のまま投写します。

- 入力信号：XGA



映像：　パネル：

- 入力信号：WXGA768

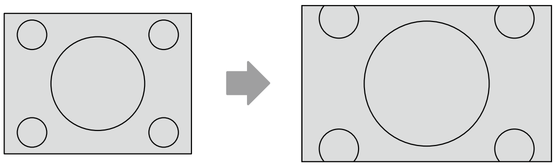


映像：　パネル：

## ■H フィット

標準信号 *1 入力時は、アスペクト比を固定したまま、水平方向のパネル画素を全て使って、画像の上下が切れて投写されます。

- 入力信号：XGA

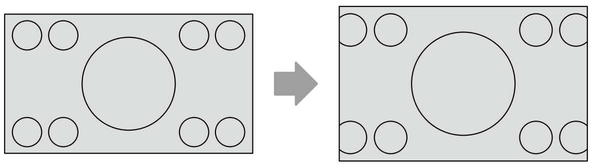


映像：

## ■V フィット

16：9 の映像入力時に、アスペクト比を固定したまま、垂直方向のパネル画素を全て使って、画像の左右が切れて投写されます。

- 入力信号：1125（1080）/60i

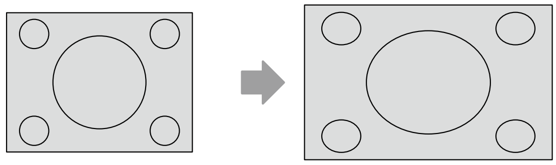


映像：

## ■フル

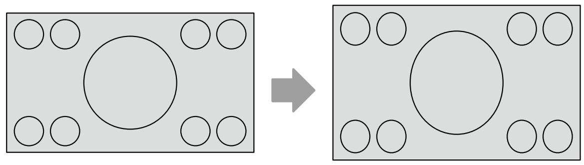
パネル画素（スクリーン）全体に映像を投写します。入力信号をパネル（スクリーン）のアスペクト比に変換して投写します。

- 入力信号：XGA



映像：

- 入力信号：1125（1080）/60i

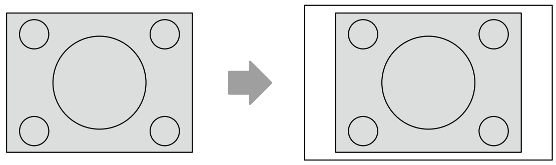


映像：

## ■リアル

リサイズを行わず、入力信号の解像度のまま投写します。

- 入力信号：XGA



映像：　パネル：

**お願い**

- アスペクト比４：３の映像を 16：9 で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形したりして見えます。制作者の意図を尊重した映像は、アスペクト比４：３でご覧ください。

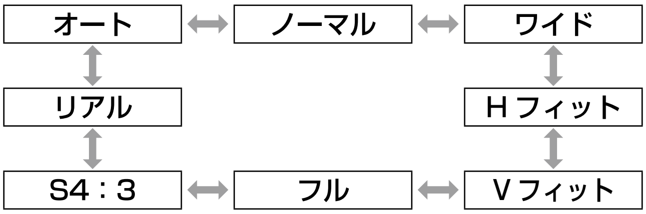
**お知らせ**

- 入力している映像と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差が出ます。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比の切り換えを利用し、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- S ビデオ、ビデオ、$YP_BP_R$ の信号の場合、入力信号によっては「オート」が表示されない場合があります。



*1 標準信号とは、アスペクト比が４：3、5：４の信号入力時です。

## PT-FX400 の場合




お知らせ

- 「オート」はNTSC、480i入力時のみ表示されます。
- 「リアル」は一部の信号のみ表示されます。
- ワイド信号 *2 の場合は、ノーマル⇔ V フィット⇔フルに切り換わります。

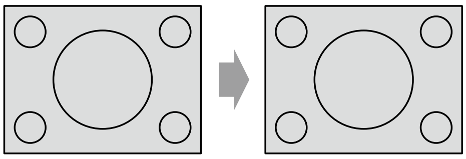
### ■オート

［NTSC、525i（480i）入力時のみ］
入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換え、投写します。

### ■ノーマル

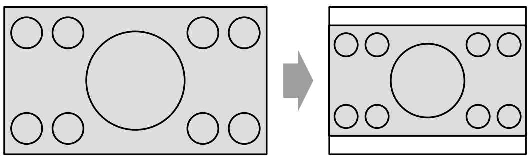
標準信号 *1 ワイド信号 *2 入力時は、入力アスペクト比のまま投写します。

- 入力信号：XGA



映像：

- 入力信号：1125（1080）/60i

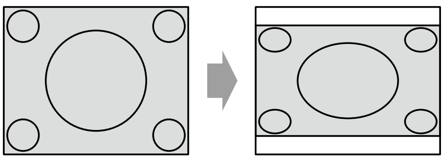


映像：

### ■ワイド

標準信号 *1 入力時は、アスペクト比を 16：9 にして投写します。

- 入力信号：XGA

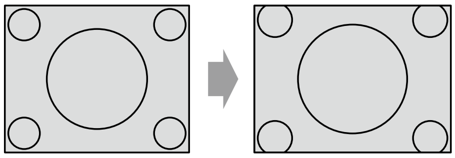


映像：

### ■H フィット

標準信号 *1 入力時に、アスペクト比を固定したまま、水平方向のパネル画素をすべて使って、画像の上下が切れて投写されます。

- 入力信号：SXGA

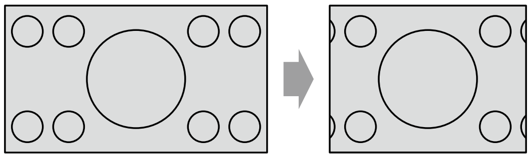


映像：

### ■V フィット

ワイド信号 *2 入力時に、アスペクト比を固定したまま、垂直方向のパネル画素をすべて使って、画像の左右が切れて投写されます。

- 入力信号：1125（1080）/60i

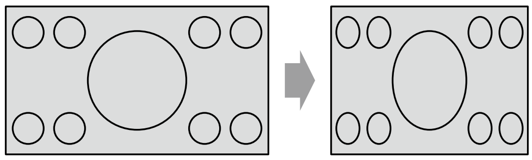


映像：

### ■フル

パネル画素（スクリーン）全体に映像を投写します。入力信号をパネル（スクリーン）のアスペクト比に変換して投写します。

- 入力信号：1125（1080）/60i

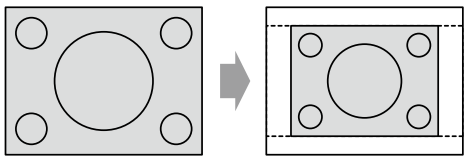


映像：

### ■S4：3

標準信号 *1 入力時、信号のサイズを 75 %に圧縮して投写します。（16：9 スクリーンに 4：3 映像を投写する場合に有効です。）

- 入力信号：XGA



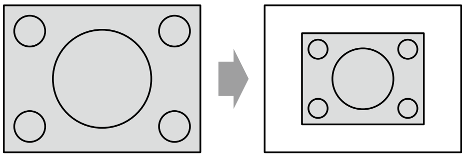
映像：　パネル：　スクリーン：

*1 標準信号とは、アスペクト比が 4：3、5：4 の信号入力時です。
*2 ワイド信号とは、アスペクト比が 16：10、16：9、15：9 の信号入力時です。

## ■リアル

リサイズを行わず、入力信号の解像度のまま投写します。
本機の液晶パネルの画素数（1024 × 768）より小さい信号を入力した場合、設定可能になります。

- 入力信号：NTSC



映像：　パネル：

**お願い**

- アスペクト比 4：3 の映像を 16：9 で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形したりして見えます。制作者の意図を尊重した映像は、アスペクト比 4：3 でご覧ください。

**お知らせ**

- 入力している映像と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差がでます。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比の切り換えを利用し、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

## フレームロック

[RGB/DVI（アナログ）/HDMI 信号入力時のみ ]
一部のコンピューター信号で設定可能になります。
動画再生時に映像が乱れる場合に設定してください。

**1) ▲▼ボタンで「フレームロック」を選択する**

**2) ◀▶ボタンまたは〈決定〉ボタンを押す**

- 「フレームロック」画面が表示されます。

**3) ◀▶ボタンで「フレームロック」を切り換える**

オン ⟷ オフ

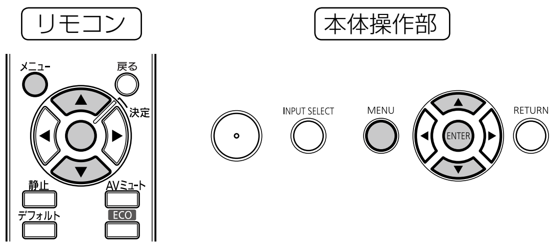
| | |
|---|---|
| オン | フレームロックを有効にします |
| オフ | フレームロックを無効にします |

調整と設定

# 「表示言語」について

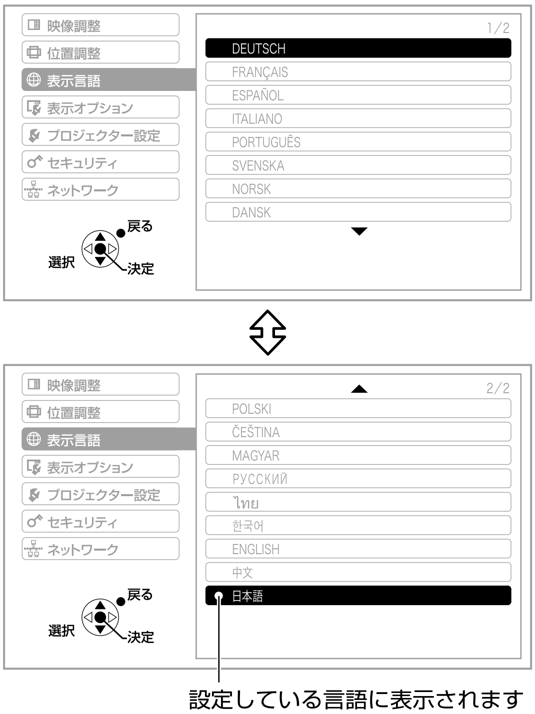
**『メニュー画面の操作方法』(☞33 ページ)のメインメニューから「表示言語」を選び、サブメニューを表示させます。**

- ▲▼ボタンで言語を選び、〈決定〉ボタンで言語の設定をしてください。




## 表示言語を切り換える

オンスクリーンの表示言語を切り換えます。



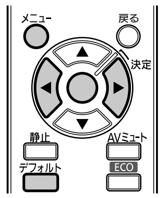

- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、ポーランド語、チェコ語、ハンガリー語、ロシア語、タイ語、韓国語、英語、中国語、日本語、の切り換えができます。

# 「表示オプション」について

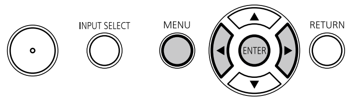
**『メニュー画面の操作方法』（☞33 ページ）のメインメニューから「表示オプション」を選び、サブメニューから項目を選んでください。**

- 項目を選んだら◀ ▶ボタンで設定してください。

リモコン




本体操作部




## オンスクリーン表示

オンスクリーン表示の設定ができます。

**1) ▲▼ボタンで「オンスクリーン表示」を選択する**

**2)〈決定〉ボタンを押す**

- 「**オンスクリーン表示**」画面が表示されます。

**3) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀ ▶ボタンで設定を切り換える**

### ■入力ガイド

画面右上に、現在選択している入力端子名の表示方法を設定します。

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

**詳細表示** ↔ **オフ** ↔ **簡易表示**（簡易表示 → 詳細表示に戻る）

| | |
|---|---|
| **詳細表示** | 入力端子をグラフィック表示します |
| **オフ** | 入力ガイドを無効にします |
| **簡易表示** | 入力端子名のみ表示します |

お知らせ

- 「詳細表示」に設定中、コンピューター /DVI-I/ HDMI 入力端子に信号が入力されていないと、コンピューター接続時にヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面を表示させたくない場合は、「簡易表示」または「オフ」に設定してください。
- 「詳細表示」に設定されている場合、「NETWORK」の欄には現在の無線 LAN のネットワーク番号 *1、プロジェクター名、ID が表示されます。

*1 別売品のワイヤレスモジュール装着時のみ

**コンピューター接続時のヘルプ画面について**

コンピューター側の映像出力切り換えコマンドについては、下記の表をご覧ください。

| メーカー | 映像出力切り換えコマンド |
|---|---|
| Panasonic<br>NEC | Fn + F3 |
| SAMSUNG<br>HP | Fn + F4 |
| acer<br>SHARP<br>TOSHIBA | Fn + F5 |
| lenovo<br>LG<br>SONY | Fn + F7 |
| DELL<br>EPSON | Fn + F8 |
| FUJITSU | Fn + F10 |
| Apple | F7 |

お知らせ

- コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューターに付属の説明書をご覧ください。

### ■OSD デザイン

オンスクリーンメニュー（OSD）の背景を設定します。

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

**タイプ 1** ↔ **タイプ 2** ↔ **タイプ 3**（タイプ 3 → タイプ 1 に戻る）

| | |
|---|---|
| **タイプ 1** | 背景を半透明の黒色で表示します |
| **タイプ 2** | 背景を青色で表示します |
| **タイプ 3** | 背景を半透明の紺色で表示します |

### ■警告メッセージ

警告メッセージの表示 / 非表示を設定します。

- ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

**オン** ⟷ **オフ**

| | |
|---|---|
| **オン** | 警告メッセージを表示します |
| **オフ** | 警告メッセージを表示しません |

## DVI-I IN

外部機器からの出力を本機の DVI-I 入力端子に接続しているときに、正常な映像が映らない場合に設定を切り換えます。

**1）▲▼ボタンで「DVI-I IN」を選択する**

**2）〈決定〉ボタンを押す**

- 「DVI-I IN」画面が表示されます。

**3）▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換える**

### ■デジタル / アナログ

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

デジタル ⟷ アナログ

| | |
|---|---|
| デジタル | デジタル信号を入力する場合に選択します |
| アナログ | アナログ信号を入力する場合に選択します |

### ■DVI EDID

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

EDID1 ⟷ EDID2（PC）

| | |
|---|---|
| EDID1 | 動画系の映像信号を出力する外部機器（DVD プレーヤーなど）のデジタル出力が DVI-I 入力端子に接続されている場合などに選択します |
| EDID2（PC） | 静止画系の映像信号を出力する外部機器（コンピューターなど）のデジタル出力が DVI-I 入力端子に接続されている場合などに選択します |

### ■DVI 信号レベル

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

0-255：PC ⟷ 16-235

| | |
|---|---|
| 0-255：PC | 外部機器（コンピューターなど）のデジタル出力が DVI-I 入力端子に接続されている場合などに選択します |
| 16-235 | 外部機器（DVD プレーヤーなど）の HDMI 端子出力が変換ケーブルなどを使用して DVI-I 入力端子に接続されている場合などに選択します |

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を変更するとプラグアンドプレイ対応可能な解像度の情報が変更されます。プラグアンドプレイ対応可能な解像度は『対応信号リスト』（☞81 ページ）をご確認ください。

## HDMI IN

本機と外部機器とを HDMI で接続しているときに正常な映像が映らない場合は、設定を切り換えてください。

**1）▲▼ボタンで「HDMI IN」を選択する**

**2）〈決定〉ボタンを押す**

- 「HDMI IN」画面が表示されます。

**3）◀▶ボタンで「HDMI 信号レベル」を切り換える**

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

0-1023 ⟷ 64-940

| | |
|---|---|
| 0-1023 | 外部機器（コンピューターなど）の DVI 端子出力を、変換ケーブルなどを使用して HDMI IN に接続している場合などに選択します |
| 64-940 | 外部機器（DVD プレーヤーなど）の HDMI 端子出力を HDMI IN に接続している場合などに選択します |

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- HDMI 信号レベルの表示は、入力が 30 bit 時の表示としています。

## クローズドキャプション設定

[NTSC、525i（480i）入力時のみ]
クローズドキャプションを設定します。

**1）▲▼ボタンで「クローズドキャプション設定」を選択する**

**2）〈決定〉ボタンを押す**
- 「**クローズドキャプション設定**」画面が表示されます。

**3）▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換える**

### ■クローズドキャプション

クローズドキャプションを表示するかどうかを設定します。
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。
- 「オン」に設定する場合は、「選択されたモードのCC 信号が入力された場合、セキュリティテキスト/ロゴは表示されません。」のメッセージが表示されるので、「はい」または「いいえ」を選択して〈決定〉ボタンを押してください。

オフ ⟷ オン

| | |
|---|---|
| オフ | クローズドキャプションを表示しません |
| オン | クローズドキャプションを表示します |

### ■モード

クローズドキャプションのモードを設定します。
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

CC1 ⟷ CC2
↕ ↕
CC4 ⟷ CC3

| | |
|---|---|
| CC1 | CC1 のデータを表示します |
| CC2 | CC2 のデータを表示します |
| CC3 | CC3 のデータを表示します |
| CC4 | CC4 のデータを表示します |

お知らせ
- クローズドキャプションは、主に北米で使用されている映像信号の文字情報を表示する機能です。接続する機器や再生するソフトによってはキャプションが表示できません。
- NTSC、525i（480i）信号が入力されている場合にのみ「クローズドキャプション」を選択できます。
- 選択したモードのクローズドキャプション信号が入力された場合、セキュリティメッセージ（セキュリティのテキストとユーザーロゴ）は表示されません。（☞63 ページ）
- 「台形補正」の補正量が大きい場合、文字が欠ける場合があります。
- メニュー画面表示中は、クローズドキャプションは表示されません。

## スクリーン設定

[PT-FW430 のみ]
スクリーンサイズを設定します。
投写映像のアスペクト変更の際に、設定したスクリーンに合わせて最適な映像位置に補正します。ご使用のスクリーンに合わせて設定してください。

**1）▲▼ボタンで「スクリーン設定」を選択する**

**2）〈決定〉ボタンを押す**
- 「**スクリーン設定**」画面が表示されます。

**3）▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換える**

### ■スクリーンフォーマット

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

16：9 ⟷ 16：10

| | |
|---|---|
| 16:9 | スクリーンサイズが 16:9 の場合 |
| 16:10 | スクリーンサイズが 16:10 の場合 |

### ■スクリーン位置

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

下 ⟷ 中央 ⟷ 上 (上 ⟷ 下)

| | |
|---|---|
| 下 | 投写画面の下部に表示します |
| 中央 | 投写画面の中央部に表示します |
| 上 | 投写画面の上部に表示します |

お知らせ
- 「スクリーンフォーマット」が「16：10」のとき、「スクリーン位置」は設定できません。

## スタートアップロゴ

電源を入れたときのロゴ表示を設定します。

**1) ▲▼ボタンで「スタートアップロゴ」を選択する**

**2) ◀▶ボタンで「スタートアップロゴ」を切り換える**

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

デフォルトロゴ ⟷ テキスト
↕ ↕
オフ ⟷ ユーザーロゴ

| | |
|---|---|
| **デフォルトロゴ** | Panasonic ロゴを表示します |
| **テキスト** | 入力したテキストを表示します |
| **ユーザーロゴ** | 『ロゴ転送ソフトウェア』*1 で転送されたロゴを表示します |
| **オフ** | スタートアップロゴを表示しません |

*1 『ロゴ転送ソフトウェア』は付属の CD-ROM に収録されています。

**お知らせ**

- 「テキスト」項目を選択すると、入力された文字がスタートアップ時に表示されます。入力できる文字数は 1 行に 40 文字で、2行まで入力設定ができます。
- スタートアップロゴは、約 30 秒で消えます。

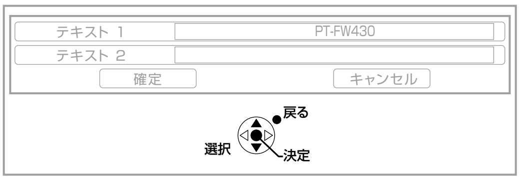
### ■テキスト設定

**1) ◀▶ ボタンで「テキスト」を選択し、〈決定〉ボタンを押す**

- 「**スタートアップロゴ**」画面が表示されます。

**2) ▲▼ボタンで項目を選択する**

- 「テキスト 1」に 1 行目に表示したい文字を、「テキスト 2」に 2 行目に表示したい文字を入力します。

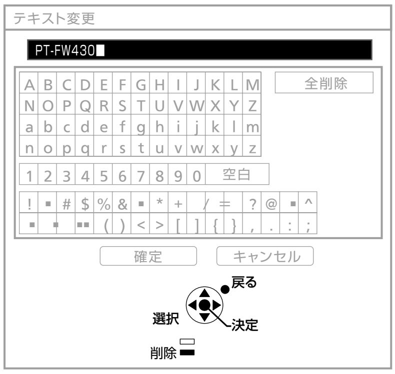



**3) 〈決定〉ボタンを押す**

- 「**テキスト変更**」画面が表示されます。

**4) ▲▼◀▶ボタンで文字を選択し、〈決定〉ボタンを押し、入力していく**

- 「全削除」を選ぶと、入力した文字の全てを削除できます。リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している 1 文字を消去できます。




**5) 「確定」を選択し、〈決定〉ボタンを押す**

**6) 「スタートアップロゴ」画面で「確定」を選択し、〈決定〉ボタンを押す**

- 中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

## 自動位置補正

通常は「オート」に設定してください。

**1) ▲▼ボタンで「自動位置補正」を選択する**

**2) ◀▶ボタンで「自動位置補正」を切り換える**

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オート ⟷ ボタン

| | |
|---|---|
| **オート** | 投写中の映像信号がコンピューター信号に変わると、自動位置補正を行います |
| **ボタン** | 〈自動位置補正〉ボタンを押したときのみ自動位置補正を行います (☞31 ページ) |

## 入力検出

電源を入れたとき、信号が入力されている端子を自動的に検出し、投写する設定をします。

### 1）▲▼ボタンで「入力検出」を選択する

### 2）◀▶ボタンで「入力検出」を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オン ⟷ オフ

| | |
|---|---|
| オン | 自動入力検出を有効にします |
| オフ | 自動入力検出を無効にします |

お知らせ

● リモコンの自動位置補正ボタンを押したときに投写映像が無信号の場合は、自動入力検出が機能します。

## バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

### 1）▲▼ボタンで「バックカラー」を選択する

### 2）◀▶ボタンで「バックカラー」を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

ブルー ⟷ ブラック
↕ ↕
ユーザーロゴ ⟷ デフォルトロゴ

| | |
|---|---|
| ブルー | 投写画面全体に青色を表示します |
| ブラック | 投写画面全体に黒色を表示します |
| デフォルトロゴ | 投写画面に Panasonic ロゴを表示します |
| ユーザーロゴ | 投写画面に『ロゴ転送ソフトウェア』*1 で転送されたロゴを表示します |

*1 『ロゴ転送ソフトウェア』は付属の CD-ROM に収録されています。

## ワイドモード

WXGA、WXGA+、WSXGA+、WUXGA の信号を入力する場合に設定します。

### 1）▲▼ボタンで「ワイドモード」を選択する

### 2）◀▶ボタンで「ワイドモード」を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オート ⟷ オフ ⟷ オン
（オン ⟷ オート）

| | |
|---|---|
| オート | 自動的に切り換える場合 |
| オフ | 4：3 の信号を入力する場合 |
| オン | ワイド信号を入力する場合 |

## SXGA モード

SXGA 入力時に、投写映像がスクリーンからはみ出す場合に設定します。

### 1）▲▼ボタンで「SXGA モード」を選択する

### 2）◀▶ボタンで「SXGA モード」を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

SXGA ⟷ SXGA ＋

| | |
|---|---|
| SXGA | 通常の場合 |
| SXGA+ | 画面が切れている場合 |

## その他の機能

### ■自動位置補正

詳しくは「表示位置を自動補正する」をご覧ください。（☞31 ページ）

### ■静止

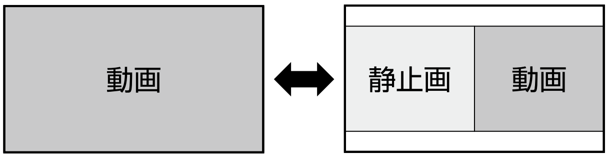
外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止させ、音声を消すことができます。
〈戻る〉ボタンで解除されます。

### ■AV ミュート

一定時間本機を使用しない場合に、映像と音声を消すことができます。
〈戻る〉ボタンで解除されます。

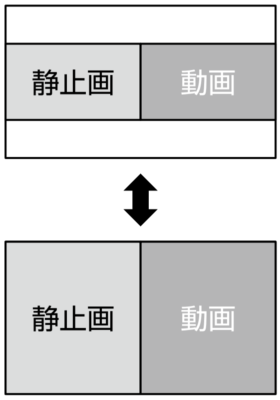
### ■インデックスウィンドウ

投写中の画面をメモリーに記録し、静止画と動画を 2 画面表示できます。
〈戻る〉ボタンを押すと解除されます。
インデックスウインドウを押したときの画面が静止画になります。

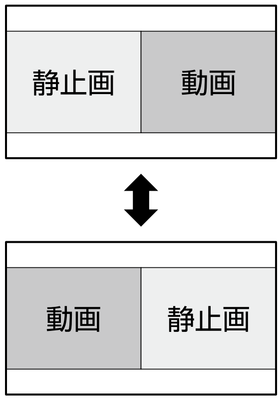



### インデックスウィンドウ表示中のボタン機能

▲▼ボタンで画面サイズを設定する
（PT-FX400 は 3 段階、PT-FW430 は 2 段階に切り換えることができます。）



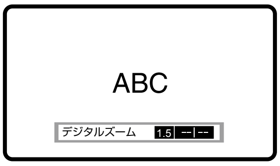

◀ ▶ボタンで左右の静止画と動画を入れ換える



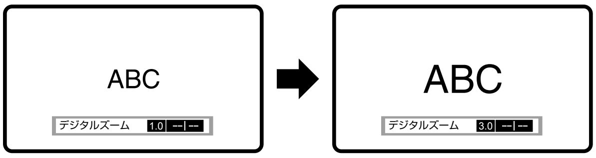

お知らせ

- 画面サイズのアスペクト比が変わり、映像が通常より縦長になります。
- 画面サイズを切り換えると、映像のアスペクト比が変わります。（☞42 ページ）
- 〈決定〉ボタンで静止画が更新されます。
- 動きの早い映像の場合、静止画像が乱れることがあります。
- アスペクトを「リアル」にした場合、信号によって画面イメージのような縦長映像にできない場合があります。

## ■デジタルズーム

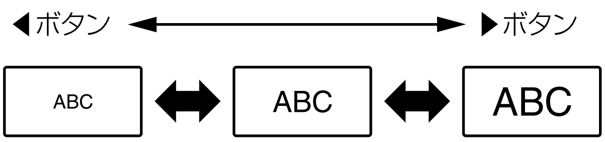



入力画面の中心を拡大表示できます。
また、拡大部分を移動することができます。
〈戻る〉ボタンを押すと解除されます。



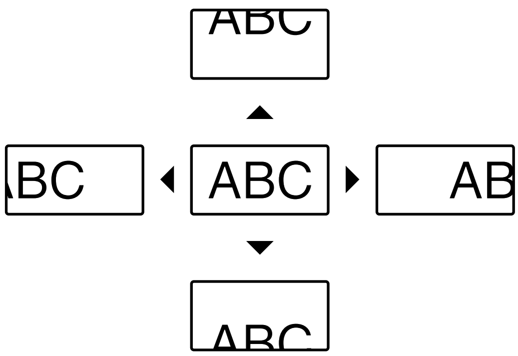

### デジタルズーム中のボタン機能

▶ボタン……倍率を上げる
◀ボタン……倍率を下げる




倍率を設定した後、〈決定〉ボタンを押す

▲▼ボタン…上または下へ表示位置が移動する
◀▶ボタン…左または右へ表示位置が移動する

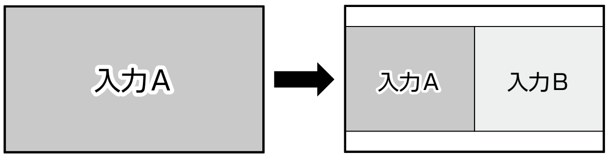



お知らせ

- 倍率は、1.0 倍から 2.0 倍まで 0.1 ごとに調整できます。また、コンピューター信号入力時に「位置調整」メニューの「**フレームロック**」が「オフ」の場合は 1.0 倍から 3.0 倍まで、「オン」の場合は 1.0 倍から 2.0 倍まで調整できます。（☞45 ページ）
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム機能が解除されます。
- デジタルズーム中に「静止」はできません。

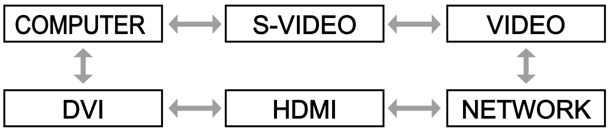
## ■2 画面

[PT-FW430 のみ ]
異なる２つの入力信号を、同時に表示できます。
〈戻る〉ボタンを押すと解除されます。




### ２画面表示中のボタン機能

▲▼ボタンを押すと、切り換え可能な入力一覧が表示されます。
画面左（入力 A）側に対して、画面右（入力 B）側に表示させたい映像を、▲▼ボタンで一覧から選択し、〈決定〉ボタンを押します。




※切り換えできない入力はスキップされます

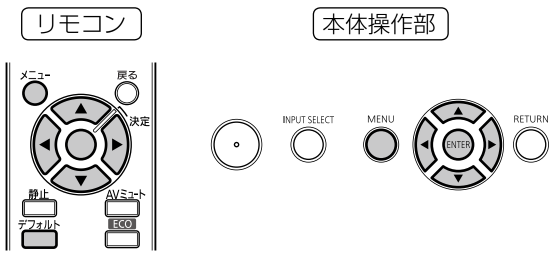
お知らせ

- ２画面表示中に、〈メニュー〉ボタンまたは〈戻る〉ボタンを押すか、〈コンピューター〉、〈DVI-I〉、〈ビデオ /S ビデオ〉、〈ネットワーク〉、〈HDMI〉ボタンのいずれかを押しても解除できます。
- 「静止」、「音量」は入力 A 側に対して設定されます。
- ２画面表示中は「自動位置補正」、「インデックスウィンドウ」、「デジタルズーム」機能は使えません。
- ２画面表示中は、メニュー項目の調整・設定はできません。
- 「映像調整」の設定は、入力 A、入力 B それぞれの値が適用されます。（「デイライトビュー」については入力 A の値が適用されます。）
- コンピューター信号とネットワーク信号以外は、アスペクトメニューで選択したアスペクト比を保持したまま２画面表示します。
- 入力信号の組み合わせによっては、２ 画面表示ができない場合があります。
- 詳しくは『２画面表示組み合わせ一覧』（☞80 ページ）をご覧ください。

# 「プロジェクター設定」について

**『メニュー画面の操作方法』（☞33 ページ）のメインメニューから「プロジェクター設定」を選び、サブメニューから項目を選んでください。**

- 項目を選んだら◀▶▲▼ボタンで設定してください。




## ステータス

本機の状態を表示します。

### 1) ▲▼ボタンで「ステータス」を選択する

### 2)〈決定〉ボタンを押す

- 「**ステータス**」画面が表示されます。

| | |
|---|---|
| **信号名** | 入力信号名を表示します |
| **信号周波数** | 入力信号の周波数を表示します |
| **プロジェクター使用時間** | プロジェクターの稼働時間を表示します |
| **ランプ** | ランプの実使用時間を表示します |
| **シリアル番号** | 本機のシリアル番号を表示します |

## プロジェクター ID

本機には ID ナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

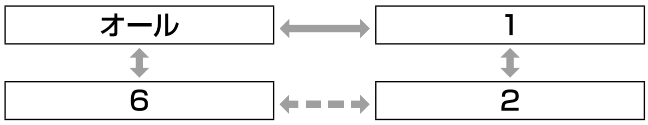
### 1) ▲▼ボタンで「プロジェクター ID」を選択する

### 2)〈決定〉ボタンを押す

- 「**プロジェクター ID**」画面が表示されます。

### 3) ▲▼ボタンで「プロジェクター ID」を選択する

- 「オール」、「1」～「6」の一覧から選択してください。




### 4)〈決定〉ボタンを押して決定する

- 「プロジェクター ID」が切り換わります。

**お知らせ**

- ID ナンバーを指定した場合は、リモコンの ID ナンバーを本機の ID ナンバーに合わせる必要があります。
- ID ナンバー「オール」に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、何番を指定しても動作します。
  本機を複数台並べて設置する場合、ID ナンバーを「オール」に設定していると、他の ID ナンバーを設定した本機と分けて制御することができなくなります。リモコンの ID 設定の方法は『リモコンの ID ナンバーを指定する』(☞18 ページ) を参照してください。

## 起動方法

本機に電源プラグを接続したときの起動方法を設定します。

### 1) ▲▼ボタンで「起動方法」を選択する

### 2) ◀▶ボタンで「起動方法」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。




| | |
|---|---|
| **ラストメモリ** | 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にする前の状態で起動します |
| **スタンバイ** | スタンバイ状態で起動します |
| **オンスタート** | すぐに投写を開始します |

調整と設定

## 投写方式

本機の設置状態に合わせて、投写方式を設定します。画面表示が上下逆になったり、反転して映ったりしている場合は、投写方式を変更してください。

**1）▲▼ボタンで「投写方式」を選択する**

**2）◀▶ボタンで「投写方式」を切り換える**

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

フロント / 床置き ⟷ フロント / 天つり
↕ ↕
リア / 天つり ⟷ リア / 床置き

| | |
|---|---|
| フロント / 床置き | スクリーン前方にある机の上などに設置する場合 |
| フロント / 天つり | スクリーン前方にある天つり金具（別売品）を使用して設置する場合 |
| リア / 床置き | スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合 |
| リア / 天つり | スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に天つり金具（別売品）を使用して設置する場合 |

## 高地モード

海抜 1400 m 以上～ 2700 m 未満の場所で使用する場合は、「オン」に設定します。

**1）▲▼ボタンで「高地モード」を選択する**

**2）◀▶ボタンで「高地モード」を切り換える**

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

| | |
|---|---|
| オフ | 通常の環境（海抜 1400 m 未満）で使用する場合 |
| オン | 高地（海抜 1400 m 以上～ 2700 m 未満）で使用する場合 |

お知らせ

- 海抜 1400 m 未満で使用する場合は必ず「オフ」に、海抜 1400 m 以上～ 2700 m 未満で使用する場合は必ず「オン」に設定してください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- 海抜 2700 m 以上の場所には設置しないでください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- 「オン」に設定した場合、ファンの回転数が上がり、動作音が大きくなります。

## ランプパワー

本機のランプ電力を切り換えます。使用環境や目的に合わせて設定してください。

**1）▲▼ボタンで「ランプパワー」を選択する**

**2）◀▶ボタンで「ランプパワー」を切り換える**

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

ノーマル ⟷ ECO

| | |
|---|---|
| ノーマル | 高い輝度が必要な場合 |
| ECO | 高い輝度を必要としない場合 |

お知らせ

- 「ECO」の場合は、消費電力の節約、動作音の低減を図ることができます。
- 本項目は、付属の CD-ROM に収録されている『複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア』の ECO 設定レベルの表示に反映されます。

## スケジュール

コマンドの実行スケジュールを曜日ごとに設定します。

### ■スケジュール機能の有効化方法

**1)▲▼ボタンで「スケジュール」を選択する**

**2)◀▶ボタンで「スケジュール」を切り換える**

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オン ⟷ オフ

| | |
|---|---|
| オン | 設定したスケジュールを有効にします |
| オフ | 設定したスケジュールを無効にします |

お知らせ

●「スケジュール」を「オン」に設定すると、「スタンバイモード」の設定は強制的に「ノーマル」となり設定の変更はできなくなります。この状態で「スケジュール」を「オフ」にしても、「スタンバイモード」の設定は「ノーマル」のままです。

### ■プログラムの割り当て方法

**1)「スケジュール」が「オン」の状態で〈決定〉ボタンを押す**

●「スケジュール」画面が表示されます。

**2)曜日ごとにプログラムを選択し割り当てる**

● ▲▼ボタンで曜日を選び、◀▶ボタンでプログラム番号を選択します。
● プログラムは、プログラム番号 1 ～ 7 まで設定できます。"- - -" は未設定を表します。

### ■各プログラムの設定方法

1 プログラムにつき 16 コマンドまでの設定ができます。

**1)「スケジュール」画面で、▲▼ボタンで「プログラム編集」を選択する**

**2)◀▶ボタンで設定したいプログラム番号（プログラム 1 ～プログラム 7）を選択し、〈決定〉ボタンを押す**

**3)▲▼ボタンでコマンド番号（01 ～ 16）を選択し、〈決定〉ボタンを押す**

● ▲▼ボタンでページの切り換えができます。

**4)▲▼ボタンで「時刻」「コマンド」のいずれかを選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する**

●「コマンド」を選択後〈決定〉ボタン押すと、詳細設定ができます。

| | |
|---|---|
| 時刻 | コマンドを実行する時刻を、▲▼ボタンで設定します |
| コマンド | 設定した時刻に実行するコマンドを、以下のいずれかから選択します<br>・電源オン<br>・スタンバイ<br>・AV ミュート オン<br>・AV ミュート オフ<br>・COMPUTER 入力<br>・VIDEO 入力<br>・S-VIDEO 入力<br>・DVI-I 入力<br>・HDMI 入力<br>・NETWORK 入力<br>・ランプパワー ノーマル<br>・ランプパワー ECO<br>・2 画面 オン *1<br>・2 画面 オフ *1<br>・スタンバイ時動作（音声）オン<br>・スタンバイ時動作（音声）オフ<br>・音量 |

*1 PT-FW430 のみ

**5)▲▼ボタンで「登録」を選択し、〈決定〉ボタンを押す**

お知らせ

● ランプの短期間点滅を行うような設定を登録しようとすると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度時刻とコマンドの設定を行ってください。
● 同じ時刻に設定されたコマンドは、コマンド番号の若い順に実行されます。
● 時刻はローカル時刻で動作します。（☞60 ページ）
●「スケジュール」で設定されたコマンドの実行前に、リモコンや本体操作部での操作、制御コマンドによる操作を実行した場合、本機能で設定したコマンドが実行されないことがあります。

## ECO マネージメント

使用状態に応じてランプ電力を最適化し、消費電力を低減する機能です。

**1) ▲▼ボタンで「ECO マネージメント」を選択する**

**2) 〈決定〉ボタンを押す**
- 「ECO マネージメント」画面が表示されます。

**3) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換える**

### ■省エネ設定

「環境照度連動」、「無信号連動」、「AV ミュート連動」の 3 つの機能を有効にするかどうかを設定します。

お知らせ
- 「ランプパワー」の設定が「ECO」の場合は、設定できません。

**1. 手順 3）で「省エネ設定」を選択する**

**2. ◀▶ボタンで「省エネ設定」のオン（有効）/ オフ（無効）を切り換える**
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オン ←→ オフ

| | |
|---|---|
| オン | 省エネ設定を有効にします |
| オフ | 省エネ設定を無効にします |

**3. ▲▼ボタンで省エネ設定の条件を選択する**

| | |
|---|---|
| 環境照度連動 | 設置場所の明るさにより、ランプ電力を調整します |
| 無信号連動 | 無信号時、ランプ電力を下げます |
| AV ミュート連動 | AV ミュート時、ランプ電力を下げます |

**4. ◀▶ボタンで、選択した条件のオン（有効）/ オフ（無効）を切り換える**
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オン ←→ オフ

| | |
|---|---|
| オン | 設定を有効にします |
| オフ | 設定を無効にします |

お知らせ
- 以下の場合は「ランプパワー」が自動で低下しないことがあります。
  - ・「ランプパワー」を「ECO」に設定している場合
  - ・ランプ点灯直後や「ランプパワー」設定直後などの場合
- 「省エネ設定」が「オフ」の場合、「環境照度連動」、「無信号連動」、「AV ミュート連動」の設定はできません。
- 本項目は、付属の CD-ROM に収録されている『複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア』の ECO 設定レベルの表示に反映されます。

### ■無信号自動オフ

設定時間までに入力信号がないと、自動的に本機の電源をスタンバイ状態にします。

無効 ←→ 15 分 ←‐‐→ 60 分

| | |
|---|---|
| 無効 | 無信号自動オフを無効にします |
| 15 分～ 60 分 | 5 分間隔で設定が可能です |

お知らせ
- 本項目は、付属の CD-ROM に収録されている『複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア』の ECO 設定レベルの表示に反映されます。
- お買い上げ時、または全設定初期化後は、30 分に設定されています。

### ■スタンバイモード

スタンバイ状態での電力を設定します。

ノーマル ←→ ECO

| | |
|---|---|
| ノーマル | スタンバイ状態時の機能を制限しません |
| ECO | スタンバイ状態時に一部の機能を制限し、電力を下げます |

お知らせ
- 「ECO」に設定した場合、スタンバイ状態でネットワーク機能の使用はできません。また、RS-232C コマンドの一部が使用できません。電源「入」後の出画が「ノーマル」設定時と比べて約 10 秒遅くなることがあります。
- 「ノーマル」に設定した場合、スタンバイ状態でネットワーク機能が使用できます。

## エミュレート

本機のシリアル入力端子を使用してコンピューターで制御する際に、以前に購入した弊社プロジェクターの制御コマンドを使用する場合に設定します。既存の弊社プロジェクター用制御ソフトウェア等を引き続き使用することができます。

1) ▲▼ボタンで「エミュレート」を選択する

2) 〈決定〉ボタンを押す
   - 「エミュレート」画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで設定したい項目を選択する

4) 〈決定〉ボタンを押す

お知らせ

- 『シリアル端子について』（☞75 ページ）をご覧ください。

| | |
|---|---|
| デフォルト | FW430 系、FX400 系、FW300 系、F300 系、F200 系、FW100 系、F100 系 |
| D3500 | D3500 系 |
| D4000 | D4000 系 |
| D/W5k シリーズ | D5700 系、DW5100 系、D5600 系、DW5000 系、D5500 系 |
| D/W/Z6k シリーズ | DZ6710 系、DZ6700 系、DW6300 系、D6000 系、D5000 系、DZ570 系、DW530 系、DX500 系 |
| L730 | L730 系、L720 系、L520 系 |
| L780 | L780 系、L750 系 |
| L735 | L735 系 |
| L785 | L785 系 |
| LB/W シリーズ | LB3 系、LB2 系、LB1 系、ST10 系、LB90 系、LW80NT 系、LB80 系、LB75 系 |

## ファンクションボタン

リモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンによく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用することができます。

### ■〈FUNK1〉～〈FUNK3〉ボタンへ割り当てを設定する場合

1) 本体操作部またはリモコンの〈メニュー〉ボタンを押して、割り当てたいメニュー項目（メインメニュー、サブメニュー、または詳細メニュー）を表示させる
   - オンスクリーンメニューの操作については、『メニュー画面の操作方法』をご覧ください。（☞33 ページ）

2) リモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンのいずれかを 3 秒以上押し続ける

### ■〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンへの割り当てを解除する場合

1) ▲▼ボタンで「ファンクション」を選択する

2) 〈決定〉ボタンを押す

3) ▲▼ボタンを押して、割り当てを解除したいファンクションボタン（F1 ～ F3）の「無効」を選択する

4) 〈決定〉ボタンを押す

5) 確認画面が表示されるので、◀▶ボタンで「はい」を選択し、〈決定〉ボタンを押す

お知らせ

- 設定が完了すると割り当てたメニュー項目（メインメニュー、サブメニュー、または詳細メニュー）の左に〈FUNC1〉設定時は F1、〈FUNC2〉設定時は F2、〈FUNC3〉設定時は F3 と表示されます。

## 音声設定

音声機能の詳細を設定します。

**1）▲▼ボタンで「音声設定」を選択する**

**2）〈決定〉ボタンを押す**

- 「**音声設定**」画面が表示されます。

**3）▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンでレベルの調整、または設定の切り換えを行う**

### ■音量

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整します。

| 操作 | 変化内容 | 調整範囲 |
|---|---|---|
| ▶ボタンを押す | 音量が大きくなります | 最大値 63 |
| ◀ボタンを押す | 音量が小さくなります | 最小値 0 |

### ■バランス

音声出力の左右の音声バランスを調整します。

| 操作 | 変化内容 | 調整範囲 |
|---|---|---|
| ▶ボタンを押す | 右の音量が大きくなります | L16 ～ R16 |
| ◀ボタンを押す | 左の音量が大きくなります | |

### ■スタンバイ時動作

スタンバイ状態での音声出力を設定します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

| | |
|---|---|
| オフ | スタンバイ時は音声を出力しません |
| オン | スタンバイ時に音声を出力します |

お知らせ

- 「ECO マネージメント」の「スタンバイモード」を「ECO」に設定しているときは、スタンバイ状態での音声出力はできません。

### ■電源ボタン操作音

電源ボタン操作音を設定します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

| | |
|---|---|
| オフ | 電源ボタン操作時に音を鳴らしません |
| オン | 電源ボタン操作時に音を鳴らします |

### ■音声入力選択

接続機器からの音声入力を「AUDIO IN 1」、「AUDIO IN 2」、「AUDIO IN 3」、「HDMI AUDIO IN」、「NETWORK AUDIO IN」から選択します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

AUDIO IN 1 ⟷ AUDIO IN 2 ⟷ AUDIO IN 3
AUDIO IN 1 ⟷ NETWORK AUDIO IN *1
AUDIO IN 3 ⟷ HDMI AUDIO IN *2
NETWORK AUDIO IN *1 ⟷ HDMI AUDIO IN *2

*1 入力端子が NETWORK のみ
*2 入力端子が HDMI のみ

| | |
|---|---|
| AUDIO IN 1 | 設定した入力端子からの映像投写時に AUDIO IN 1 に接続した音声を出力します |
| AUDIO IN 2 | 設定した入力端子からの映像投写時に AUDIO IN 2 に接続した音声を出力します |
| AUDIO IN 3 | 設定した入力端子からの映像投写時に AUDIO IN 3 に接続した音声を出力します |
| HDMI AUDIO IN | HDMI の音声を出力します |
| NETWORK AUDIO IN | ネットワークの音声を出力します |

## 日付と時刻

本機内蔵時計のタイムゾーンと日時を設定します。

### ■タイムゾーンの設定

1) ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する

2) 〈決定〉ボタンを押す
- 「日付と時刻」画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで「タイムゾーン」を選択する

4) ◀▶ボタンで「タイムゾーン」を切り換える

### ■手動で日時を設定する場合

1) ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する

2) 〈決定〉ボタンを押す
- 「日付と時刻」画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで「時刻設定」を選択する

4) 〈決定〉ボタンを押す
- 「時刻設定」画面が表示されます。

5) ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ボタンでローカル日時を設定する

| | |
|---|---|
| NTP 同期 | 「自動で日時を設定する場合」をご参照ください。（☞このページ右） |
| 年 | 2011 ～ 2035 |
| 月 | 1 ～ 12 |
| 日 | 1 ～ 31 |
| 時 | 0 ～ 23 |
| 分 | 0 ～ 59 |
| 秒 | 0 ～ 59 |

6) ▲▼ボタンで「確定」を選択し、〈決定〉ボタンを押す
- 時刻設定が完了します。

### ■自動で日時を設定する場合

1) ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する

2) 〈決定〉ボタンを押す
- 「日付と時刻」画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで「時刻設定」を選択する

4) 〈決定〉ボタンを押す
- 「時刻設定」画面が表示されます。

5) ▲▼ボタンで「NTP 同期」を選択し、◀▶ボタンで「オン」に切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

| | |
|---|---|
| オフ | NTP サーバーに同期しません |
| オン | NTP サーバーに同期します |

6) ▲▼ボタンで「確定」を選択し、〈決定〉ボタンを押す
- 時刻設定が完了します。

お知らせ

- 自動で日時を設定するには、ネットワークへの接続が必要です。
- 「NTP 同期」を「オン」にした直後の NTP サーバーとの同期に失敗したときや、NTP サーバーの設定がされていない状態で「NTP 同期」を「オン」にした場合、「NTP 同期」は「オフ」に戻ります。
- NTP サーバーの設定は Web ブラウザから本機にアクセスして実行してください。（詳しくは、『取扱説明書　ネットワーク操作編』をご覧ください）

調整と設定

## テストパターン

位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

**1）▲▼ボタンで「テストパターン」を選択する**

**2）〈決定〉ボタンを押す**

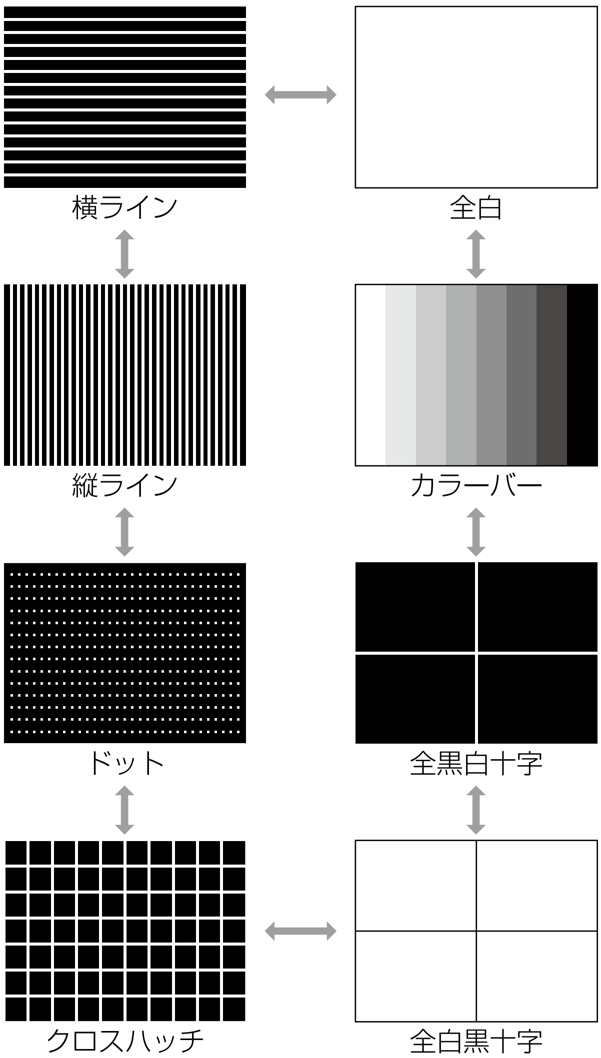
- 「テストパターン」が表示されます。

**3）◀▶ボタンで各種テストパターンを切り換える**

- 〈メニュー〉ボタンまたは〈戻る〉ボタンを押すと、「プロジェクター設定」メニューに戻ります。

### ■内蔵テストパターンの表示チャート

◀▶ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。




**お知らせ**

- 初期画面は全白のパターンです。〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンに割り当てた場合は、クロスハッチが初期画面となります。

## 全設定初期化

「メニュー」項目で調整した値を工場出荷時の状態に戻します。
この操作を実行すると、本機は初期化のためにスタンバイ状態になります。

**1）▲▼ボタンで「全設定初期化」を選択する**

**2）〈決定〉ボタンを押す**

- 「全ての設定を初期化します。よろしいですか？」と表示されます。
- 「セキュリティ」メニューで「パスワード設定」を「オン」にしている場合は、パスワード入力が必要です。（☞62 ページ）

**3）◀▶ボタンで「はい」を選択する**

**4）〈決定〉ボタンを押す**

- 「初期化中…」の画面が表示され、その後「電源をオフします。よろしいですか？」と表示されます。

**5）表示に従って電源を切る（☞28 ページ）**

- このとき、他のキー操作はすべて無効となっています。
- 次に電源を入れると「言語設定」、「初期設定」の画面が表示されます。（☞14 ページ）

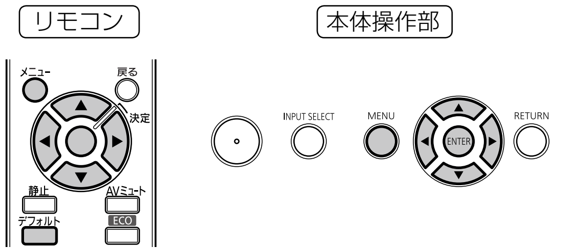
**お知らせ**

- プロジェクターの使用時間、ランプの使用時間、「ネットワーク」の設定は初期化されません。
- 全設定初期化後、パスワードは工場出荷時の状態に戻り、「パスワード設定」は「オフ」になります。

# 「セキュリティ」について

**『メニュー画面の操作方法』（☞33 ページ）のメインメニューから「セキュリティ」を選び、サブメニューから項目を選んでください。**

- はじめてご使用になる場合
  **初期パスワード**：▲▶▼◀▲▶▼◀ボタンを順に押し、〈決定〉ボタンを押してください。
- 項目を選んだら◀▶▲▼ボタンで設定してください。




**お 願 い**

- 「**セキュリティ**」画面を表示してから行ってください。
- 「**セキュリティ**」画面を表示するとパスワードの入力が求められます。設定したセキュリティパスワードを入力してから操作を続けてください。
- 以前にパスワードを変更した場合、変更後のパスワードを入力し、〈決定〉ボタンを押してください。

**お知らせ**

- 入力したパスワードは画面上では、＊印で表示されます。

## パスワード設定

電源を入れたときに「**セキュリティパスワード**」画面を表示させます。このとき正しくパスワードを入力しないと、〈電源（⏻/|）〉ボタン以外の操作ができなくなります。

### 1）▲▼ボタンで「パスワード設定」を選択する

### 2）◀▶ボタンで「パスワード設定」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

**オフ** ←→ **オン**

| | |
|---|---|
| **オフ** | セキュリティパスワード入力を無効にします |
| **オン** | セキュリティパスワード入力を有効にします |

**お知らせ**

- お買い上げ時、または全設定初期化をしたあと、パスワード設定は「オフ」になっています。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- セキュリティパスワードは、パスワード設定を「オン」にしたあと、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切ると有効になります。

## パスワード変更

セキュリティパスワードを変更します。

### 1）▲▼ボタンで「パスワード変更」を選択する

### 2）〈決定〉ボタンを押す

- 「**パスワード変更**」画面が表示されます。

### 3）▲▼◀▶ボタンや、数字（〈1〉～〈6〉）ボタンでパスワードを設定する

- 最大 8 つのボタン操作を設定できます。

### 4）〈決定〉ボタンを押す

### 5）確認のため、再度パスワードを入力する

### 6）〈決定〉ボタンを押す

**お知らせ**

- 入力したパスワードは画面上では、＊印で表示されます。
- パスワードを間違えると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。
- セキュリティパスワードに数字を用いた場合、リモコンを紛失すると、セキュリティパスワードの初期化が必要になります。初期化方法については、販売店にご相談ください。

## 表示設定

投写中の映像に、セキュリティメッセージ（文字や画像）を重ねて表示させます。

### 1) ▲▼ボタンで「表示設定」を選択する

### 2) ◀▶ボタンで「表示設定」を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ テキスト ⟷ ユーザーロゴ（ユーザーロゴ → オフへ戻る）

| | |
|---|---|
| オフ | 「テキスト」/「ユーザーロゴ」表示を無効にします |
| テキスト | テキスト表示を有効にします |
| ユーザーロゴ | 『ロゴ転送ソフトウェア』で転送されたロゴを表示します *1 |

*1 『ロゴ転送ソフトウェア』は付属の CD-ROM に収録されています。

**お知らせ**

● 「ユーザーロゴ」の画像作成には、付属の CD-ROM に収録されている『ロゴ転送ソフトウェア』を使用します。
● クローズドキャプションと同時に表示することはできません。

## テキスト変更

「表示設定」で「テキスト」を選択し、テキスト表示を有効にしたときに表示する文字を変更します。

### 1) ▲▼ボタンで「テキスト変更」を選択する

### 2)〈決定〉ボタンを押す

● 「**テキスト変更**」画面が表示されます。

### 3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈決定〉ボタンを押して入力する

● 最大 22 文字まで入力できます。

### 4) ▲▼◀▶ボタンで「確定」を選択し、〈決定〉ボタンを押す

● テキストが変更されます。

## メニューロック

〈メニュー〉ボタンでメニューを表示し、メニュー操作できるかを設定します。

### 1) ▲▼ボタンで「メニューロック」を選択する

### 2) ◀▶ボタンで「メニューロック」を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

| | |
|---|---|
| オフ | メニューのロックを解除します |
| オン | メニューをロックします |

**お知らせ**

● 「メニューロック」を「オン」に設定後、正しくパスワードを入力しないと〈メニュー〉ボタンの操作ができなくなります。
● お買い上げ時、または全設定初期化後、メニューロックは「オフ」になっています。
● ロック解除の状態は、本機がスタンバイ状態になるまで維持されます。

## メニューロックパスワード

メニューロックパスワードを変更します。

### 1) ▲▼ボタンで「メニューロックパスワード」を選択する

### 2)〈決定〉ボタンを押す

● 「**メニューロックパスワード**」画面が表示されます。

### 3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈決定〉ボタンを押して入力する

● 最大 16 文字まで入力できます。

### 4) ▲▼◀▶ボタンで「確定」を選択し、〈決定〉ボタンを押す

● 中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

**お 願 い**

● はじめてご使用になるとき、または全設定初期化後、初期のパスワードは「AAAA」です。
● パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

## 操作設定

本体操作部とリモコンのボタン操作の有効 / 無効を設定します。

**1）▲▼ボタンで「操作設定」を選択する**

**2）〈決定〉ボタンを押す**
- 「**操作設定**」画面が表示されます。

**3）▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換える**
- 「無効」に設定すると確認画面が表示されるので、「はい」を選び〈決定〉ボタンを押してください。

### ■本体操作部

本体操作部からの制御の制限を設定できます。
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

**有効** ⟷ **無効**

| | |
|---|---|
| **有効** | 本体ボタン操作を有効にします |
| **無効** | 本体ボタン操作を無効にします |

### ■リモコン

リモコンからの制御の制限を設定できます。
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

**有効** ⟷ **無効**

| | |
|---|---|
| **有効** | リモコンボタン操作を有効にします |
| **無効** | リモコンボタン操作を無効にします |

お知らせ
- 「本体操作部」と「リモコン」の操作を両方とも「無効」にした場合、本体操作部のボタンとリモコンボタン操作のすべてが効かなくなるため、電源を「切」（スタンバイ状態）にできなくなります。

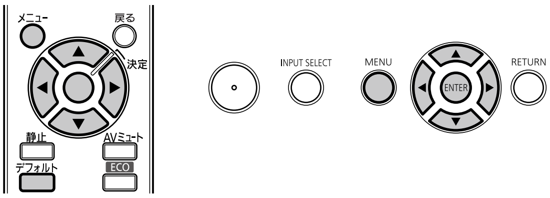
  **「無効」の解除方法：**
  スタンバイ状態や投写中に、本体操作部の〈決定〉ボタンを押しながら〈メニュー〉ボタンを 2 秒以上押すと、「本体操作部」の設定が「無効」から「有効」に切り換わります。
  「リモコン」の設定は本体操作部で変更してください。

# 「ネットワーク」について

**『メニュー画面の操作方法』（☞33 ページ）の メインメニューから「ネットワーク」を選び、サブメニューから項目を選んでください。**

● 項目を選んだら◀ ▶▲▼ボタンで設定してください。

リモコン　　本体操作部




お知らせ

● コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。PJ Link・ネットワーク関連の詳細は、『取扱説明書　ネットワーク操作編』をご覧ください。
●「セキュリティ」メニューで「パスワード設定」を「オン」にしている場合、ネットワークの設定初期化の際にパスワード入力が必要です。

## ■有線 LAN

有線 LAN に関する設定ができます。

## ■無線 LAN *1

無線 LAN に関する設定ができます。

## ■プロジェクター名変更

本機のプロジェクター名を変更できます。

## ■パスワード設定

ワイヤレスマネージャー ME5.5 を使ってプロジェクターと接続する場合、パスワードを設定し、接続制限をする場合は「オン」に設定します。
（工場出荷値：「オフ」）

## ■パスワード変更

ネットワーク通信時のパスワードを変更できます。

## ■ネットワークコントロール

ネットワークのコントロール方法を設定します。
（工場出荷値：オン）

## ■ライブモード割り込み

ワイヤレスマネージャー ME5.5 によるライブモード実行中（画面送信中）に、他のユーザーからのライブモードでの割り込み接続を許可する場合は「オン」に設定します。
（工場出荷値：「オフ」）

## ■コンピューター検索 *1

ワイヤレスマネージャー ME5.5 による接続が可能なコンピューターを検索します。

## ■マルチライブ

ワイヤレスマネージャー ME5.5 を用いてコンピューターと接続している場合に使用します。

## ■ステータス

本機のネットワークの状態を表示します。

## ■初期化

ネットワークの設定を工場出荷状態に戻すことができます。

*1 別売品のワイヤレスモジュール
（品番：ET-WM200）を装着している場合に設定が可能です。

# ランプ / 温度 / フィルターモニター

## モニターが点灯したら

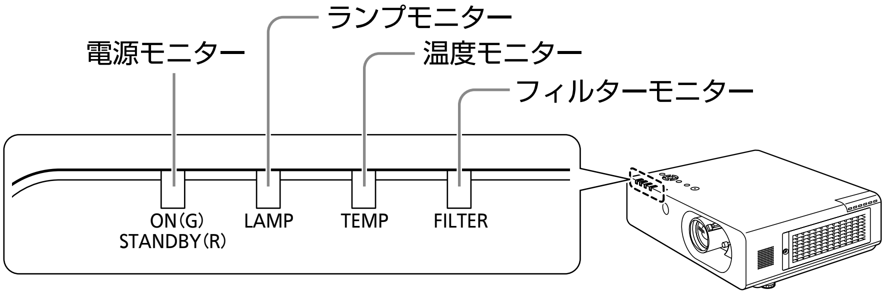
本機内部に異常が発生すると、ランプ・温度・フィルターのモニターランプが点灯や点滅でお知らせします。
モニターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お 願 い

- 処置を行うときの電源操作は「電源を切る」の手順を必ずお守りください。（☞28 ページ）
- 複数のモニターランプが点灯や点滅した場合は、それぞれのモニターの状態を調べて、処置を行ってください。

お知らせ

- 電源の状態は〈電源モニター〉で確認してください。（☞26 ページ）




### ■ランプモニター

| 点灯状況 | ● 赤色点灯 | ● 赤色点滅 | |
|---|---|---|---|
| 状態 | ランプユニットの交換時期を知らせています。ランプユニットの使用時間が 5800 時間に達すると点灯します。 | 光源ランプが点灯しない、または途中で不点灯になった。 | |
| お調べください | 電源を入れたときに、ランプの交換を促す表示がスクリーンに出ていませんか。 | 電源を切ってからすぐに電源を入れたか、または停電などが発生していませんか。 | 電源を切って、もう一度電源を入れてみてください。 |
| 処置方法 | ランプユニットの交換を行ってください。（☞70 ページ） | 光源ランプが冷えるまで約 90 秒以上待ってから電源を入れてください。 | 「電源を切る」（☞28 ページ）の手順で電源を切り、販売店にご相談ください。 |

お知らせ

- 上記の処置をしても〈ランプモニター〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- 海抜 1400 m 以上で「高地モード」の設定を「オフ」で使用した場合、ランプの寿命が短くなります。

### ■温度モニター

| 点灯状況 | ● 投写中に赤色点灯<br>（『取扱説明書の〈温度モニター〉をご覧ください。』とスクリーンに表示します。）<br>● 電源オフの状態で赤色点滅（自動的に投写を中止） | | |
|---|---|---|---|
| 状態 | 周囲または内部が異常に高温になっています。 | | |
| お調べください | 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。 | 気温の高いところで使用していませんか。 | 「高地モード」が正しく設定されていますか。 |
| 処置方法 | 吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。 | 仕様で定められた周囲温度、周囲湿度の場所に設置してください。（☞84 ページ） | 電源を入れてから約 2 分間のみ本体を動作させることができます。海抜 1400 m 以上～ 2700 m 未満で使用する場合は、2 分以内に「高地モード」（☞55 ページ）を「オン」に設定してください。<br>海抜 2700 m 以上の場所では使用しないでください。（☞55 ページ） |

お知らせ

- 上記の処置をしても〈温度モニター〉が点灯や点滅する場合は、エアフィルターユニットのお手入れを行ってください（☞68 ページ）。お手入れをしても〈温度モニター〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

## ■フィルターモニター

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **点灯状況** | ● 赤色点灯（スクリーンに「エアフィルタークリーニング」のメッセージを表示）<br>● 電源オフの状態で通常より早い赤色の点滅（自動的に投写を中止） | | | 赤色点滅（10 分後に自動的に投写を中止） |
| **状態** | 周囲または内部が異常に高温になっています。 | | | エアフィルターユニットが装着されていません。 |
| **お調べください** | 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。 | 「高地モード」が正しく設定されていますか。 | エアフィルターユニットが汚れていませんか。 | エアフィルターユニットが装着されていますか。 |
| **処置方法** | 吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。 | ・電源を入れてから約 2 分間のみ本体を動作させることができます。海抜 1400 m 以上～ 2700 m 未満で使用する場合は、2 分以内に「高地モード」(☞55 ページ)を「オン」に設定してください。<br>・海抜 2700 m 以上の場所では使用しないでください。(☞55 ページ) | エアフィルターユニットのお手入れを行ってください。(☞68 ページ) | エアフィルターユニットを装着してください。(☞69 ページ) |

お知らせ

● 上記の処置をしても、〈フィルターモニター〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

# お手入れ / 部品交換

## お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れや部品交換を行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。（☞28、26 ページ）
- 電源を切るときは『電源を切る』の手順を必ずお守りください。（☞28 ページ）

## お手入れ

### ■外装ケース

汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんは使用しないでください。使用すると外装ケースが変質するおそれがあります。

### ■レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

**お 願 い**

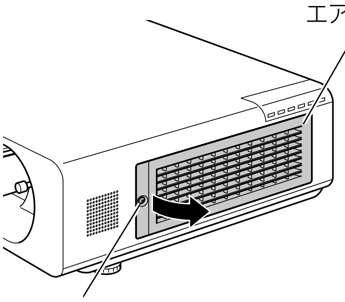
- レンズはガラス部品です、堅いものに当てたり強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

### ■エアフィルターユニット

次の場合はエアフィルターユニットのお手入れを行ってください。

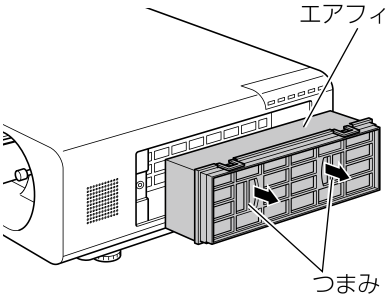
- 目づまりが発生し、画面上に交換メッセージが表示され、〈フィルターモニター〉が赤色点灯をした場合。
- 目づまりが発生し、本機内部温度が高温になり、〈温度モニター〉が点灯し、電源が切れた場合（電源が切れると〈温度モニター〉が赤色点滅をし、〈フィルターモニター〉が通常より早い赤色点滅をします）。

**1）エアフィルターカバー固定ねじをプラスドライバーで空回りするまで回し、エアフィルターカバーを取り外す**




**2）エアフィルターユニットを取り出す**

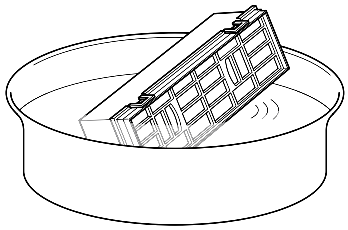
- エアフィルターユニットのつまみを持ち、ユニットを引き出してください。




**3）エアフィルターユニットを洗浄し、乾燥させる**

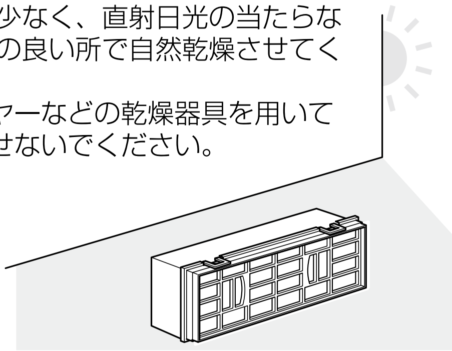
- **エアフィルターユニットの洗浄**

①水またはぬるま湯につけ、軽くゆすぐ。
・ブラシなどの洗浄器具は使用しないでください。
・ゆすぐ際は、エアフィルターユニットの枠を持ち、フィルター部に強い力をかけないようにしてください。
② 2 ～ 3 回、新しい水ですすぎ洗いをする
・すすぎが不十分だとにおいの原因になります。



点検と部品交換

● **エアフィルターユニットの乾燥**
ほこりが少なく、直射日光の当たらない風通しの良い所で自然乾燥させてください。
・ドライヤーなどの乾燥器具を用いて乾燥させないでください。



**4) エアフィルターユニットをプロジェクター本体に取り付ける**
● エアフィルターユニットには上下方向の区別はありません。
● 手順 2) の逆の手順で取り付けてください。

**5) エアフィルターカバーをプロジェクター本体に取り付けて、プラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを締めつける**
● 手順 1) の逆の手順で取り付けてください。

お 願 い
● エアフィルターユニットを洗浄した際は、十分に乾燥させてから本体に取り付けてください。ぬれたまま取り付けると、感電や故障の原因となります。

お知らせ
● エアフィルターユニットは必ず正しく取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になるため 10 分後に電源が切れます。（電源が切れるまでの時間が、1 分刻みで表示されます。）
● エアフィルターユニットを破損した場合や洗っても汚れが目立つ場合は、新しい交換用フィルターユニット（品番 : ET-EMF100 ）に交換してください。
● 洗浄によるリサイクルは 2 回を目安に新品と交換することをお勧めします。
● 洗浄後のフィルターの性能は、初期に比べて低下することがあります。

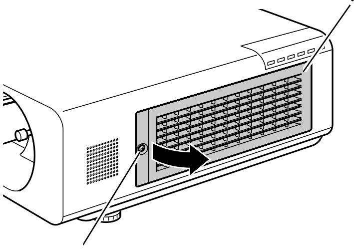
## 部品交換

### ■エアフィルターユニット

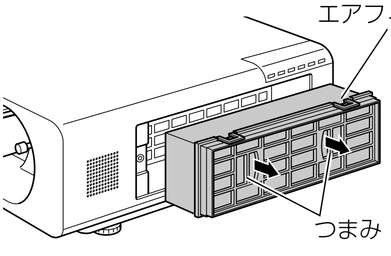
お手入れをしても、汚れが目立つようになったら交換時期です。
交換用フィルターユニット　ET-EMF100 は別売品です。ご購入の際は販売店にご相談ください。

### ■エアフィルターユニットの交換手順

**1) エアフィルターカバーを外す**
● プラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを反時計方向に空回りするまで回して、取り外してください。




**2) エアフィルターユニットを取り出す**
● エアフィルターユニットのつまみを持ち、プロジェクター本体からエアフィルターユニットを引き出してください。




**3) 別売品の交換用フィルターユニット（品番 : ET-EMF100）をプロジェクター本体に取り付ける**
● エアフィルターユニットには、上下方向の区別はありません。
● 手順 2) の逆の手順で取り付けてください。

**4) エアフィルターカバーをプロジェクター本体に取り付けてプラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを締めつける**
● 手順 1) の逆の手順で取り付けてください。

お 願 い
● エアフィルターユニットの交換を行う前に、必ず電源をお切りください。
● 取り付けに際しては、必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所で実施してください。
● プロジェクターの電源を入れるときは、必ずエアフィルターユニットを取り付けて使用してください。取り付けずに使用すると、ゴミやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

## ■ランプユニット

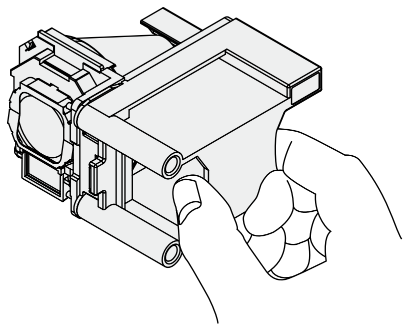
ランプユニットは消耗部品です。54 ページの「プロジェクター設定」メニューの「ステータス」でランプの使用時間を確認し、定期的に交換を行ってください。
ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。
交換用ランプユニット品番：ET-LAF100A（サービス部品扱い）ご購入の際は、販売店にご相談ください。

### ⚠ 警告

**■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待って）行う**

カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

## ■ランプユニットの交換上のお願い



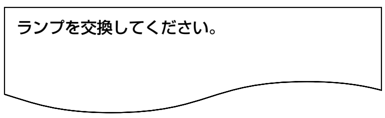
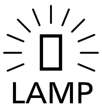
- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ガラス破片飛散防止のため、ランプユニットを水平に持って交換してください。また本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で作業をしたり、顔を近づけたりしないで、ランプを水平に引き出して交換してください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

**お 願 い**

- 指定のランプユニット以外は使用しないでください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

## ■ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 6000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、6000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。6000 時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため約 10 分後、自動的に消灯します。早めの交換用ランプユニットの準備をお勧めします。

| | オンスクリーン表示 | ランプモニター |
|---|---|---|
| |  |  |
| 5800 時間以降 | 30 秒間表示されます。30 秒以内にいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。 | スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。 |
| 6000 時間以降 | 10 分後に自動的に電源が切れます。 | |

**お知らせ**

- 6000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については 85 ページの「保証とアフターサービス」をご覧ください。

## ■ランプユニットの交換手順

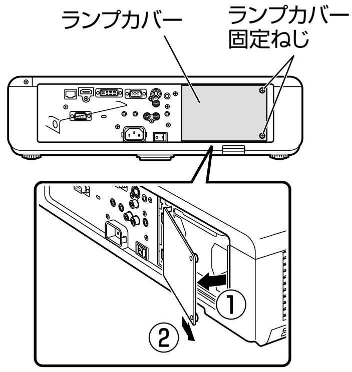
お 願 い

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットやランプカバーは確実に取り付けてください。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、いったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクター部分が破損する場合があります。

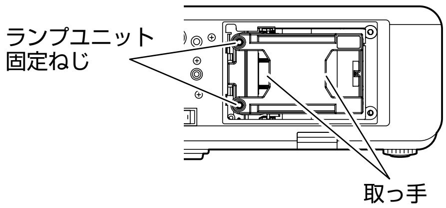
**1)「電源を切る」（☞28 ページ）の手順を守り、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ちランプユニット近辺が冷えていることを確認する**

**2) 本体後面のランプカバー固定ねじ（2本）をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプカバーを取り外す**

- ランプカバーは、矢印の方向にゆっくりと取り外してください。

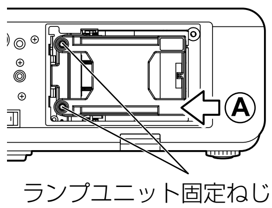



**3) ランプユニット固定ねじ（2本）をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットの取っ手を持ち、ゆっくりと本体から引き出す**



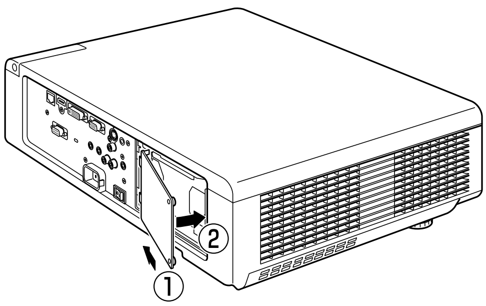

**4) 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじ（2本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける**

挿入時、特にⒶ部をよく押し込んでください。




**5) ランプカバーを取り付け、ランプカバー固定ねじ（2本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける**

- ランプカバーは、矢印の方向にゆっくりと取り付けてください。

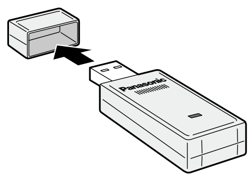



お知らせ

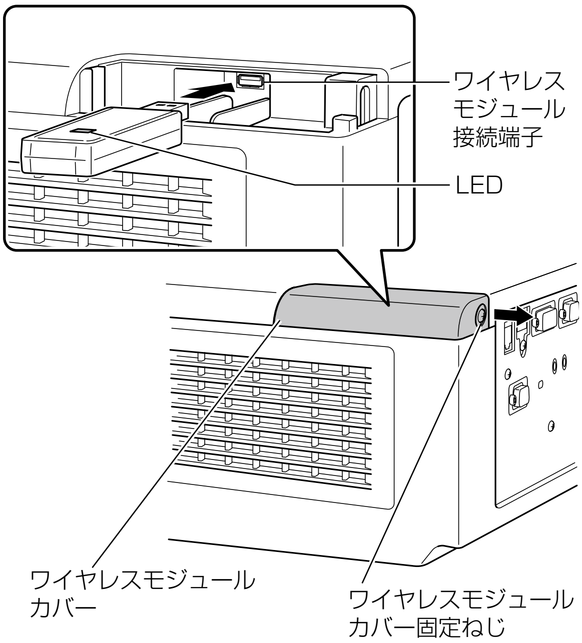
- 新しいランプユニット（品番：ET-LAF100A）に交換した場合、本体側でランプユニットの積算時間が自動的にリセットされます。

# ワイヤレスモジュールの取り付け手順

ワイヤレス機能を使用するには、別売品のワイヤレスモジュール：ET-WM200 が必要です。
ワイヤレスモジュールを本体に取り付ける際は、保護シールをはがし、キャップを外してください。



## 取り付け手順




**1) ワイヤレスモジュールカバー固定ねじをプラスドライバーで空回りするまで回し、ワイヤレスモジュールカバーを取り外す**

ワイヤレスモジュールカバーは矢印の方向に引いて外してください。

**2) LED が上になる状態で、ワイヤレスモジュールをワイヤレスモジュール接続端子に取り付ける**

**3) ワイヤレスモジュールカバーを取り付け、ワイヤレスモジュールカバー固定ねじをプラスドライバーで締めつけて固定する**

ワイヤレスモジュールカバーは上からはめ込み、奥に押しこんで取り付けてください。

お 願 い

- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。
- ねじ類の締めつけの際は、プラスドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- ワイヤレスモジュール（別売品：ET-WM200）以外は挿入しないでください。

# 故障かな !?

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

| 症状 | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|
| 電源が入らない | ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 | — |
| | ● 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にしていませんか。 | 28 |
| | ● コンセントに電源がきていますか。 | — |
| | ● ブレーカーが落ちていませんか。 | — |
| | ●〈ランプモニター〉、〈温度モニター〉、〈フィルターモニター〉が点灯または点滅していませんか。 | 66 |
| | ● ランプカバーは確実に取り付けられていますか。 | 71 |
| 映像がでない | ● 映像（出力）機器との接続は正しく行われていますか。 | 25 |
| | ● 入力切り換えは正しく選択されていますか。 | 30 |
| | ●「明るさ」の調整が最小になっていませんか。 | 36 |
| | ● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。 | — |
| | ● AV ミュート機能を使用していませんか。 | 30 |
| 映像がボヤけている | ● レンズのフォーカスは合っていますか。 | 29 |
| | ● 投写距離は適切ですか。 | 20 |
| | ● レンズが汚れていませんか。 | 12 |
| | ● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。 | — |
| 色が薄い / 色あいが悪い | ●「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。 | 37 |
| | ● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。 | — |
| | ● RGB ケーブルが切れていませんか。 | — |
| 内蔵スピーカーから音がでない | ● 入力端子は正しく接続されていますか。 | 25 |
| | ● 音量調整が最小になっていませんか。 | 32 |
| | ● AV ミュート機能を使用していませんか。 | 30 |
| | ● 音声出力 (VARIABLE AUDIO OUT) 端子に、ケーブルが接続されていませんか。 | 17 |
| | ●「音声設定」の「音声入力選択」を確認してください。 | 59 |
| リモコンがはたらかない | ● 乾電池が消耗していませんか。 | — |
| | ● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。 | 18 |
| | ● リモコンと本機のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。 | 15 |
| | ● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。 | 15 |
| | ● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。 | 15 |
| | ●「操作設定」の「リモコン」が「無効」に設定されていませんか。 | 64 |
| | ● ID 設定の操作を間違えていませんか。 | 18、54 |
| 本体操作部のボタンがはたらかない | ●「操作設定」の「本体操作部」の設定が「無効」になっていませんか。 | 64 |
| | ●「無効」に設定したあとにリモコンを紛失した場合などには、本体操作部の〈決定〉ボタンを押しながら〈メニュー〉ボタンを２秒以上押せば設定を「有効」に戻すことができます。 | 64 |
| 正常な映像が映らない | ●「TV システム」、「RGB/YP$_B$P$_R$」の選択は正しく行われていますか。 | 39 |
| | ● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。 | — |
| | ● 本機が対応できない信号を入力していませんか。 | 81 |

| 症状 | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|
| コンピューターからの映像が映らない | ● ケーブルが長くありませんか。（10 m 以下にしてください。）<br>● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。（例：「Fn」＋「F3」あるいは「Fn」＋「F10」キーを同時に押すと、外部出力設定が切り換わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。）<br>● DVI-I 入力端子へアナログ信号を入力している場合、「DVI-I IN」の設定が「アナログ」になっていますか。 | —<br>—<br>— |
| コンピューターのDVI-D 出力の映像がでない | ●「DVI-I IN」の設定が「EDID2（PC）」になっていますか。<br>● コンピューターのグラフィックアクセラレーターのドライバーを最新バージョンにすることで改善する可能性があります。<br>●「DVI-I IN」の設定が「デジタル」になっていますか。<br>●「DVI-I IN」の設定を行ってから、コンピューターの電源を入れ直すことで改善する可能性があります。 | 48<br>—<br>—<br>48 |
| HDMI 対応機器の映像がでない、乱れる | ● HDMI ケーブルが確実に接続されていますか。<br>● 本体の電源および接続機器の電源を「切」/「入」してください。<br>● 対応外の信号がつながっていませんか。 | 25<br>—<br>81 |
| HDMI 対応機器の音声がでない | ● 接続機器の音声をリニア PCM に設定してください。<br>●「音声設定」の「音声入力選択」を確認してください。<br>● HDMI ケーブル接続で音声がでない場合は、音声 1 ～ 3 入力端子から接続してください。 | —<br>59<br>59 |
| 電源ボタンを押していないのに投写を始める | ●「プロジェクター設定」の「起動方法」が「オンスタート」に設定されていませんか。<br>● 前回使用時に、投写中に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にして終了しませんでしたか。「プロジェクター設定」の「起動方法」を「ラストメモリ」に設定していて、前回使用時にダイレクトパワーオフ機能（☞28 ページ）を使用して終了した場合、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「入」にすると投写を開始します。<br>● 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にした直後に〈電源（⏻/I）〉ボタンを押していませんか。「プロジェクター設定」の「起動方法」を「ラストメモリ」に設定していて、電源オフ状態から主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にした直後に〈電源（⏻/I）〉ボタンを押した場合、次回使用時に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「入」にしただけで投写を開始することがあります。主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にした後、〈電源モニター〉が赤色に点灯または点滅している間は、リモコンまたは本体操作部の〈電源（⏻/I）〉ボタンの操作を行わないでください。 | 54<br>27<br>— |

お 願 い

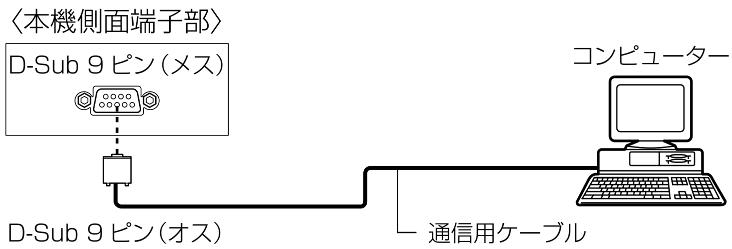
● 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。（☞85 ページ）

# 付録

## シリアル端子について

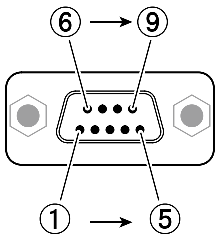
本機接続端子部のシリアル端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御することができます。

### ■接続




### ■ピン配列と信号名

D-Sub 9 ピン（メス）
外側から見た図




| ピン No. | 信号名 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | — | NC |
| ② | TXD | 送信データ |
| ③ | RXD | 受信データ |
| ④ | — | NC |
| ⑤ | GND | グラウンド |
| ⑥ | — | |
| ⑦ | CTS | 内部で接続されています |
| ⑧ | RTS | |
| ⑨ | — | NC |

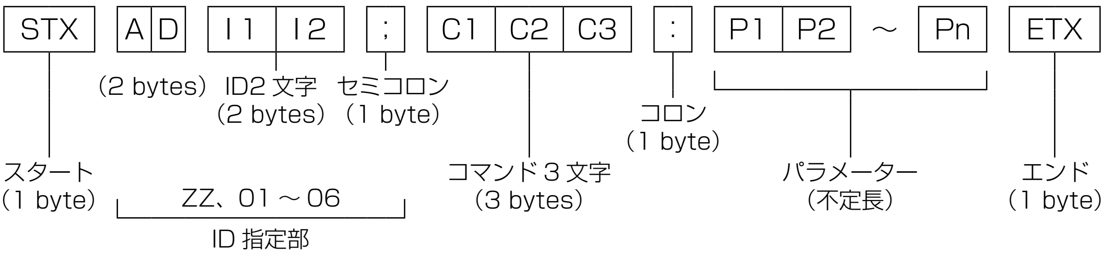
### ■通信条件

| | |
|---|---|
| 信号レベル | RS-232C 準拠 |
| 同期方式 | 調歩同期 |
| ボーレート | 9600 bps |
| パリティ | なし |

| | |
|---|---|
| キャラクター長 | 8 ビット |
| ストップビット | 1 ビット |
| X パラメーター | なし |
| S パラメーター | なし |

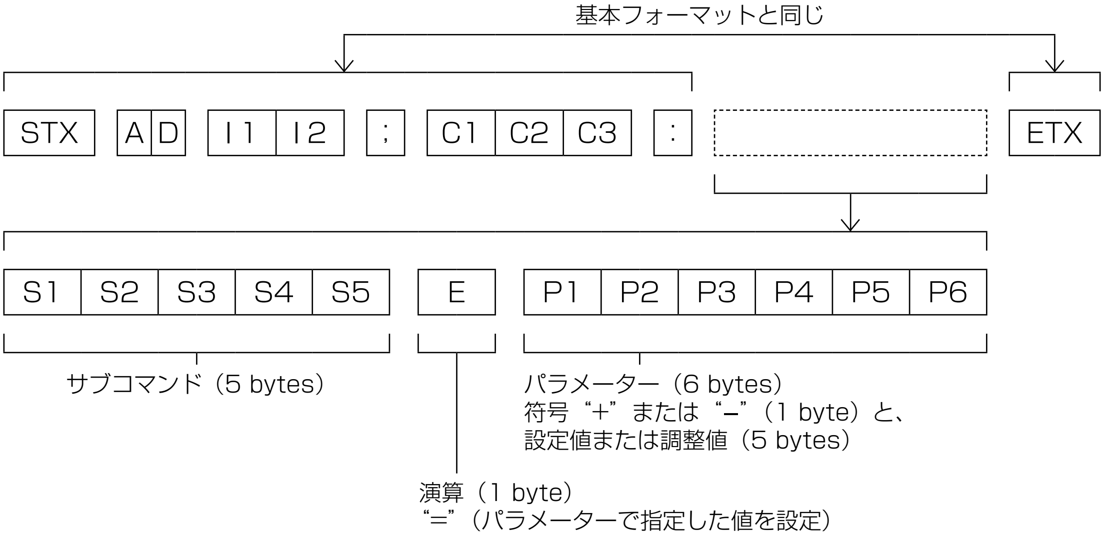
## ■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。




※パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン（：）は必要ありません。

## ■基本フォーマット（サブコマンドあり）




※パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、演算（E）とパラメーターは必要ありません。

**お 願 い**

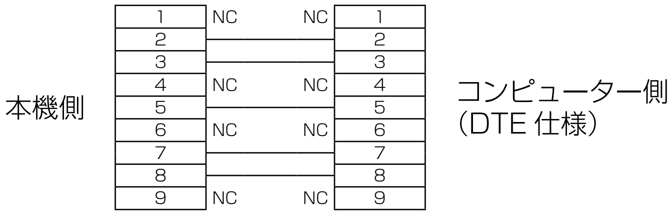
- ランプ点灯開始直後、約 60 秒経過前にコマンドを送信すると、応答が遅く帰ってきたり、コマンドが実行できなかったりすることがあります。60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。

**お知らせ**

- PT-F300/PT-FW300 などと同様の ID 指定部のないフォーマットの使用も可能です。
- コマンドが実行できない場合、本機から「ER401」という応答がコンピューター側に送信されます。
- 無効なパラメーターを送信すると、本機から「ER402」という応答がコンピューター側に送信されます。
- RS-232C での ID 送信は ZZ（オール）と 01 ～ 06 の対応になっています。
- ID 指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみコンピューターへの応答を返します。
  - ・本機の「プロジェクター ID」（☞54 ページ）と一致した場合
  - ・本機の「プロジェクター ID」（☞54 ページ）が「オール」の場合
- STX は 16 進数で 02、ETX は 16 進数で 03 のキャラクターコードです。

## ■ケーブル仕様

〈コンピューターと接続する場合〉




## ■制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

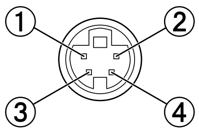
〈操作コマンド〉

| コマンド | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| PON | 電源「入」 | スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。<br>ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。 |
| POF | 電源「切」 | ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約 30 秒経過しないと点灯制御を開始しません。 |
| AVL | 音量 | (パラメーター)<br>000（調整値 0）～ 063（調整値 63） |
| IIS | 入力信号切り換え | (パラメーター)<br>VID =ビデオ　SVD = S ビデオ　RG1 =コンピューター<br>DVI = DVI-I　HD1=HDMI　NWP =ネットワーク |
| Q $S | ランプ点灯状態問い合わせ | (コールバック)<br>0= スタンバイ　1 =ランプ点灯制御中<br>2 =ランプ点灯　3 =ランプ消灯制御中 |
| OSH | AV ミュート機能 | 映像と音声を一時的に消します。<br>コマンドを送信するごとに ON/OFF が切り換わります。(☞30 ページ)<br>短時間での ON/OFF の切り換えは行わないでください。 |

## その他の端子について

### ■S ビデオ入力（S-VIDEO IN）端子のピン配列と信号名

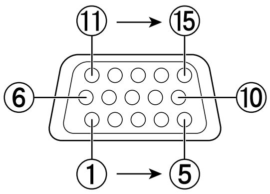
外側から見た図




| ピン No. | 信号名 |
|---|---|
| ① | GND（輝度信号） |
| ② | GND（色信号） |
| ③ | 輝度信号 |
| ④ | 色信号 |

### ■コンピューター入力（COMPUTER IN）端子のピン配列と信号名

外側から見た図



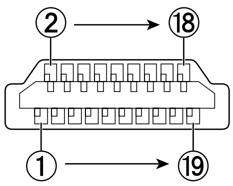

| ピン No. | 信号名 |
|---|---|
| ① | R/$P_R$ |
| ② | G/G・SYNC/Y |
| ③ | B/$P_B$ |
| ⑫ | DDC データ |
| ⑬ | HD/SYNC |
| ⑭ | VD |
| ⑮ | DDC クロック |

④、⑨は未使用です。
⑤〜⑧、⑩、⑪は GND 端子です。

### ■HDMI 入力（HDMI IN）端子のピン配列と信号名

外側から見た図

②〜⑱の偶数ピン

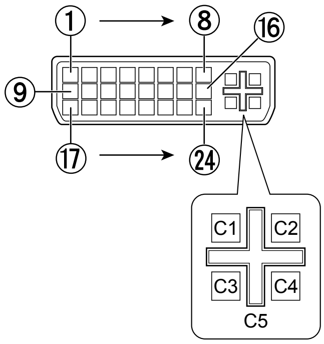



①〜⑲の奇数ピン

| ピン No. | 信号名 | ピン No. | 信号名 |
|---|---|---|---|
| ① | T.M.D.S データ 2 ＋ | ⑪ | T.M.D.S クロック シールド |
| ② | T.M.D.S データ 2 シールド | ⑫ | T.M.D.S クロック－ |
| ③ | T.M.D.S データ 2 － | ⑬ | CEC |
| ④ | T.M.D.S データ 1 ＋ | ⑭ | — |
| ⑤ | T.M.D.S データ 1 シールド | ⑮ | SCL |
| ⑥ | T.M.D.S データ 1 － | ⑯ | SDA |
| ⑦ | T.M.D.S データ 0 ＋ | ⑰ | DDC/CEC GND |
| ⑧ | T.M.D.S データ 0 シールド | ⑱ | +5V |
| ⑨ | T.M.D.S データ 0 － | ⑲ | ホットプラグ検出 |
| ⑩ | T.M.D.S クロック＋ | | |

## ■DVI-I 入力（DVI-I IN）端子のピン配列と信号名

外側から見た図




| ピン No. | 信号名 | ピン No. | 信号名 |
|---|---|---|---|
| ① | T.M.D.S データ 2− | ⑯ | ホットプラグ検出 |
| ② | T.M.D.S データ 2+ | ⑰ | T.M.D.S データ 0− |
| ③ | T.M.D.S データ 2/4 シールド | ⑱ | T.M.D.S データ 0+ |
| ④ | — | ⑲ | T.M.D.S データ 0/5 シールド |
| ⑤ | — | ⑳ | — |
| ⑥ | DDC クロック | ㉑ | — |
| ⑦ | DDC データ | ㉒ | T.M.D.S クロック シールド |
| ⑧ | Analog VD | ㉓ | T.M.D.S クロック+ |
| ⑨ | T.M.D.S データ 1− | ㉓ | T.M.D.S クロック+ |
| ⑩ | T.M.D.S データ 1+ | ㉔ | T.M.D.S クロック− |
| ⑪ | T.M.D.S データ 1/3 シールド | C1 | Analog R/$P_R$ |
| ⑫ | — | C2 | Analog G/G SYNC/Y |
| ⑬ | — | C3 | Analog B/$P_B$ |
| ⑭ | +5V | C4 | Analog HD/SYNC |
| ⑮ | GND | C5 | Analog GND |

## 2 画面表示組み合わせ一覧（PT-FW430 のみ）

| メインウィンドウ ＼ サブウィンドウ | | コンピューター RGB 入力 | コンピューター $YP_BP_R$ 入力 | DVI-I アナログ RGB 入力 | DVI-I アナログ $YP_BP_R$ 入力 | VIDEO 入力 | S-VIDEO 入力 | DVI-I デジタル 動画系 *1 | DVI-I デジタル RGB 系 *2 | HDMI 動画系 *1 | HDMI RGB 系 *2 | NETWORK |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コンピューター | RGB 入力 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | $YP_BP_R$ 入力 | | | ○ | △ | △ | △ | △ | ○ | △ | ○ | ○ |
| DVI-I アナログ | RGB 入力 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ |
| | $YP_BP_R$ 入力 | ○ | △ | | | △ | △ | | | △ | ○ | ○ |
| VIDEO 入力 | | ○ | △ | ○ | △ | | × | △ | ○ | △ | ○ | ○ |
| S-VIDEO 入力 | | ○ | △ | ○ | △ | × | | △ | ○ | △ | ○ | ○ |
| DVI-I デジタル | 動画系 *1 | ○ | △ | | | △ | △ | | | × | × | ○ |
| | RGB 系 *2 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | × | × | ○ |
| HDMI | 動画系 *1 | ○ | △ | ○ | △ | △ | △ | × | × | | | ○ |
| | RGB 系 *2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | | | ○ |
| NETWORK | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

○：2 画面表示組み合わせが可能
×：2 画面表示組み合わせが不可能
△：下記条件の場合、2 画面表示組み合わせが可能
（ただし、条件によってはサブウィンドウの映像が乱れることがあります。）
1）2 画面の信号の垂直走査周波数が同じ
2）2 画面がインターレース信号×インターレース信号の組み合わせ以外

*1 525p(480p)、625p(576p)、750(720)/60p、750(720)/50p、1125(1080)/60i、1125(1080)/50i、1125(1080)/24p、1125(1080)/50p、1125(1080)/60p のみ対応
*2 VGA（640 × 480）～ WUXGA（1920 × 1200）
ノンインターレース信号、ドットクロック周波数：25 MHz ～ 162 MHz
（WUXGA 信号は VESA CVT RB（Reduced Blanking）信号のみ対応しています。）

**お知らせ**

- サブウィンドウの入力信号の解像度が水平 1280 画素を超えるとき、サブウィンドウの画質が劣化する場合があります。
- 入力信号が 1125（1080）/60p, WUXGA の場合、一部の信号で表示できないことがあります。

## 対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。
フォーマット： V：ビデオ、S：S ビデオ、D：DVI、C：コンピューター、Y：YPBPR、H：HDMI

| 対応信号 | 解像度 *1（ドット） | 走査周波数 | | ドットクロック | 画質 *2 | | プラグアンドプレイ対応 | | | | | フォーマット |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 水平(kHz) | 垂直(Hz) | 周波数(MHz) | PT-FW430 | PT-FX400 | コンピューター | DVI-I アナログ | DVI-I EDID1 | DVI-I EDID2 | HDMI | |
| NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60 | 720 x 480i | 15.7 | 59.9 | – | A | A | | | | | | V/S |
| PAL/PAL-N/SECAM | 720 x 576i | 15.6 | 50.0 | – | A | A | | | | | | |
| 525i(480i) | 720 x 480i | 15.7 | 59.9 | 13.5 | A | A | | | | | | C/Y |
| 625i(576i) | 720 x 576i | 15.6 | 50.0 | 13.5 | A | A | | | | | | |
| 525p(480p) | 720 x 483 | 31.5 | 59.9 | 27.0 | A | A | | | ○ | | ○ | H/D/C/Y |
| 625p(576p) | 720 x 576 | 31.3 | 50.0 | 27.0 | A | A | | | ○ | | ○ | |
| 1125(1080)/60i | 1920 x 1080i | 33.8 | 60.0 | 74.3 | A | A | | | ○ | | ○ | |
| 1125(1080)/50i | 1920 x 1080i | 28.1 | 50.0 | 74.3 | A | A | | | ○ | | ○ | |
| 1125(1080)/24p | 1920 × 1080 | 27.0 | 24.0 | 74.3 | A | A | | | ○ | | ○ | |
| 1920 × 1080 | 1920 × 1080 | 66.6 | 59.9 | 138.5 | A | A | | | | | | C |
| | | 55.6 | 49.9 | 141.5 | A | A | | | | | | |
| 1125(1080)/60p | 1920 x 1080p | 67.5 | 60.0 | 148.5 | A | A | | | ○ | | ○ | H/D/C/Y |
| 1125(1080)/50p | 1920 x 1080p | 56.3 | 50.0 | 148.5 | A | A | | | ○ | | ○ | |
| 750(720)/60p | 1280 x 720 | 45.0 | 60.0 | 74.3 | AA | A | | | ○ | | ○ | |
| 750(720)/50p | 1280 x 720 | 37.5 | 50.0 | 74.3 | AA | A | | | ○ | | ○ | |
| VESA | 640 x 400 | 31.5 | 70.1 | 25.2 | A | A | | | | | | C |
| | | 37.9 | 85.1 | 31.5 | A | A | | | | | | |
| VGA | 640 x 480 | 31.5 | 59.9 | 25.2 | A | A | ○ | ○ | | ○ | ○ | H/D/C |
| | | 35.0 | 66.7 | 30.2 | A | A | ○ | ○ | | | | C |
| | | 37.9 | 72.8 | 31.5 | A | A | ○ | ○ | | | | |
| | | 37.5 | 75.0 | 31.5 | A | A | ○ | ○ | | | | |
| | | 43.3 | 85.0 | 36.0 | A | A | | | | | | |
| SVGA | 800 x 600 | 35.2 | 56.3 | 36.0 | A | A | ○ | ○ | | | | |
| | | 37.9 | 60.3 | 40.0 | A | A | ○ | ○ | | ○ | ○ | H/D/C |
| | | 48.1 | 72.2 | 50.0 | A | A | ○ | ○ | | | | C |
| | | 46.9 | 75.0 | 49.5 | A | A | ○ | ○ | | | | |
| | | 53.7 | 85.1 | 56.3 | A | A | | | | | | |
| MAC | 832 x 624 | 49.7 | 74.6 | 57.3 | A | A | ○ | ○ | | | | |
| XGA | 1024 x 768 | 39.6 | 50.1 | 51.9 | A | AA | | | | | | H/D/C |
| | | 48.4 | 60.0 | 65.0 | A | AA | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| | | 56.5 | 70.1 | 75.0 | A | AA | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| | | 60.0 | 75.0 | 78.8 | A | AA | ○ | ○ | | ○ | ○ | |
| | | 68.7 | 85.0 | 94.5 | A | AA | | | | | | |
| MXGA | 1152 x 864 | 64.0 | 71.2 | 94.2 | A | A | ○ | ○ | | | | C |
| | | 67.5 | 74.9 | 108.0 | A | A | | | | | | |
| | | 76.7 | 85.0 | 121.5 | A | A | | | | | | |
| MAC | 1152 x 870 | 68.7 | 75.1 | 100.0 | A | A | ○ | ○ | | | | |
| MSXGA | 1280 x 960 | 60.0 | 60.0 | 108.0 | A | A | ○ | ○ | | | | |
| SXGA | 1280 x 1024 | 64.0 | 60.0 | 108.0 | A | A | | | | ○ | ○ | H/D/C |
| | | 80.0 | 75.0 | 135.0 | A | A | ○ | ○ | | | | C |
| | | 91.1 | 85.0 | 157.5 | A | A | | | | | | |
| SXGA60+ | 1400 x 1050 | 64.0 | 60.0 | 108.0 | A | A | | | | | | |
| | | 65.1 | 59.9 | 122.4 | A | A | ○ | ○ | | ○ | ○ | H/D/C |

*1 解像度の後ろの“i”は、インターレース信号を示しています。
*2 画質を表す記号は下記の通りです。
AA ：最高の画質で投写できます。
A ：画像処理回路で変換を行い投写します。

その他

| 対応信号 | 解像度 *1<br>（ドット） | 走査周波数 | | ドット<br>クロック<br>周波数<br>(MHz) | 画質 *2 | | プラグアンドプレイ対応 | | | | | フォーマット |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 水平<br>(kHz) | 垂直<br>(Hz) | | PT-FW430 | PT-FX400 | コンピューター | DVI-I アナログ | DVI-I EDID1 | DVI-I EDID2 | HDMI | |
| UXGA | 1600 x 1200 | 75.0 | 60.0 | 162.0 | A | A | ○ | ○ | | | | |
| WIDE750(720) | 1280 x 720 | 44.8 | 59.9 | 74.5 | AA | A | ○ | ○ | | | | C |
| | | 37.1 | 49.8 | 60.5 | AA | A | | | | | | |
| WXGA768 | 1280 x 768 | 39.6 | 49.9 | 65.3 | AA | A | | | | | | |
| | | 47.8 | 59.9 | 79.5 | AA | A | ○ | ○ | | ○ | ○ | H/D/C |
| WXGA800 | 1280 x 800 | 41.3 | 50.0 | 68.0 | AA | A | | | | | | |
| | | 49.1 | 60.2 | 69.1 | AA | A | | | | | | C |
| | | 49.7 | 59.8 | 83.5 | AA | A | ○ | ○ | | ○ | ○ | H/D/C |
| WXGA+ | 1440 x 900 | 55.9 | 59.9 | 106.5 | A | A | ○ | ○ | | | | |
| WSXGA+ | 1680 x 1050 | 65.3 | 60.0 | 146.3 | A | A | ○ | ○ | | | | C |
| WUXGA | 1920 x 1200 | 74.0 | 59.9 | 154.0 | A | A | | | | | | |

*1 解像度の後ろの“i”は、インターレース信号を示しています。
*2 画質を表す記号は下記の通りです。
AA ：最高の画質で投写できます。
A ：画像処理回路で変換を行い投写します。

お知らせ

- PT-FW430 の表示ドット数は 1280 × 800、PT-FX400 の表示ドット数は 1024 × 768 です。
  解像度が異なる信号は表示ドット数に変換されて表示されます。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

## メニューロックパスワードについて

パスワードを初期設定に戻す場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

# 仕様

本機の仕様は下表の通りです。

| 品番 | | PT-FW430 | PT-FX400 |
|---|---|---|---|
| 使用電源 | | AC100 V　50 Hz/60 Hz | |
| 消費電力 | | 100 V 330 W (3.9 A) | |
| | | 「ECO マネージメント」の「スタンバイモード」を「ECO」に設定時 : 0.3 W<br>「ECO マネージメント」の「スタンバイモード」を「ノーマル」に設定時 : 9 W<br>「音声設定」の「スタンバイ時動作」を「オン」に設定時 : 20 W | |
| 液晶パネル | サイズ | 0.74 型 LCD（アスペクト比 16 : 10） | 0.8 型 LCD（アスペクト比 4 : 3） |
| | 表示方式 | 透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式 | |
| | 駆動方式 | アクティブマトリクス方式 | |
| | 画素数 | 1 024 000 画素<br>（1280 × 800 ドット）× 3 枚 | 786 432 画素<br>（1024 × 768 ドット）× 3 枚 |
| レンズ | | マニュアルズーム（2 倍）・フォーカス<br>F 1.7 ～ 2.6、f 21.6 mm ～ 43.0 mm | マニュアルズーム（2 倍）・フォーカス<br>F 1.7 ～ 2.6、f24.0 mm ～ 47.2 mm |
| 光源ランプ | | 250 W UHM ランプ | |
| 光出力 *1 | | 3500 lm (ANSI) | 4000 lm (ANSI) |
| 対応走査周波数 *2 | RGB 信号時 | 水平 15.6 kHz ～ 91.1 kHz 垂直 24 Hz ～ 85.1 Hz<br>PIAS（Panasonic Intelligent Auto Scanning）方式 | |
| | | ドットクロック周波数<br>162 MHz 以下 | |
| | $YP_BP_R$ 信号時 | [525i(480i)]　水平 15.75 kHz　垂直 60 Hz<br>[525p(480p)]　水平 31.5 kHz　垂直 60 Hz<br>[750(720)/60p]　水平 45 kHz　垂直 60 Hz<br>[1125(1080)/60i]　水平 33.75 kHz　垂直 60 Hz<br>[1125(1080)/50p]　水平 56.25 kHz　垂直 50 Hz<br>[625i(576i)]　水平 15.63 kHz　垂直 50 Hz<br>[625p(576p)]　水平 31.25 kHz　垂直 50 Hz<br>[750(720)/50p]　水平 37.5 kHz　垂直 50 Hz<br>[1125(1080)50i]　水平 28.13 kHz　垂直 50 Hz<br>[1125(1080)/24p]　水平 27 kHz　垂直 24 Hz<br>[1125(1080)/60p]　水平 67.5 kHz　垂直 60 Hz<br>●HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。 | |
| | ビデオ信号時<br>(S ビデオ含む) | 水平 15.75 kHz/15.63 kHz 垂直 50 Hz/60 Hz | |
| | DVI-D 信号時<br>HDMI 信号時 | 525p(480p)、625p(576p)、750(720)/60p、750(720)/50p、1125(1080)/60p、1125(1080)/50p、1125(1080)/60i、1125(1080)/50i、1125(1080)/24p<br>●表示可能解像度 : VGA ～ WUXGA（ノンインターレース）<br>●ドットクロック周波数 : 25.2 MHz ～ 148.5 MHz | |
| カラー方式 | | 7 方式（NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60） | |
| 投写画面サイズ | | 33 ～ 300 型 | |
| 画面アスペクト比 | | 16 : 10 | 4 : 3 |
| 投写方式 | | フロント／リア／天つり／床置き（メニュー設定方式） | |
| スピーカー | | 4 cm 円型 1 個 | |
| 音声実用最大出力 | | 5 W | |
| コントラスト比 *1 | | 600 : 1（全白／全黒） | |

*1 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式にのっとって記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。
*2 本機が投写できる映像信号について詳しくは、『対応信号リスト』（☞81 ページ）をご覧ください。

| 品番 | | PT-FW430 | PT-FX400 |
|---|---|---|---|
| 接続端子 | COMPUTER 入力端子 | 1 系統（D-sub 15 p（メス））<br>[RGB 信号 ]　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時 1.0 [p-p] 75 Ω）<br>HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応<br>VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応<br>[YP$_B$P$_R$ 信号 ]　Y：1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P$_B$P$_R$：0.7 V [p-p] 75 Ω | |
| | DVI-I 入力端子 | 1 系統 DVI-I 29 p<br>[ デジタル信号 ]　シングルリンク DVI1.0 準拠 HDCP 対応<br>[RGB 信号 ]　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時 1.0 [p-p] 75 Ω）<br>HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応<br>VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応<br>[YP$_B$P$_R$ 信号 ]　Y：1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P$_B$P$_R$：0.7 V [p-p] 75 Ω | |
| | VIDEO 入力端子 | 1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω | |
| | S-VIDEO 入力端子 | 1 系統 Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応 | |
| | HDMI 入力端子 | 1 系統 HDMI 19 ピン（HDCP、Deep color 対応） | |
| | シリアル入力端子 | D-Sub 9 p 1 系統 RS-232C 準拠 コンピューター制御用 | |
| | AUDIO 入力端子 | 2 系統 M3 ステレオミニジャック 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω以上<br>1 系統 RCA ピンジャック× 2（L-R）0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω以上 | |
| | AUDIO 出力端子 | 1 系統 M3 ステレオミニジャック（モニター出力、ステレオ対応可）<br>0 V [rms] ～ 2.0 V [rms]（可変）、出力インピーダンス 2.2 k Ω以下 | |
| | LAN 端子 | 1 系統 RJ-45 ネットワーク接続用 PJLink 対応 10Base-T/100Base-TX | |
| | ワイヤレスモジュール接続端子 | 1 系統 ワイヤレスモジュール（別売品：ET-WM200）専用 | |
| 電源コードの長さ | | 2.0 m | |
| 外装ケース | | 樹脂成型品 | |
| 外形寸法 | | 横幅：430 mm 高さ：125.5 mm（脚最小時）奥行：323 mm（＊＊ mm：突起部含まず） | |
| 質量 | | 約 6.0 kg *3 | |
| 使用環境条件 | | 使用環境温度 *4：0 ℃～ 40 ℃<br>使用環境湿度：20 %～ 80 %（結露のないこと） | |
| リモコン | 使用電源 | DC 3 V（単 3 形乾電池 2 個） | |
| | 操作距離 | 約 15 m（受信部正面） | |
| | 質量 | 117 g（乾電池含む） | |
| | 外形寸法 | 横幅：48 mm 高さ：163 mm 奥行：24.5 mm | |

*3　平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
*4　高地（1400 m ～ 2700 m）で使用する場合、使用環境温度は 0 ℃～ 35 ℃になります。

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

# 保証とアフターサービス （よくお読みください）

| 故障・修理・お取扱い・メンテナンス<br>などのご相談は、まず、<br>**お買い上げの販売店**<br>へ、お申し付けください。 | お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（下記、パナソニックプロジェクターサポートセンター）までご連絡ください。<br>＊ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。 |
|---|---|

## 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

**保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間**

＊ ただし、光源ランプは 6 ヵ月またはランプ使用時間 600 時間の早い方となります。

## 補修用性能部品の保有期間 8 年

当社では、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。
＊ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認のうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

### ■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### ■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ■ ご連絡いただきたい内容

| | |
|---|---|
| 品名 | 液晶プロジェクター |
| 品番 | PT-FW430<br>PT-FX400 |
| 製造番号 | |
| お買い上げ日 | |
| 故障の状況 | |

## パナソニックプロジェクターサポートセンター

**設定や操作でご不明なことがございましたら**
**なんなりとお問い合わせください。**

**お電話の方はこちら** 0120-872-601 **受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）**
9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00

URL：http://panasonic.biz/projector/

※書面や電話 /FAX でお答えする場合や、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。
※お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

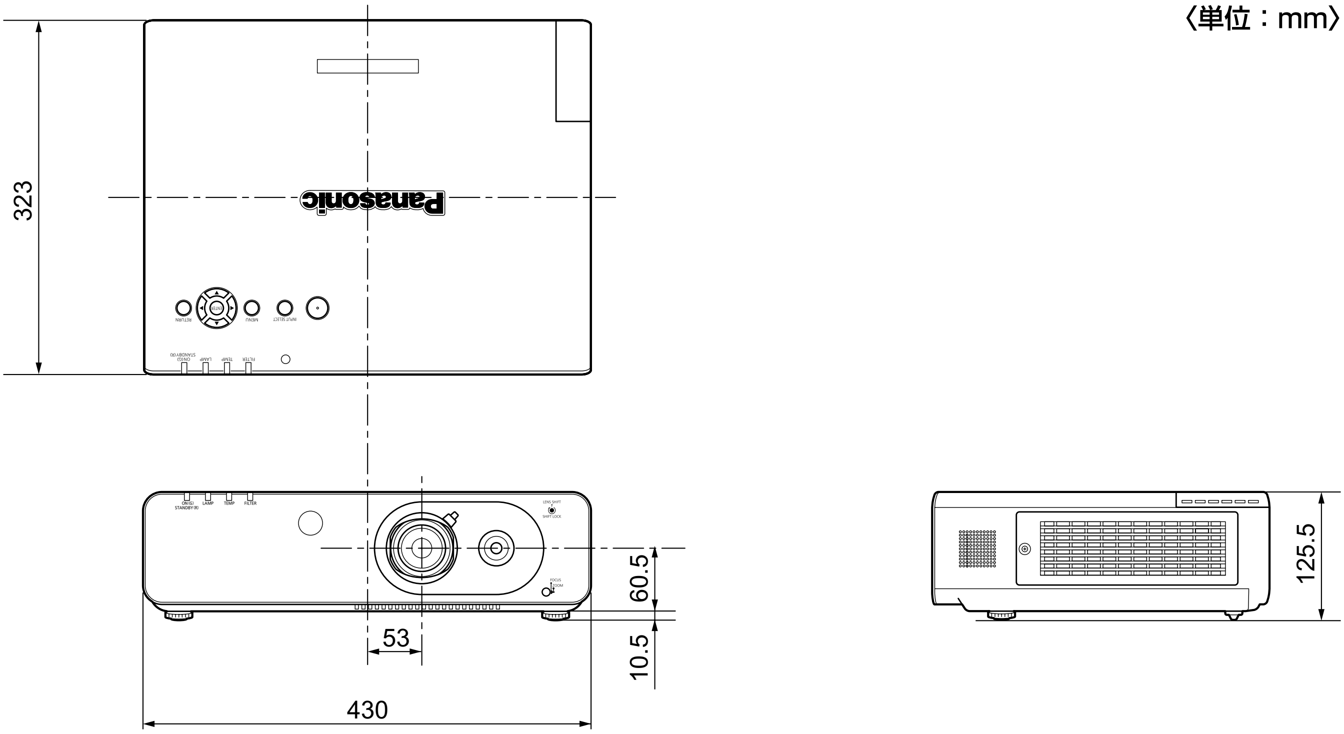
**ご相談窓口における個人情報のお取り扱い**

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

# さくいん

# 外形寸法図

〈単位：mm〉



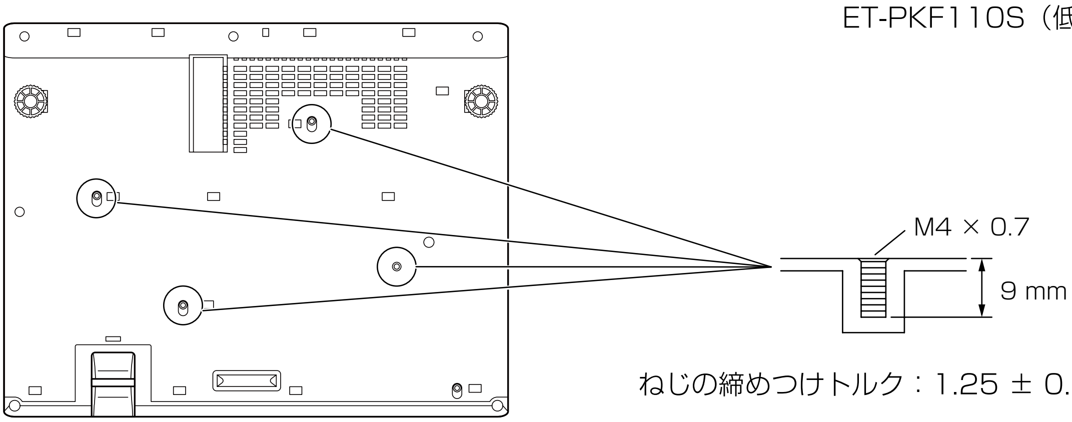

※各製品で寸法は異なる場合があります。

# 天つり金具取り付け時の注意事項

- 工事は専門技術者にご依頼ください。
- 当社製以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーまたは、六角トルクレンチを使用し、規定値内の締めつけトルクで取り付けてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。
- 詳しくは、天つり金具に同梱の工事説明書をよくお読みください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

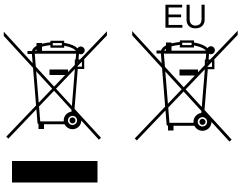
本体底面

天つり金具品番：ET-PKF110H（高天井用）
ET-PKF110S（低天井用）




ねじの締めつけトルク：1.25 ± 0.2 N·m

## ■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報




これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。

**パナソニック株式会社　プロジェクタービジネスユニット**

〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号　　電話 0120-872-601